目　次

第５８回人口問題審議会総会配布資料．
［平成７年６月２９日（木）　１０：３０－１２：００
厚生省共用第９会議室］

第５８回人口問題審議会総会議事進行予定

平成７年６月２９日（木）　10:30～12:00
厚生省共用第９会議室

１．開会

２．厚生事務次官挨拶

３．専門委員の紹介

４．議題

（１）最近の人口動態について

①平成６年人口動態統計　　統計情報部人口動態統計課長（資料１・２）

②平成６年簡易生命表　　統計情報部管理企画課長（資料３）

③都道府県別世帯数の将来推計
人口問題研究所人口構造研究部長（資料４）

（２）その他

・事務局（政策課調査室長）より「平成７年版厚生白書」について説明

・「人口問題と社会サービスに関する特別委員会」の委員紹介

・事務局（政策課調査室長）より特別委員会の進め方について説明

５．閉会

1995. 6. 29

人口問題研究所資料

人口問題審議会委員等名簿

平成7年6月29日現在

（氏名）	（現職）
阿藤　誠	人口問題研究所所長
伊藤善市	帝京大学教授
井上俊一	日本大学教授
大石泰彦	東京大学名誉教授
木村治美	共立女子大学教授
日下公人	（社）ソフト化経済センター理事長
河野稠果	麗澤大学教授
河野洋太郎	日本労働組合総連合会副会長
小谷直道	読売新聞社論説委員
小林　登	国立小児病院院長
坂元正一	日本母性保護医協会会長
袖井孝子	お茶の水女子大学教授
千葉一男	新王子製紙（株）代表取締役社長
福田歓一	明治学院大学学長
南　裕子	兵庫県立看護大学学長
○ 宮澤健一	社会保障研究所顧問
宮武　剛	毎日新聞社論説委員
村瀬敏郎	日本医師会会長
山崎倫子	日本女医会名誉会長
山本正也	日本アクチュアリー会参与
◎ 山本正淑	日本赤十字社社長
吉原健二	厚生年金基金連合会理事長

（専門委員）

（氏名）	（現職）
網野武博	東京経済大学教授
上野千鶴子	東京大学教授
大淵　寛	中央大学教授
岡崎陽一	日本大学教授
清家　篤	慶応義塾大学教授
濱　英彦	成城大学教授
廣嶋清志	人口問題研究所人口政策研究部長
伏見恵文	社会保障研究所研究部長

◎ 会　長
○ 会長代理

資料1

平成6年
人口動態統計月報年計（概数）の概況

目　次

厚生省大臣官房統計情報部

担当係　：　人口動態統計課　月報調整係

TEL　03-3260-3187　　内線 333

調査の概要

1　調査の目的　　我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2　調査の対象及び客体

「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況では平成６年に日本において発生した日本人の事件を客体とした。

3　調査の期間　　平成６年１月１日から同年１２月３１日

4　調査の方法　　市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。

5　報告の系統　　厚生省 ―― 都道府県・指定都市 ― 保健所 ― 市区町村
　　└ 保健所を設置する市・特別区 ┘

6　結果の集計　　集計は、厚生省大臣官房統計情報部で行った。

利用上の注意

1　印刷公表している人口動態統計の資料は次の通りである。

人口動態統計速報	人口動態統計月報	人口動態統計年報
数値：調査票を作成した数	数値：概数	数値：確定数 （概数に修正を加えたもの）
集計客体：日本における日本人 日本における外国人 外国における日本人 （前年以前発生のものを含む）	集計客体：日本における日本人 （前年以前発生のものを除く）	集計客体：日本における日本人 日本における外国人 外国における日本人 （前年以前発生のものを含む）
公表：毎月 （調査月の約２か月後）	公表：毎月 （調査月の約５か月後） ※：毎年（年間合計） （調査年の翌年６月）	公表：毎年（調査年の翌年９月）

※本概況は中央の破線の部分である。

2　表章記号の規約

計数のない場合	－
統計項目のありえない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…
表章単位の２分の１未満の場合	0.0,0.00

3　用語の説明

自然増加	出生数から死亡数を減じたもの
乳児死亡	生後１年未満の死亡
新生児死亡	生後４週未満の死亡
早期新生児死亡	生後１週未満の死亡
死産	妊娠満１２週以後の死児の出産
周産期死亡	妊娠満２８週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの
合計特殊出生率	１５歳から４９歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、１人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとした時の平均子ども数に相当する

4　この概況で使用した数値は、平成６年以外は確定数である。

5　昭和４８年以降は沖縄県を含んだ数値である。

6　都道府県の分類は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

結果の概要

1　結果の要約

（1）　出生数は増加

出生数は123万8247人で、前年の118万8282人より4万9965人増加し、出生率（人口千対）は10.0で前年の9.6を上回り、出生数とともに２１年ぶりの大幅な増加となった。

出生数を母の年齢（５歳階級）別にみると、ほぼ全年齢階級で増加している。

合計特殊出生率は1.50で前年の1.46を上回った。合計特殊出生率が低いのは東京都、大阪府等の大都市及びその周辺地域である。

（2）　死亡数は減少

死亡数は87万5905人で、前年の87万8532人より2627人減少し、死亡率（人口千対）は7.1で前年と同率であった。死亡率（人口10万対）を年齢（５歳階級）別にみると、ほぼ全年齢階級で低下している。

死因別にみると、昭和６０年以降、死因順位の第１位は悪性新生物、第２位心疾患、第３位脳血管疾患で、全死亡者に占める割合はそれぞれ27.8%、18.2%、13.7%であり、死亡者の４人に１人は悪性新生物で死亡したことになる。

（3）　自然増加数は増加

出生と死亡の差である自然増加数は36万2342人で、前年の30万9750人より5万2592人増加し、自然増加率（人口千対）は2.9で、前年の2.5を上回り、自然増加数とともに大幅な増加となった。

都道府県別には、高知県（平成２年以降）、島根県（平成４年以降）、秋田県（平成５年以降）、徳島県（平成６年）で死亡数が出生数を上回った。

（4）　死産数は減少

死産数は4万2971胎で、前年の4万5090胎より2119胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は33.5で、前年の36.6を下回った。

（５）　婚姻件数は減少

婚姻件数は78万2735組で、前年の79万2658組より9923組減少し、婚姻率（人口千対）は、6.3で前年の6.4を下回った。

平均初婚年齢は夫28.5歳、妻26.2歳で、夫は昭和６２年以降横ばいに推移しているが、妻は平成４年以降毎年上昇している。

（６）　離婚件数は増加

離婚件数は19万5115組で、前年の18万8297組より6818組増加し、離婚率（人口千対）は1.57で前年の1.52を上回り、離婚件数とともに人口動態統計史上（明治３２年以降）最高となった。

表１　人口動態総覧

	実数			率		平均発生間隔	
	平成６年	平成５年	対前年増減	平成６年	平成５年	平成６年	平成５年
						分　秒	分　秒
出生	1 238 247	1 188 282	49 965	10.0	9.6	25″	27″
死亡	875 905	878 532	-2 627	7.1	7.1	36″	36″
乳児死亡	5 259	5 169	90	4.2	4.3	99′ 57″	101′ 41″
新生児死亡	2 887	2 765	122	2.3	2.3	182′ 03″	190′ 05″
自然増加	362 342	309 750	52 592	2.9	2.5	…	…
死産	42 971	45 090	-2 119	33.5	36.6	12′ 14″	11′ 39″
自然死産	19 714	20 205	-491	15.4	16.4	26′ 40″	26′ 01″
人工死産	23 257	24 885	-1 628	18.2	20.2	22′ 36″	21′ 07″
周産期死亡	6 140	5 989	151	5.0	5.0	85′ 36″	87′ 46″
妊娠満28週以後の死産	4 055	3 954	101	3.3	3.3	129′ 37″	132′ 56″
早期新生児死亡	2 085	2 035	50	1.7	1.7	252′ 05″	258′ 17″
婚姻	782 735	792 658	-9 923	6.3	6.4	40″	40″
離婚	195 115	188 297	6 818	1.57	1.52	2′ 42″	2′ 47″

注：出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・周産期死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対である。

２　出生

（１）　出生数

平成６年の出生数は123万8247人で前年の118万8282人より4万9965人増加した。

昭和２２～２４年の第１次ベビーブーム期に生まれた女性が出産適齢期に入った昭和４６～４９年には第２次ベビーブームとなり、１年間に200～210万人もの出生数があった。しかし、５０年以降は、ほぼ毎年減少を続け、平成５年には120万人台を割ったが、６年は前年より約5万人増加し、昭和４８年以来の大幅な増加となり、再び120万人台を回復した（図１）。

出生率（人口千対）は、10.0で前年の9.6を上回り、昭和４８年以来の上昇となった。

出生数を母の年齢（５歳階級）別にみると、ほとんどの年齢で増加しており、特に２５～２９歳及び３０～３４歳での増加が著しい（表２）。

第１子出生時の母の平均年齢は上昇傾向にあり、平成元年に27歳代となり、６年では27.3歳となった（表３）。

表２　母の年齢（5歳階級）別にみた出生数

母の年齢	出生数			対前年増減	
	平成４年	平成５年	平成６年	５年－４年	６年－５年
総　数	1 208 989	1 188 282	1 238 247	-20 707	49 965
～14歳	22	13	22	-9	9
15～19	18 372	17 439	17 073	-933	-366
20～24	204 141	197 974	204 368	-6 167	6 394
25～29	524 269	510 933	525 912	-13 336	14 979
30～34	357 170	357 087	377 375	-83	20 288
35～39	92 209	92 286	100 563	77	8 277
40～44	12 481	12 177	12 479	-304	302
45～49	299	348	431	49	83
50歳以上	2	-	3	-2	3

注：総数には母の年齢不詳を含む。

図１　　出生数及び合計特殊出生率の年次推移

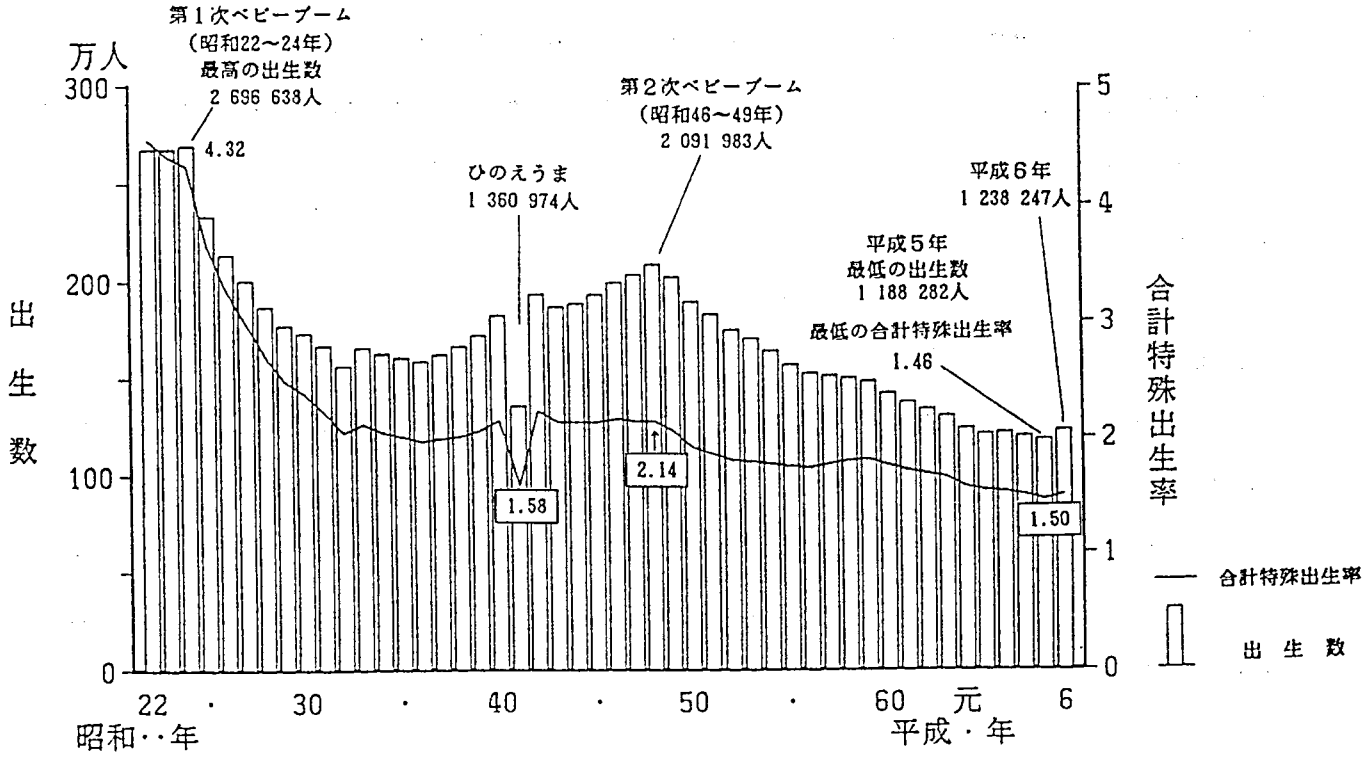


表３　第１子出生時の母の平均年齢の年次推移

	昭和40年	50	60	平成元年	4	5	6
平均年齢	歳 25.7	25.7	26.7	27.0	27.1	27.2	27.3

（２） 合計特殊出生率

平成６年の合計特殊出生率は1.50で前年の1.46より0.04上昇した。

昭和３０年・４０年代は、ほぼ1.95から2.25の間で推移し、５０年に2.00を下回ってから低下を続け、５７年から５９年にやや上昇したものの、その後は再び低下していたが、平成６年は１０年ぶりに上昇した。

年齢階級別に内訳をみると、いずれの年齢階級でも前年に比べ上昇しており、特に３０～３４歳での上昇は大きい（表４，図２）。

都道府県別にみると、合計特殊出生率が高いのは沖縄県（1.96）、島根県（1.85）、山形県（1.79）、福島県（1.77）等で、低いのは東京都（1.14）、大阪府（1.36）、北海道（1.37）、京都府（1.37）、奈良県（1.37）等概して大都市及びその周辺地域であった。前年に比べ低下したのは徳島県（1.52→1.48）、高知県（1.64→1.61）、奈良県(1.39 →1.37）の３県であり、それ以外の都道府県では上昇している（表５，図３）。

表４ 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

母の年齢	合計特殊出生率						対前年増減	
	昭和40年	50	60	平成４年	5	6	5年-4年	6年-5年
合　計	2.14	1.91	1.76	1.50	1.46	1.50	-0.04	0.04
15～19歳	0.0205	0.0205	0.0229	0.0187	0.0183	0.0189	-0.0004	0.0006
20～24	0.5503	0.5128	0.3173	0.2240	0.2119	0.2144	-0.0121	0.0025
25～29	1.0246	0.9331	0.8897	0.6585	0.6283	0.6332	-0.0302	0.0049
30～34	0.4324	0.3569	0.4397	0.4704	0.4667	0.4881	-0.0037	0.0214
35～39	0.0958	0.0751	0.0846	0.1174	0.1198	0.1307	0.0024	0.0109
40～44	0.0148	0.0106	0.0094	0.0125	0.0130	0.0142	0.0005	0.0012
45～49	0.0008	0.0004	0.0003	0.0003	0.0003	0.0004	0.0000	0.0001

図２　合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

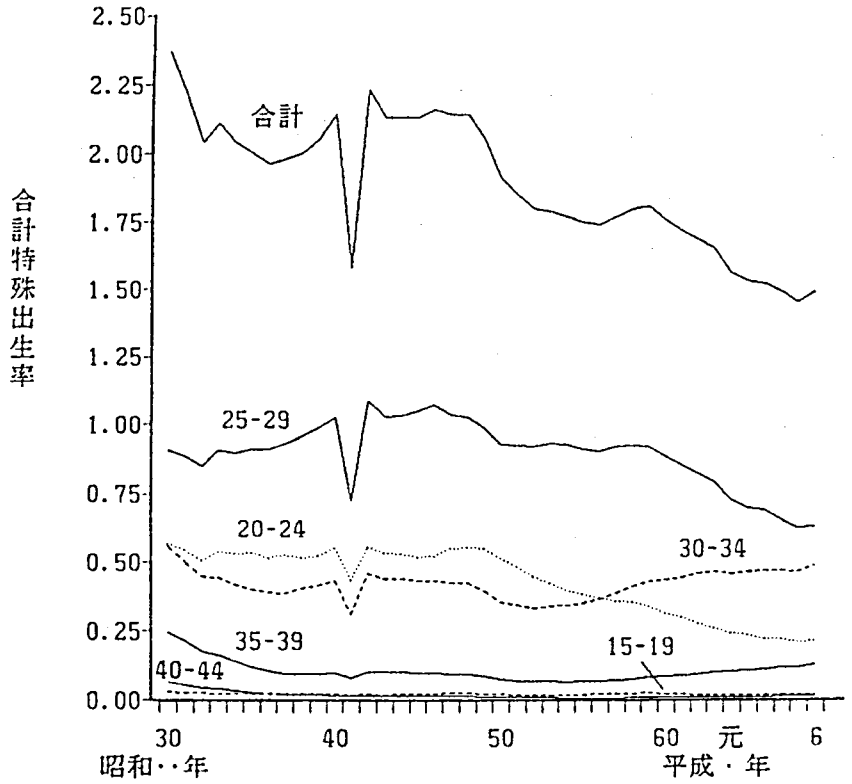


図３　都道府県別合計特殊出生率

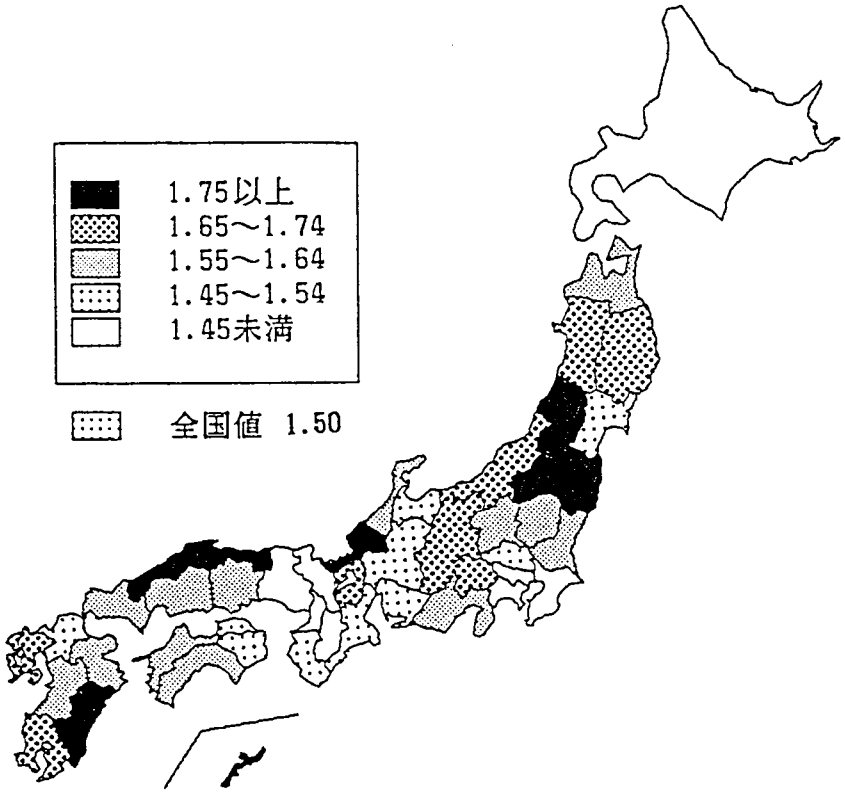


表５ 都道府県別にみた合計特殊出生率

都道府県	平成６年	平成５年
全　国	1.50	1.46
北海道	1.37	1.33
青　森	1.64	1.58
岩　手	1.71	1.68
宮　城	1.49	1.44
秋　田	1.66	1.56
山　形	1.79	1.71
福　島	1.77	1.72
茨　城	1.57	1.54
栃　木	1.59	1.53
群　馬	1.62	1.54
埼　玉	1.45	1.42
千　葉	1.41	1.36
東　京	1.14	1.10
神奈川	1.40	1.35
新　潟	1.69	1.65
富　山	1.54	1.49
石　川	1.58	1.48
福　井	1.75	1.68
山　梨	1.69	1.63
長　野	1.71	1.62
岐　阜	1.51	1.49
静　岡	1.56	1.52
愛　知	1.49	1.45
三　重	1.53	1.48
滋　賀	1.67	1.58
京　都	1.37	1.32
大　阪	1.36	1.31
兵　庫	1.43	1.37
奈　良	1.37	1.39
和歌山	1.52	1.46
鳥　取	1.76	1.72
島　根	1.85	1.82
岡　山	1.59	1.55
広　島	1.55	1.52
山　口	1.55	1.51
徳　島	1.48	1.52
香　川	1.54	1.50
愛　媛	1.55	1.54
高　知	1.61	1.64
福　岡	1.48	1.43
佐　賀	1.73	1.67
長　崎	1.71	1.68
熊　本	1.63	1.61
大　分	1.63	1.57
宮　崎	1.76	1.68
鹿児島	1.71	1.65
沖　縄	1.96	1.94

3　死亡

（１）死亡数・死亡率

平成６年の死亡数は87万5905人で前年の87万8532人より2627人減少した。

昭和３０年以降は70万人前後で推移していたが、平成２年以降は80万人以上となっている。昭和２０年代に多かった０～１４歳の死亡数が減少し、近年は高齢化を反映して７５歳以上の死亡数の増加が目立つ。

死亡率（人口千対）は、7.1で前年と同率である。

死亡率（人口10万対）を年齢（５歳階級）別にみると、ほぼ全年齢階級で低下しており、特に７０歳以上での低下は顕著である。

死亡率性比（男の死亡率／女の死亡率×100）を年齢（５歳階級）別にみると、全年齢で100以上となっており、男の死亡率が高いことを示している。特に、１５～２９歳及び５０～７４歳では200以上で男の死亡率が女の２倍以上となっている。（表６，図４）

図4　死亡数及び死亡率の年次推移

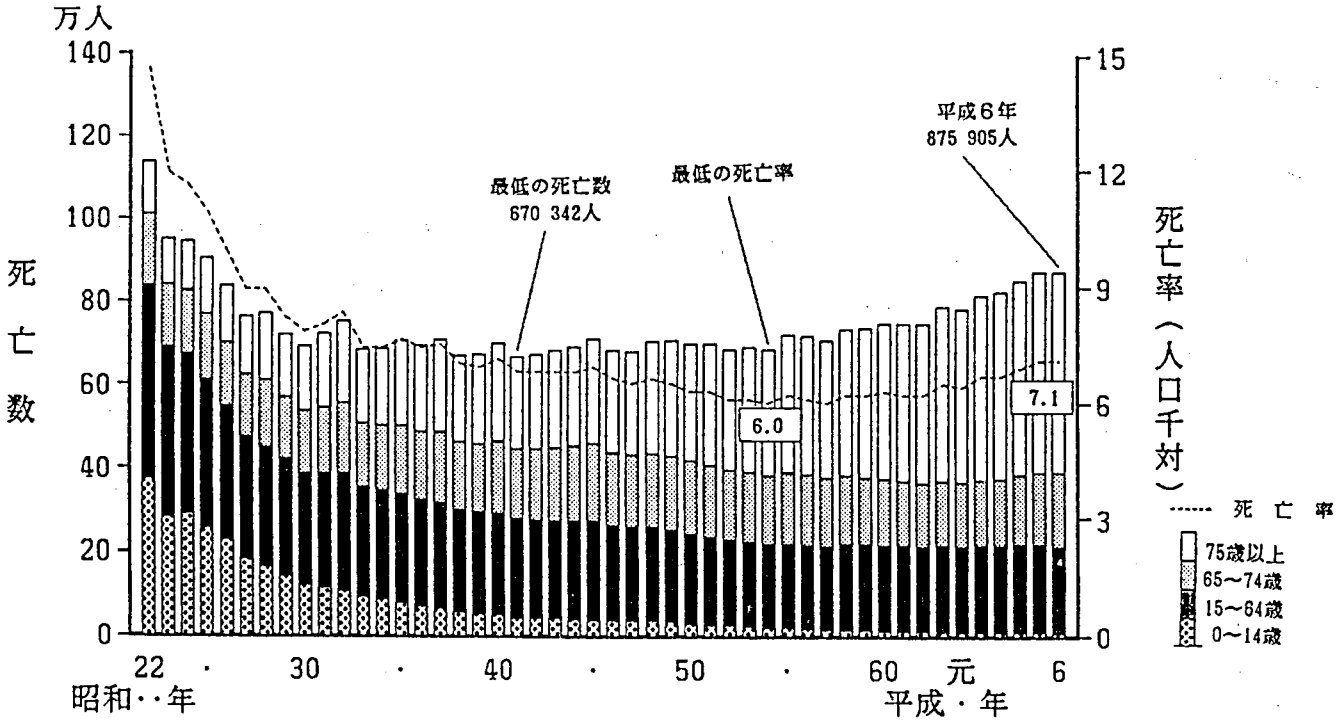


表6　年齢（5歳階級）別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）・死亡率性比

年齢階級	死亡数 平成6年	死亡数 平成5年	死亡数 対前年増減	死亡率 平成6年	死亡率 平成5年	死亡率 対前年増減	死亡率性比 平成6年
総数	875 905	878 532	-2 627	706.0	709.7	-3.7	123.8
0～4歳	7 187	7 263	-76	119.7	120.0	-0.3	125.2
5～9	1 128	1 255	-127	16.9	18.2	-1.3	143.5
10～14	1 073	1 138	-65	14.1	14.7	-0.6	182.8
15～19	3 340	3 581	-241	37.9	38.9	-1.0	269.0
20～24	4 929	4 847	82	49.9	49.9	0	248.8
25～29	4 397	4 149	248	51.5	49.9	1.6	223.7
30～34	4 868	4 758	110	62.6	61.6	1.0	181.5
35～39	6 824	7 176	-352	87.4	90.8	-3.4	176.7
40～44	13 629	15 130	-1 501	144.7	148.9	-4.2	184.1
45～49	22 054	22 025	29	222.4	233.4	-11.0	190.5
50～54	31 990	31 165	825	354.8	360.4	-5.6	204.7
55～59	43 874	46 776	-2 902	561.2	590.8	-29.6	225.6
60～64	66 657	67 972	-1 315	913.9	943.7	-29.8	244.7
65～69	84 902	83 424	1 478	1 368.5	1 397.6	-29.1	228.8
70～74	94 954	93 614	1 340	2 123.3	2 223.6	-100.3	207.8
75～79	121 163	127 035	-5 872	3 866.1	4 032.9	-166.8	190.7
80～84	151 212	153 093	-1 881	6 756.6	7 137.2	-380.6	169.7
85～89	124 129	120 227	3 902	11 788.1	12 343.6	-555.5	150.6
90歳以上	86 909	83 289	3 620	20 791.6	21 411.1	-619.5	131.1

注：1）総数には年齢不詳を含む。
　　2）死亡率性比＝男の死亡率／女の死亡率×100
　　3）性別死亡率は統計表第4表参照のこと。

（２） 死因

① 死因順位

平成６年の死因別死亡数を死因順位別にみると、第１位は悪性新生物で24万3585人、死亡率（人口10万対） 196.3、第２位は心疾患15万9485人、128.5、第３位脳血管疾患12万 225人、96.9となっている（表７）。

主な死因の年次推移をみると、悪性新生物は一貫して上昇を続け、昭和５６年以降死因順位第１位となり、全死亡者に占める割合も平成６年には27.8%となった。全死亡者の４人に１人は悪性新生物で死亡したことになる。

心疾患は昭和６０年に脳血管疾患にかわり第２位となり、その後も死亡数・死亡率とも上昇傾向にあったが、平成６年は前年より減少している。全死亡者に占める割合は18.2%となっている。

脳血管疾患は昭和２６年に結核にかわって第１位となったが、昭和４５年をピークに低下しはじめ、５６年には悪性新生物にかわり第２位に、更に、６０年には心疾患にかわり第３位となり、その後も死亡数・死亡率とも低下を続けたが、平成３年以降は横ばいに推移している。全死亡者に占める割合も６年には13.7%となっている。

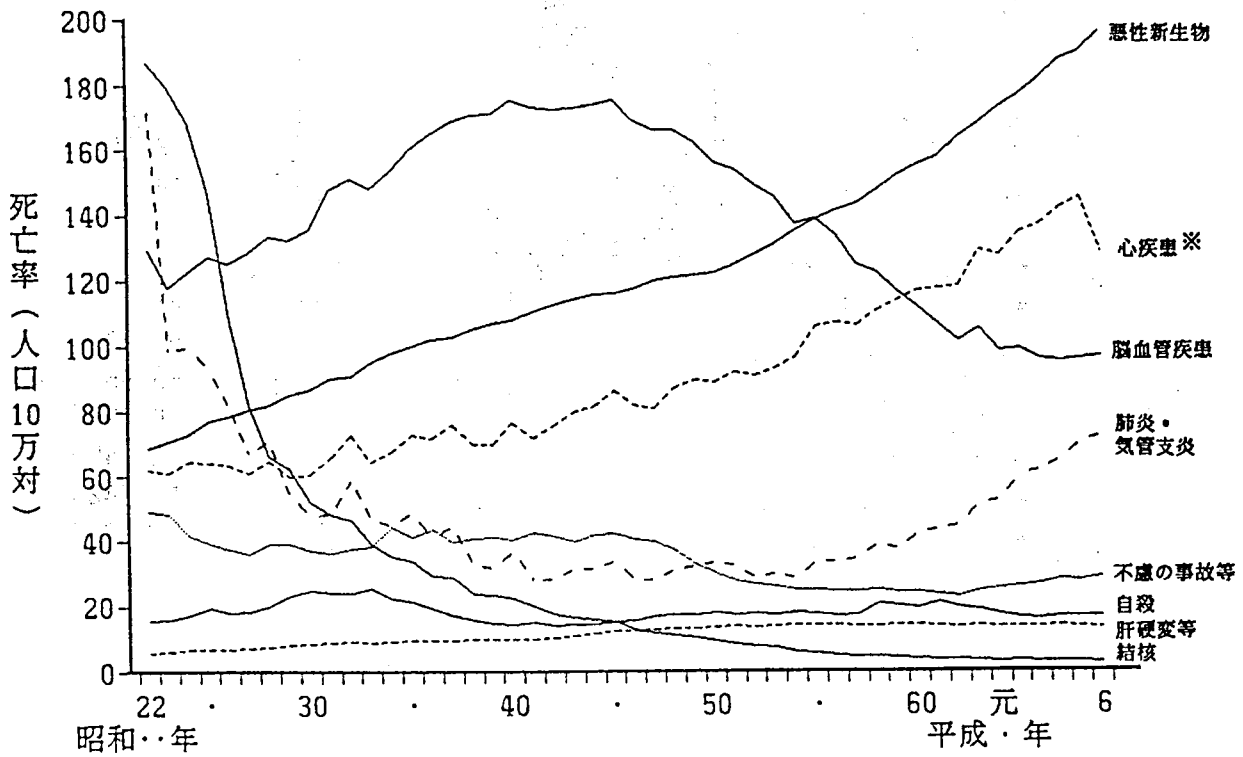
なお、肺炎及び気管支炎は昭和５５年以降死亡数・死亡率ともに上昇傾向にあり、６年には死亡数8万9789人、死亡率72.4となっている。（図５）

表７　死亡数・死亡率（人口１０万対）・死因順位，性別

死因	平成６年 総数 死亡数	平成６年 総数 死亡率	平成６年 男 死亡数	平成６年 男 死亡率	平成６年 女 死亡数	平成６年 女 死亡率	平成５年 総数 死亡数	平成５年 総数 死亡率
全死因	875 905	706.0	476 077	782.5	399 828	632.3	878 532	709.7
悪性新生物	(1) 243 585	196.3	(1) 146 846	241.4	(1) 96 739	153.0	235 707	190.4
心疾患※	(2) 159 485	128.5	(2) 78 817	129.6	(2) 80 668	127.6	180 297	145.6
脳血管疾患	(3) 120 225	96.9	(3) 55 502	91.2	(3) 64 723	102.4	118 794	96.0
肺炎及び気管支炎	(4) 89 789	72.4	(4) 50 499	83.0	(4) 39 290	62.1	87 409	70.6
不慮の事故及び有害作用	(5) 35 934	29.0	(5) 23 976	39.4	(6) 11 958	18.9	34 717	28.0
精神病の記載のない老衰	(6) 23 452	18.9	(9) 7 327	12.0	(5) 16 125	25.5	23 115	18.7
自殺	(7) 20 889	16.8	(6) 14 044	23.1	(8) 6 845	10.8	20 516	16.6
腎炎，ネフローゼ症候群及びネフローゼ	(8) 18 768	15.1	(8) 8 985	14.8	(7) 9 783	15.5	18 505	14.9
慢性肝疾患及び肝硬変	(9) 16 432	13.2	(7) 11 201	18.4	(10) 5 231	8.3	16 880	13.6
糖尿病	(10) 10 868	8.8	(10) 5 274	8.7	(9) 5 594	8.8	10 239	8.3

注：(　)内の数字は死因順位を示す。
「結核」は死亡数が3 091、死亡率は2.5で第23位となっている。

図５　主要死因別にみた死亡率の年次推移



※ 平成６年の心疾患の減少は、新しい死亡診断書（死体検案書）（平成７年１月施行）における「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」という注意書きの、施行前の周知の影響によるものと考えられる。

② 年齢別死因

平成６年の死因を性・年齢（５歳階級）別に構成割合でみると、男女とも５歳未満では先天異常等のその他の占める割合が多く、５～１０歳代前半では不慮の事故及び悪性新生物が、１０歳代後半及び２０歳代では不慮の事故及び自殺が多い。３０歳代からは、年齢が高くなるにしたがって、悪性新生物の占める割合が多くなり、男では６０歳代で、女では４０歳代及び５０歳代でピークとなり、その後は徐々に減少する。それ以降は男女とも心疾患、脳血管疾患、肺炎及び気管支炎の占める割合が多くなる。（図６－１，図６－２）

図６－１　性・年齢階級別にみた主な死因の構成割合（平成６年）

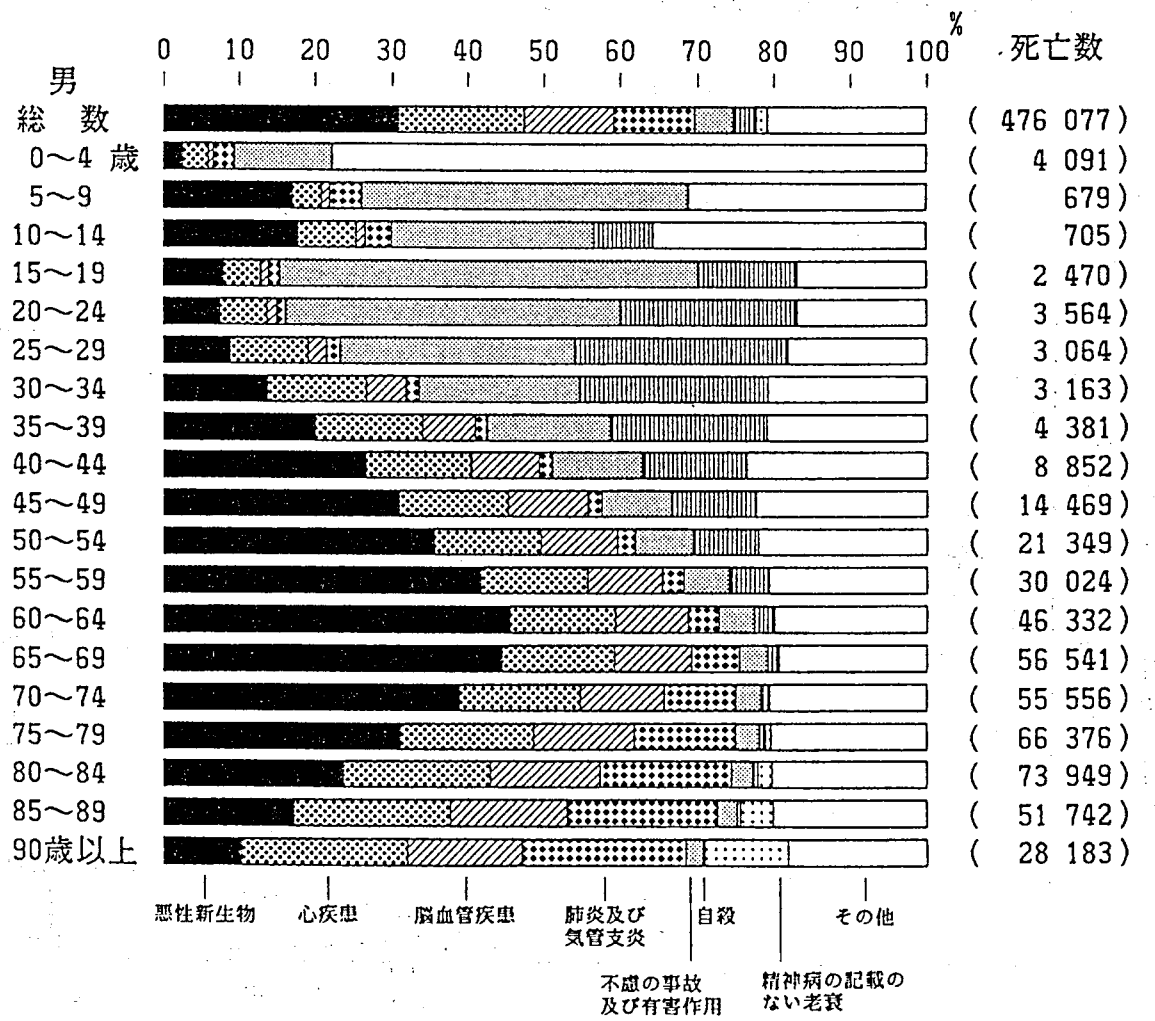
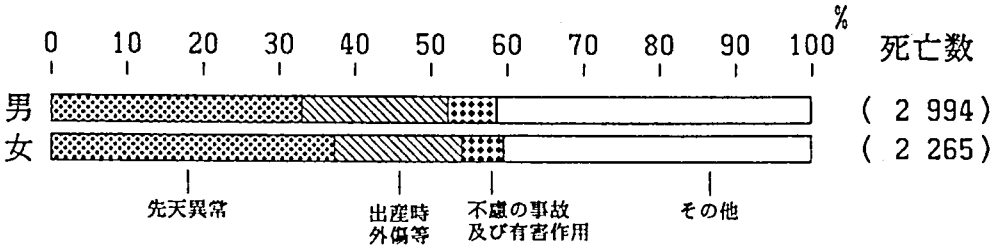
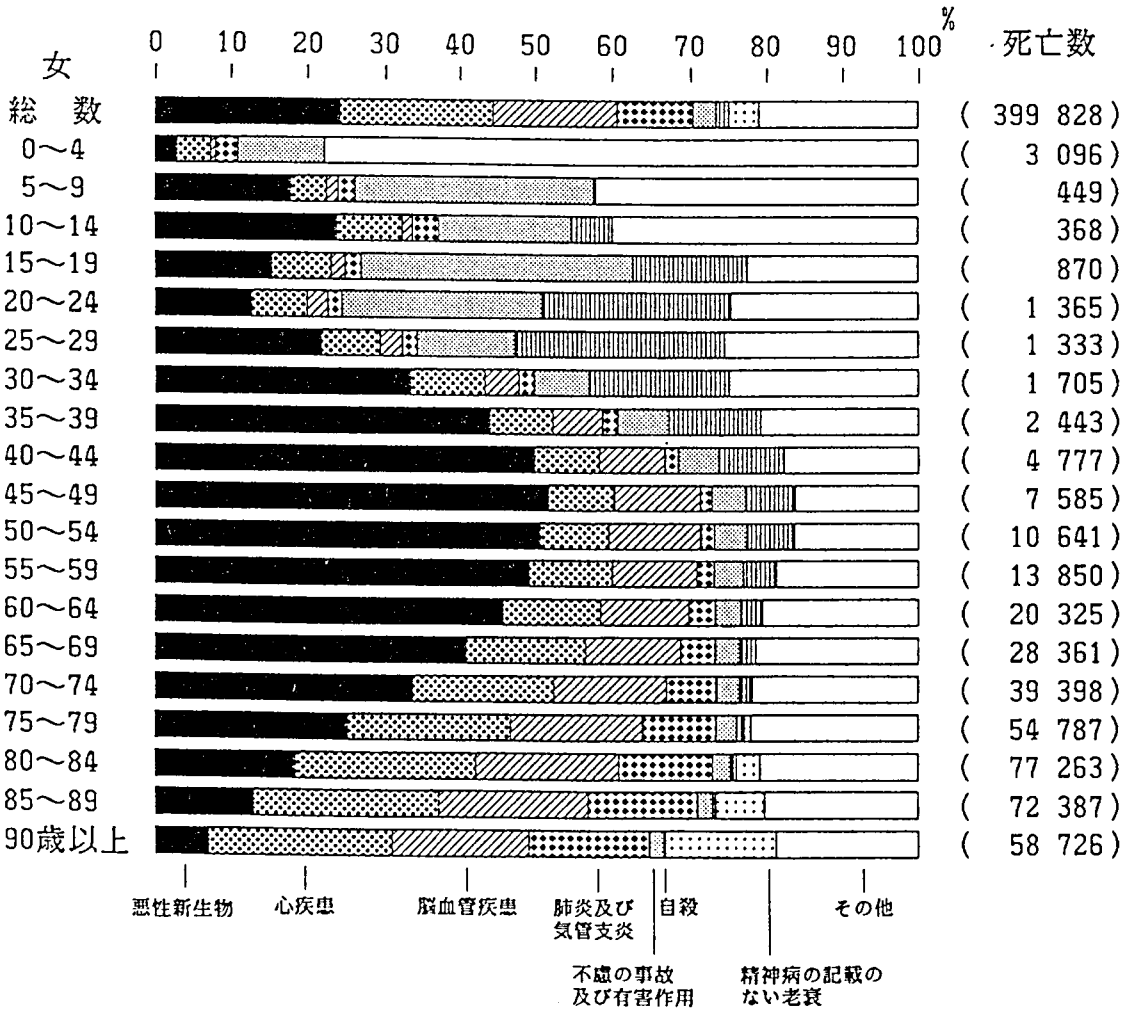


図６－２　乳児死亡の主な死因の構成割合（平成６年）



注：1）死因については乳児簡単分類を使用している。
2）「出産時外傷等」は、「出産時外傷，低酸素症，分娩仮死及びその他の呼吸病態」を略したものである。



③ 部位別にみた悪性新生物

悪性新生物について死亡数・死亡率を部位別にみると、「胃」及び「子宮」は低下傾向を示しているものの、それ以外では上昇傾向となっている。

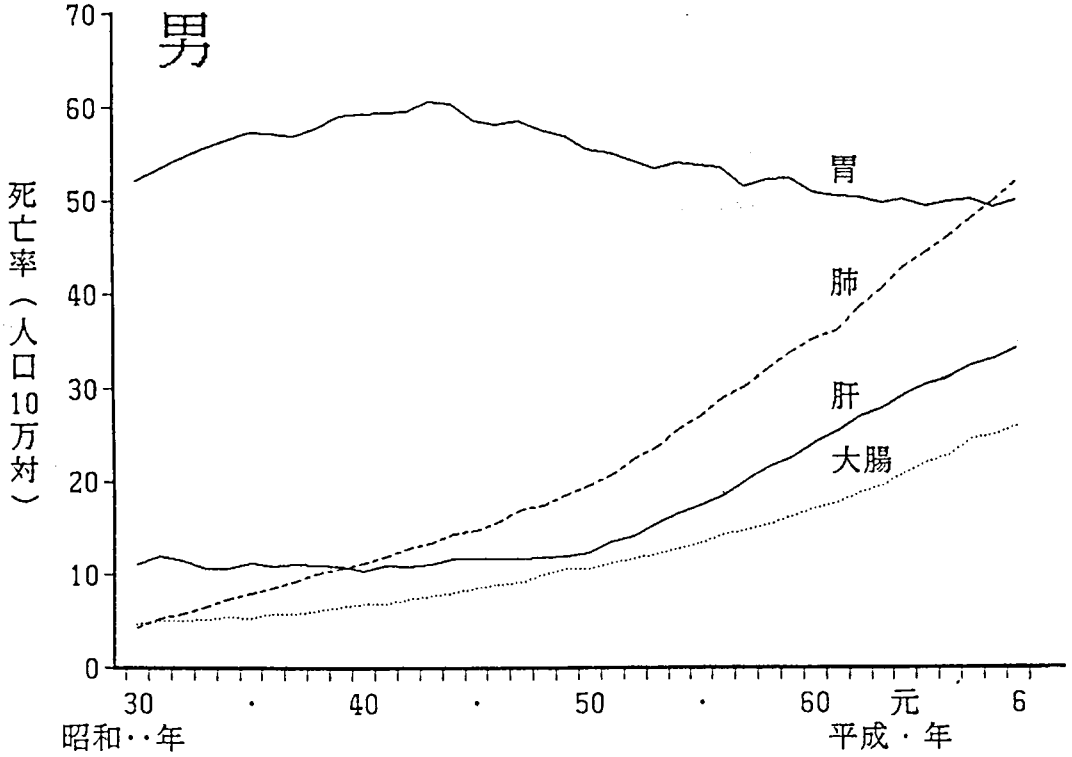
特に男の「肺」の上昇傾向が顕著で、平成５年に初めて「胃」を上回り、６年にはその差が、死亡数で1162、死亡率（人口10万対）で1.9に拡大した。（表８，図７）

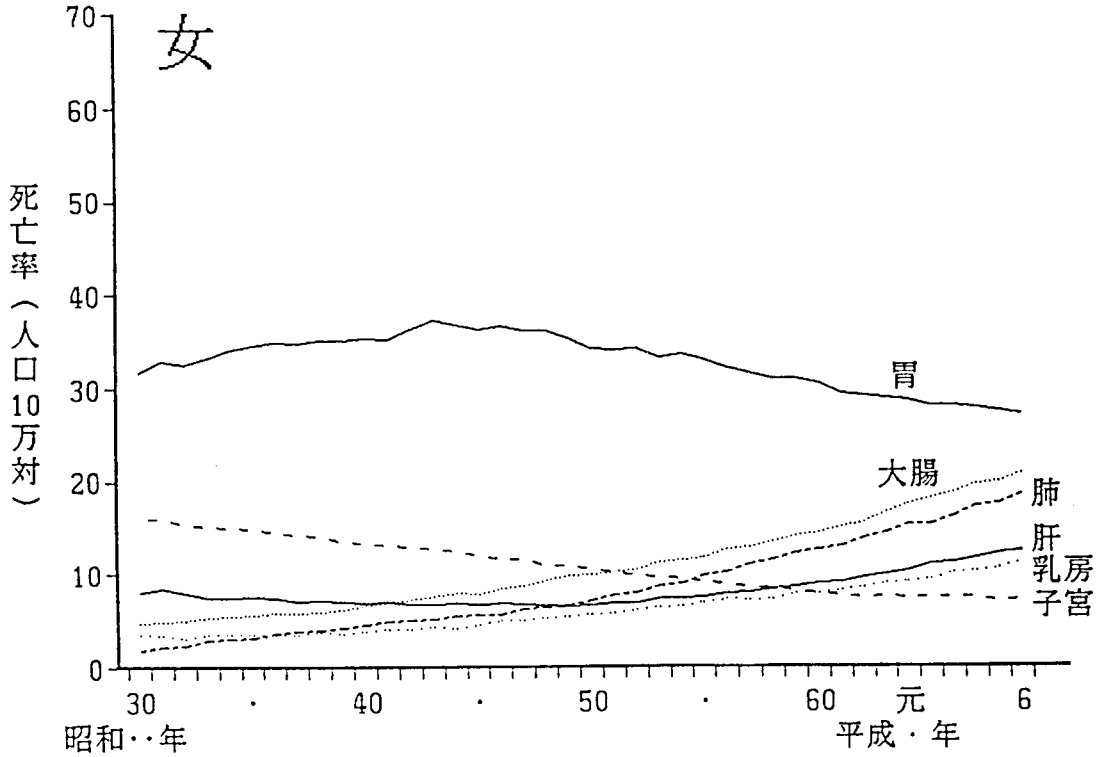
表８　悪性新生物の主な部位別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）の年次推移

部　位	昭和30年	40	50	60	平成４年	5	6
				死　亡　数			
男							
胃	22 899	28 636	30 403	30 146	30 507	29 998	30 555
肺	1 893	5 404	10 711	20 837	29 223	30 398	31 717
肝	4 877	5 006	6 795	14 287	19 571	20 060	20 761
大　腸1)	2 079	3 265	5 799	10 112	14 877	15 236	15 750
女							
胃	14 407	17 749	19 454	18 756	17 534	17 313	17 223
肺	818	2 321	4 048	7 753	10 940	11 129	11 750
肝	3 700	3 499	3 793	5 584	7 428	7 705	7 913
乳　房	1 572	1 966	3 262	4 922	6 451	6 758	7 127
子　宮	7 289	6 689	6 075	4 912	4 665	4 445	4 568
大　腸1)	2 160	3 335	5 654	8 926	12 410	12 639	13 152
				死　亡　率			
男							
胃	52.2	59.4	55.6	51.1	50.3	49.4	50.2
肺	4.3	11.2	19.6	35.3	48.2	50.1	52.1
肝	11.1	10.4	12.4	24.2	32.3	33.0	34.1
大　腸1)	4.7	6.8	10.6	17.1	24.6	25.1	25.9
女							
胃	31.7	35.5	34.4	30.6	27.9	27.5	27.2
肺	1.8	4.6	7.2	12.7	17.4	17.6	18.6
肝	8.1	7.0	6.7	9.1	11.8	12.2	12.5
乳　房	3.5	3.9	5.8	8.0	10.3	10.7	11.3
子　宮	16.0	13.4	10.7	8.0	7.4	7.0	7.2
大　腸1)	4.8	6.7	10.0	14.6	19.7	20.0	20.8

注：1)　大腸の悪性新生物は、結腸と直腸Ｓ状結腸移行部及び直腸を示す。
　　ただし、昭和40年までは直腸肛門部を含む。

図７　　悪性新生物の主な部位別死亡率の年次推移





4　婚姻

平成６年の婚姻件数は78万2735組で５年の79万2658組より9923組減少した。

婚姻件数は昭和４０年代後半には 100万組を超え、婚姻率（人口千対）も10.0以上で婚姻ブームを呈した。その後は件数・率とも減少したが、６３年以降件数は６年連続して増加し、率も上昇傾向となっていたが、平成６年には再び件数・率とも減少に転じた。

婚姻率（人口千対）は6.3で前年の6.4を下回った（図８）。

平成６年に婚姻の届出をしたもののうち、平成６年に同居した初婚の妻は64万 974人であり、これを年齢（５歳階級）別にみると、３０～３９歳及び４５～４９歳では増加しているものの、その他は減少している（表９）。

平均初婚年齢は、夫28.5歳、妻26.2歳で、夫は昭和６２年以降横ばいに推移しているが、妻は平成４年以降毎年上昇している（表10）。

これを都道府県別にみると、夫、妻ともそろって最も年齢が低いのは香川県で、夫27.7歳、妻25.4歳であり、最も高いのは東京都で、夫29.5歳、妻27.1歳である（表11）。

図８　婚姻件数及び婚姻率の年次推移

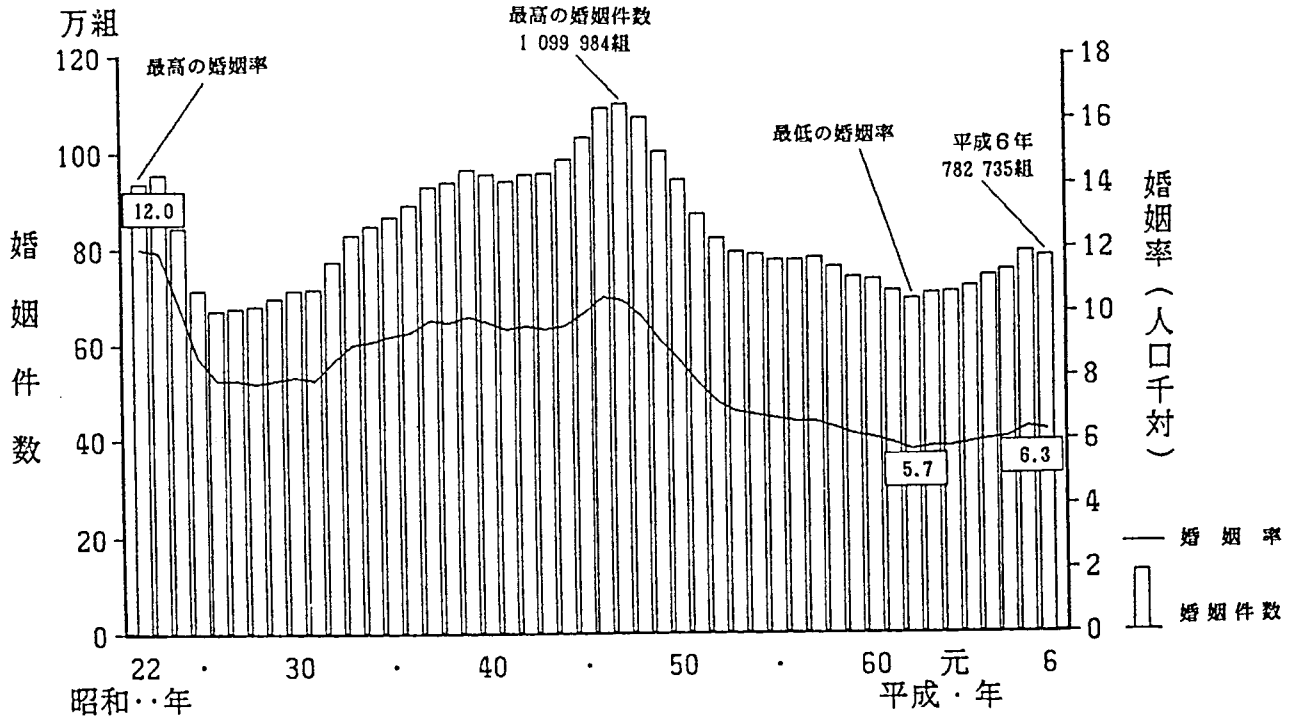


表９　初婚の妻の年齢（５歳階級）別婚姻件数

年齢階級	平成６年	平成５年	対前年増減	対前年増加率（%）
総　数	640 974	651 472	-10 498	-1.6
～19歳	20 381	21 992	-1 611	-7.3
20～24	238 834	247 397	-8 563	-3.5
25～29	294 502	298 353	-3 851	-1.3
30～34	66 965	63 938	3 027	4.7
35～39	13 734	13 134	600	4.6
40～44	3 708	3 793	-85	-2.2
45～49	1 629	1 606	23	1.4
50～	1 220	1 255	-35	-2.8

注：各届出年に同居したもの。
　　総数には年齢不詳を含む。

表１０　平均婚姻年齢の年次推移

	全婚姻		初婚	
	夫	妻	夫	妻
	歳	歳	歳	歳
昭和45年	27.6	24.6	26.9	24.2
50	27.8	25.2	27.0	24.7
55	28.7	25.9	27.8	25.2
60	29.3	26.4	28.2	25.5
62	29.6	26.7	28.4	25.7
63	29.7	26.8	28.4	25.8
平成元年	29.8	26.9	28.5	25.8
2	29.7	26.9	28.4	25.9
3	29.6	26.9	28.4	25.9
4	29.7	27.0	28.4	26.0
5	29.7	27.1	28.4	26.1
6	29.8	27.2	28.5	26.2

注：各届出年に同居したもの。

表１１　都道府県別にみた平均初婚年齢

平成６年

都道府県	夫	妻
	歳	歳
全　国	28.5	26.2
北海道	28.1	26.1
青　森	28.1	25.9
岩　手	28.4	26.1
宮　城	28.2	26.1
秋　田	28.7	26.3
山　形	28.8	26.1
福　島	28.3	25.8
茨　城	28.4	25.9
栃　木	28.4	25.9
群　馬	28.2	25.9
埼　玉	28.6	26.2
千　葉	28.6	26.3
東　京	29.5	27.1
神奈川	28.9	26.6
新　潟	28.4	26.1
富　山	28.0	25.6
石　川	27.9	25.6
福　井	28.1	25.7
山　梨	28.9	26.5
長　野	28.9	26.5
岐　阜	28.1	25.7
静　岡	28.5	26.1
愛　知	28.2	25.8
三　重	28.0	25.7
滋　賀	28.2	25.9
京　都	28.6	26.4
大　阪	28.2	26.1
兵　庫	28.3	26.0
奈　良	28.4	26.1
和歌山	27.9	25.7
鳥　取	28.3	25.9
島　根	28.3	25.8
岡　山	27.7	25.5
広　島	28.0	25.7
山　口	27.8	25.6
徳　島	27.9	25.5
香　川	27.7	25.4
愛　媛	27.8	25.7
高　知	28.4	26.0
福　岡	28.3	26.3
佐　賀	28.4	26.3
長　崎	28.6	26.5
熊　本	28.3	26.3
大　分	28.2	26.1
宮　崎	28.0	26.0
鹿児島	28.8	26.5
沖　縄	28.3	26.2

注：各届出年に同居したもの。

5　離婚

平成６年の離婚件数は19万5115組で、前年の18万8297組より6818組増加した。

離婚件数は昭和３９年以降毎年増加し、４６年には10万組を超えた。その後も増加を続けたが、５８年をピークに減少に転じたものの、平成３年から再び増加している。

離婚率（人口千対）は1.57で前年の1.52を上回り、離婚件数とともに人口動態統計史上（明治３２年以降）最高となった。（図９）

離婚件数を同居期間別にみると、５年未満が最も多く、次いで５～１０年未満、２０年以上となっている。前年に比べ１５～２０年未満以外の同居期間では全て増加しており、特に５年未満及び２０年以上での増加が目立つ（表12，図10）。

図９　　離婚件数及び離婚率の年次推移

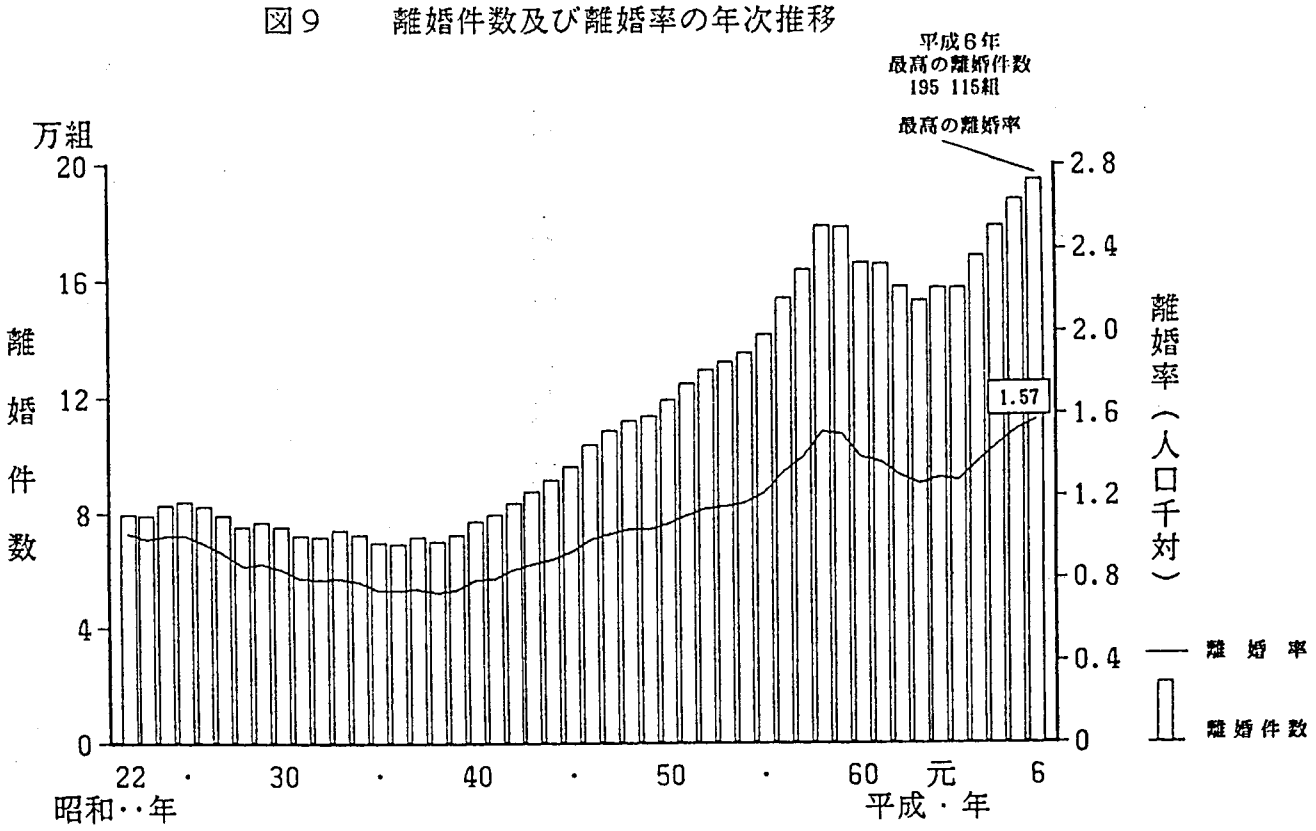
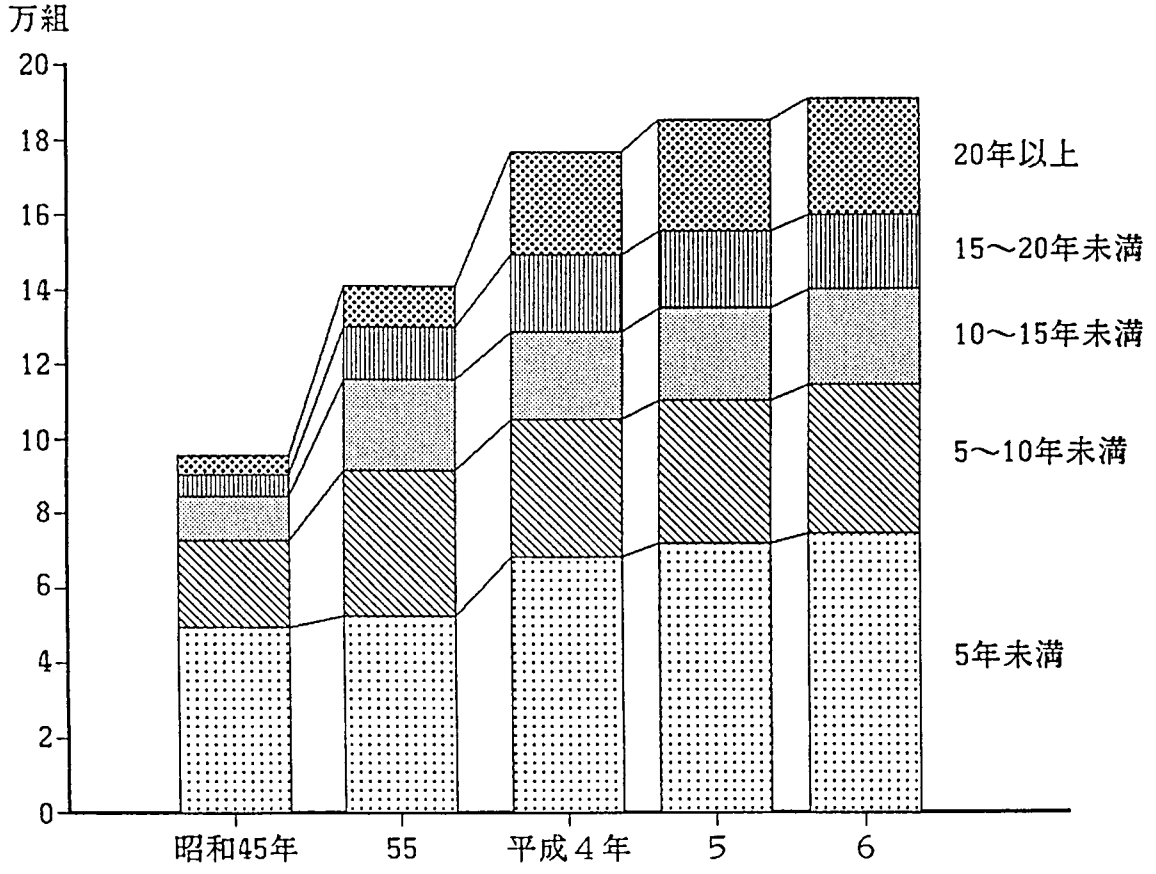


表１２　同居期間別離婚件数の年次推移

同居期間	昭和45年	55	平成４年	5	6	対前年増減	対前年増加率（%）
総　数	95 937	141 689	179 191	188 297	195 115	6 818	3.6
5年未満	49 489	52 597	68 385	72 094	74 853	2 759	3.8
1年未満	14 523	12 990	13 788	13 941	14 695	754	5.4
1～2	11 149	11 427	15 907	16 741	17 342	601	3.6
2～3	9 193	10 211	15 067	15 643	16 143	500	3.2
3～4	7 772	9 204	13 041	13 867	14 488	621	4.5
4～5	6 852	8 765	10 582	11 902	12 185	283	2.4
5～10	23 299	39 034	37 078	38 608	40 126	1 518	3.9
10～15	11 898	24 425	23 445	24 838	25 531	693	2.8
15～20	5 858	14 088	20 791	20 687	19 961	-726	-3.5
20年以上	5 072	10 883	27 553	29 691	31 257	1 566	5.3
20～25	…	6 573	16 191	17 162	17 743	581	3.4
25～30	…	2 682	7 324	7 861	8 346	485	6.2
30～35	…	1 164	2 630	3 030	3 384	354	11.7
35～	…	464	1 408	1 638	1 784	146	8.9

注：　総数には同居期間不詳を含む。

図１０　　同居期間別離婚件数の年次推移



統　　計　　表

第１表　人口動態総覧の年次推移

年　次	出生数	死亡数	自然増加数	乳児死亡数	新生児死亡数
昭和22年	2 678 792	1 138 238	1 540 554	205 360	84 204
23	2 681 624	950 610	1 731 014	165 406	73 855
24	2 696 638	945 444	1 751 194	168 467	72 432
25	2 337 507	904 876	1 432 631	140 515	64 142
26	2 137 689	838 998	1 298 691	122 869	58 686
27	2 005 162	765 068	1 240 094	99 114	51 015
28	1 868 040	772 547	1 095 493	91 424	47 580
29	1 769 580	721 491	1 048 089	78 944	42 726
30	1 730 692	693 523	1 037 169	68 801	38 646
31	1 665 278	724 460	940 818	67 691	38 232
32	1 566 713	752 445	814 268	62 678	33 847
33	1 653 469	684 189	969 280	57 052	32 237
34	1 626 088	689 959	936 129	54 768	30 235
35	1 606 041	706 599	899 442	49 293	27 362
36	1 589 372	695 644	893 728	45 465	26 255
37	1 618 616	710 265	908 351	42 797	24 777
38	1 659 521	670 770	988 751	38 442	22 965
39	1 716 761	673 067	1 043 694	34 967	21 344
40	1 823 697	700 438	1 123 259	33 742	21 260
41	1 360 974	670 342	690 632	26 217	16 296
42	1 935 647	675 006	1 260 641	28 928	19 248
43	1 871 839	686 555	1 185 284	28 600	18 326
44	1 889 815	693 787	1 196 028	26 874	17 116
45	1 934 239	712 962	1 221 277	25 412	16 742
46	2 000 973	684 521	1 316 452	24 805	16 450
47	2 038 682	683 751	1 354 931	23 773	15 817
48	2 091 983	709 416	1 382 567	23 683	15 473
49	2 029 989	710 510	1 319 479	21 888	14 472
50	1 901 440	702 275	1 199 165	19 103	12 912
51	1 832 617	703 270	1 129 347	17 105	11 638
52	1 755 100	690 074	1 065 026	15 666	10 773
53	1 708 643	695 821	1 012 822	14 327	9 628
54	1 642 580	689 664	952 916	12 923	8 590
55	1 576 889	722 801	854 088	11 841	7 796
56	1 529 455	720 262	809 193	10 891	7 188
57	1 515 392	711 883	803 509	9 969	6 425
58	1 508 687	740 038	768 649	9 406	5 894
59	1 489 780	740 247	749 533	8 920	5 527
60	1 431 577	752 283	679 294	7 899	4 910
61	1 382 946	750 620	632 326	7 251	4 296
62	1 346 658	751 172	595 486	6 711	3 933
63	1 314 006	793 014	520 992	6 265	3 592
平成元年	1 246 802	788 594	458 208	5 724	3 214
2	1 221 585	820 305	401 280	5 616	3 179
3	1 223 245	829 797	393 448	5 418	2 978
4	1 208 989	856 643	352 346	5 477	2 905
5	1 188 282	878 532	309 750	5 169	2 765
6	1 238 247	875 905	362 342	5 259	2 887

注：昭和23年、24年には自然・人工の不詳を含む。

死産数			周産期死亡数	婚姻件数	離婚件数	年次
総数	自然	人工				
123 837	…	…	…	934 170	79 551	昭和22年
143 963	104 325	31 055	…	953 999	79 032	23
192 677	114 161	75 585	…	842 170	82 575	24
216 974	106 594	110 380	108 843	715 081	83 689	25
217 231	101 237	115 994	99 865	671 905	82 331	26
203 824	94 508	109 316	91 527	676 995	79 021	27
193 274	89 751	103 523	85 932	682 077	75 255	28
187 119	87 201	99 918	79 776	697 809	76 759	29
183 265	85 159	98 106	75 918	714 861	75 267	30
179 007	86 558	92 449	75 706	715 934	72 040	31
176 353	86 895	89 458	70 502	773 362	71 651	32
185 148	92 282	92 866	72 625	826 902	74 004	33
181 893	92 688	89 205	69 912	847 135	72 455	34
179 281	93 424	85 857	66 552	866 115	69 410	35
179 895	96 032	83 863	65 063	890 158	69 323	36
177 363	97 256	80 107	62 650	928 341	71 394	37
175 424	97 711	77 713	60 049	937 516	69 996	38
168 046	97 357	70 689	56 827	963 130	72 306	39
161 617	94 476	67 141	54 904	954 852	77 195	40
148 248	83 253	64 995	42 583	940 120	79 432	41
149 389	90 938	58 451	50 846	953 096	83 478	42
143 259	87 381	55 878	45 921	956 312	87 327	43
139 211	85 788	53 423	43 419	984 142	91 280	44
135 095	84 073	51 022	41 917	1 029 405	95 937	45
130 920	83 827	47 093	40 900	1 091 229	103 595	46
125 154	81 741	43 413	38 754	1 099 984	108 382	47
116 171	78 613	37 558	37 598	1 071 923	111 877	48
109 738	74 618	35 120	34 383	1 000 455	113 622	49
101 862	67 643	34 219	30 513	941 628	119 135	50
101 930	64 046	37 884	27 133	871 543	124 512	51
95 247	60 330	34 917	24 708	821 029	129 485	52
87 463	55 818	31 645	22 217	793 257	132 146	53
82 311	51 083	31 228	20 481	788 505	135 250	54
77 446	47 651	29 795	18 385	774 702	141 689	55
79 222	46 296	32 926	16 531	776 531	154 221	56
78 107	44 135	33 972	15 303	781 252	163 980	57
71 941	40 108	31 833	14 035	762 552	179 150	58
72 361	37 976	34 385	12 998	739 991	178 746	59
69 009	33 114	35 895	11 470	735 850	166 640	60
65 678	31 050	34 628	10 148	710 962	166 054	61
63 834	29 956	33 878	9 317	696 173	158 227	62
59 636	26 804	32 832	8 508	707 716	153 600	63
55 204	24 558	30 646	7 450	708 316	157 811	平成元年
53 892	23 383	30 509	7 001	722 138	157 608	2
50 510	22 317	28 193	6 544	742 264	168 969	3
48 896	21 689	27 207	6 321	754 441	179 191	4
45 090	20 205	24 885	5 989	792 658	188 297	5
42 971	19 714	23 257	6 140	782 735	195 115	6

第２表　人口動態総覧（率）の年次推移

年　次	出　生	死　亡	自然増加	乳児死亡	新生児死亡
	（人口千対）			（出生千対）	
昭和22年	34.3	14.6	19.7	76.7	31.4
23	33.5	11.9	21.6	61.7	27.5
24	33.0	11.6	21.4	62.5	26.9
25	28.1	10.9	17.2	60.1	27.4
26	25.3	9.9	15.4	57.5	27.5
27	23.4	8.9	14.4	49.4	25.4
28	21.5	8.9	12.6	48.9	25.5
29	20.0	8.2	11.9	44.6	24.1
30	19.4	7.8	11.6	39.8	22.3
31	18.4	8.0	10.4	40.6	23.0
32	17.2	8.3	8.9	40.0	21.6
33	18.0	7.4	10.5	34.5	19.5
34	17.5	7.4	10.1	33.7	18.6
35	17.2	7.6	9.6	30.7	17.0
36	16.9	7.4	9.5	28.6	16.5
37	17.0	7.5	9.5	26.4	15.3
38	17.3	7.0	10.3	23.2	13.8
39	17.7	6.9	10.7	20.4	12.4
40	18.6	7.1	11.4	18.5	11.7
41	13.7	6.8	7.0	19.3	12.0
42	19.4	6.8	12.7	14.9	9.9
43	18.6	6.8	11.8	15.3	9.8
44	18.5	6.8	11.7	14.2	9.1
45	18.8	6.9	11.8	13.1	8.7
46	19.2	6.6	12.6	12.4	8.2
47	19.3	6.5	12.8	11.7	7.8
48	19.4	6.6	12.8	11.3	7.4
49	18.6	6.5	12.1	10.8	7.1
50	17.1	6.3	10.8	10.0	6.8
51	16.3	6.3	10.0	9.3	6.4
52	15.5	6.1	9.4	8.9	6.1
53	14.9	6.1	8.8	8.4	5.6
54	14.2	6.0	8.3	7.9	5.2
55	13.6	6.2	7.3	7.5	4.9
56	13.0	6.1	6.9	7.1	4.7
57	12.8	6.0	6.8	6.6	4.2
58	12.7	6.2	6.5	6.2	3.9
59	12.5	6.2	6.3	6.0	3.7
60	11.9	6.3	5.6	5.5	3.4
61	11.4	6.2	5.2	5.2	3.1
62	11.1	6.2	4.9	5.0	2.9
63	10.8	6.5	4.3	4.8	2.7
平成元年	10.2	6.4	3.7	4.6	2.6
2	10.0	6.7	3.3	4.6	2.6
3	9.9	6.7	3.2	4.4	2.4
4	9.8	6.9	2.9	4.5	2.4
5	9.6	7.1	2.5	4.3	2.3
6	10.0	7.1	2.9	4.2	2.3

死産（出産千対）			周産期死亡（出生千対）	婚姻（人口千対）	離婚（人口千対）	合計特殊出生率	年次
総数	自然	人工					
44.2	…	…	…	12.0	1.02	4.54	昭和22年
50.9	36.9	10.9	…	11.9	0.99	4.40	23
66.7	39.1	25.9	…	10.3	1.01	4.32	24
84.9	41.7	43.2	46.6	8.6	1.01	3.65	25
92.2	43.0	49.3	46.7	7.9	0.97	3.26	26
92.3	42.8	49.5	45.6	7.9	0.92	2.98	27
93.8	43.5	50.2	46.0	7.8	0.86	2.69	28
95.6	44.6	51.1	45.1	7.9	0.87	2.48	29
95.8	44.5	51.3	43.9	8.0	0.84	2.37	30
97.1	46.9	50.1	45.5	7.9	0.80	2.22	31
101.2	49.9	51.3	45.0	8.5	0.79	2.04	32
100.7	50.2	50.5	43.9	9.0	0.80	2.11	33
100.6	51.3	49.3	43.0	9.1	0.78	2.04	34
100.4	52.3	48.1	41.4	9.3	0.74	2.00	35
101.7	54.3	47.4	40.9	9.4	0.74	1.96	36
98.8	54.2	44.6	38.7	9.8	0.75	1.98	37
95.6	53.3	42.4	36.2	9.7	0.73	2.00	38
89.2	51.7	37.5	33.1	9.9	0.74	2.05	39
81.4	47.6	33.8	30.1	9.7	0.79	2.14	40
98.2	55.2	43.1	31.3	9.5	0.80	1.58	41
71.6	43.6	28.0	26.3	9.6	0.84	2.23	42
71.1	43.4	27.7	24.5	9.5	0.87	2.13	43
68.6	42.3	26.3	23.0	9.6	0.89	2.13	44
65.3	40.6	24.7	21.7	10.0	0.93	2.13	45
61.4	39.3	22.1	20.4	10.5	0.99	2.16	46
57.8	37.8	20.1	19.0	10.4	1.02	2.14	47
52.6	35.6	17.0	18.0	9.9	1.04	2.14	48
51.3	34.9	16.4	16.9	9.1	1.04	2.05	49
50.8	33.8	17.1	16.0	8.5	1.07	1.91	50
52.7	33.1	19.6	14.8	7.8	1.11	1.85	51
51.5	32.6	18.9	14.1	7.2	1.14	1.80	52
48.7	31.1	17.6	13.0	6.9	1.15	1.79	53
47.7	29.6	18.1	12.5	6.8	1.17	1.77	54
46.8	28.8	18.0	11.7	6.7	1.22	1.75	55
49.2	28.8	20.5	10.8	6.6	1.32	1.74	56
49.0	27.7	21.3	10.1	6.6	1.39	1.77	57
45.5	25.4	20.1	9.3	6.4	1.51	1.80	58
46.3	24.3	22.0	8.7	6.2	1.50	1.81	59
46.0	22.1	23.9	8.0	6.1	1.39	1.76	60
45.3	21.4	23.9	7.3	5.9	1.37	1.72	61
45.3	21.2	24.0	6.9	5.7	1.30	1.69	62
43.4	19.5	23.9	6.5	5.8	1.26	1.66	63
42.4	18.9	23.5	6.0	5.8	1.29	1.57	平成元年
42.3	18.3	23.9	5.7	5.9	1.28	1.54	2
39.7	17.5	22.1	5.3	6.0	1.37	1.53	3
38.9	17.2	21.6	5.2	6.1	1.45	1.50	4
36.6	16.4	20.2	5.0	6.4	1.52	1.46	5
33.5	15.4	18.2	5.0	6.3	1.57	1.50	6

第３表　母の年齢（5歳階級）別出生数の年次推移

母の年齢	昭和30年	40	50	60	平成４年	5	6
総　　数	1 730 692	1 823 697	1 901 440	1 431 577	1 208 989	1 188 282	1 238 247
～14歳	8	7	9	23	22	13	22
15～19	25 211	17 712	15 990	17 854	18 372	17 439	17 073
20～24	469 027	513 645	479 041	247 341	204 141	197 974	204 368
25～29	691 349	854 399	1 014 624	682 885	524 269	510 933	525 912
30～34	372 175	355 269	320 060	381 466	357 170	357 087	377 375
35～39	138 158	72 355	62 663	93 501	92 209	92 286	100 563
40～44	33 055	9 828	8 727	8 224	12 481	12 177	12 479
45～49	1 572	462	312	244	299	348	431
50歳以上	134	18	7	1	2	－	3

注：総数には母の年齢不詳を含む。

第４表　死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（５歳階級）別

総　数

（３－１）

年　齢	昭和30年	40	50	60	平成４年	5	6
総　　数	776.8	712.7	631.2	625.5	693.8	709.7	706.0
0～4歳	1 074.8	523.4	260.5	145.3	123.5	120.0	119.7
5～9	129.0	57.8	36.1	21.1	18.0	18.2	16.9
10～14	68.9	39.4	24.9	16.5	14.9	14.7	14.1
15～19	127.4	68.0	60.2	47.2	42.5	38.9	37.9
20～24	230.7	114.7	81.4	57.1	52.0	49.9	49.9
25～29	254.6	133.5	82.6	60.9	53.6	49.9	51.5
30～34	272.3	162.9	106.5	74.5	62.4	61.6	62.6
35～39	321.6	214.7	152.9	104.2	92.1	90.8	87.4
40～44	419.4	292.8	241.6	175.6	150.0	148.9	144.7
45～49	617.2	458.0	354.8	277.1	235.7	233.4	222.4
50～54	936.3	713.4	510.8	455.6	364.3	360.4	354.8
55～59	1 403.6	1 147.9	802.9	654.3	601.2	590.8	561.2
60～64	2 229.4	1 922.6	1 297.2	948.7	940.0	943.7	913.9
65～69	3 556.2	3 161.2	2 230.4	1 554.0	1 387.9	1 397.6	1 368.5
70～74	5 756.7	5 297.3	3 931.4	2 717.5	2 249.5	2 223.6	2 123.3
75～79	8 831.6	8 927.2	6 712.6	4 980.5	4 063.3	4 032.9	3 866.1
80～84	13 110.6	14 918.1	11 461.4	8 540.5	7 295.6	7 137.2	6 756.6
85～89	19 985.6	21 656.2	18 042.0	14 725.6	12 595.5	12 343.6	11 788.1
90～	29 973.2	28 683.1	29 126.2	23 364.8	21 582.5	21 411.1	20 791.6

男

(3－2)

年　齢	昭和30年	40	50	60	平成4年	5	6
総　　数	832.7	785.0	690.4	690.6	768.3	784.6	782.5
0～4歳	1 136.2	587.6	292.6	158.8	136.4	128.8	132.7
5～9	145.0	70.7	44.7	26.6	21.8	20.7	19.8
10～14	75.0	48.4	30.0	19.9	17.2	17.1	18.1
15～19	147.4	91.7	86.5	69.8	60.8	55.9	54.6
20～24	270.1	149.2	107.0	81.4	74.0	71.6	70.4
25～29	284.5	162.2	103.5	80.7	71.7	68.7	70.9
30～34	293.2	199.8	132.3	93.3	81.1	78.9	80.6
35～39	345.6	260.1	194.2	131.9	116.9	116.8	111.3
40～44	466.6	360.0	315.8	227.7	192.1	189.7	187.4
45～49	713.6	566.8	458.8	371.7	310.4	305.6	291.7
50～54	1 102.4	892.5	654.2	624.6	488.2	487.1	478.5
55～59	1 688.0	1 465.3	1 070.5	906.7	845.0	827.9	783.7
60～64	2 724.3	2 483.4	1 720.9	1 314.9	1 341.4	1 355.8	1 317.0
65～69	4 342.3	4 022.8	2 949.0	2 159.4	1 978.4	1 990.6	1 957.1
70～74	6 986.0	6 641.2	5 045.4	3 707.7	3 244.8	3 203.9	3 072.8
75～79	10 495.3	10 802.0	8 267.6	6 581.0	5 633.2	5 611.4	5 449.6
80～84	15 182.6	17 517.4	13 470.6	10 799.1	9 748.5	9 605.9	9 163.4
85～89	22 368.0	25 131.8	20 562.4	18 136.2	16 075.3	15 845.7	15 263.1
90～	35 271.9	30 164.6	30 858.0	25 429.3	25 811.3	25 738.1	25 163.4

女

(3－3)

年　齢	昭和30年	40	50	60	平成4年	5	6
総　数	722.8	643.1	574.0	562.7	622.0	637.6	632.3
0～4歳	1 010.7	456.6	226.8	131.2	110.0	110.8	106.0
5～9	112.2	44.3	27.1	15.3	14.1	15.5	13.8
10～14	62.6	30.2	19.5	13.1	12.4	12.2	9.9
15～19	107.2	43.7	33.0	23.7	23.2	21.0	20.3
20～24	191.3	80.8	55.5	31.8	29.0	27.1	28.3
25～29	225.2	105.2	61.5	40.7	35.0	30.5	31.7
30～34	254.8	125.6	80.6	55.6	43.2	43.8	44.4
35～39	301.7	169.3	111.6	76.0	66.9	64.4	63.0
40～44	377.6	236.0	167.0	124.1	107.5	107.8	101.8
45～49	525.0	368.2	252.2	184.6	161.3	161.2	153.1
50～54	769.3	556.9	392.6	289.7	242.9	236.0	233.7
55～59	1 117.5	852.2	590.4	414.9	366.9	363.2	347.4
60～64	1 751.3	1 392.7	948.6	663.0	565.5	559.7	538.3
65～69	2 866.9	2 379.6	1 630.1	1 106.4	901.2	890.1	855.5
70～74	4 843.1	4 187.7	3 036.7	1 998.4	1 585.7	1 571.4	1 478.9
75～79	7 765.1	7 611.8	5 590.0	3 871.3	3 042.9	3 017.6	2 858.0
80～84	11 982.3	13 493.9	10 227.3	7 165.7	5 891.6	5 740.7	5 399.2
85～89	18 945.1	20 153.1	16 820.0	13 067.1	10 900.8	10 653.9	10 138.2
90～	28 149.7	28 134.0	28 499.9	22 490.8	19 992.6	19 881.3	19 191.5

第５表　死亡数・死亡率（人口10万対），死因（簡単分類）別

（4－1）

死因簡単分類番号 1) 2)	死因	死亡数 平成６年	死亡数 平成５年	死亡率 平成６年	死亡率 平成５年	死亡総数に占める割合（%）
	総数	875 905	878 532	706.0	709.7	100.0
1	コレラ	-	-	-	-	-
2	腸チフス	1	-	0.0	-	0.0
3	細菌性赤痢及びアメーバ症	2	3	0.0	0.0	0.0
4	腸炎及びその他の下痢性疾患	937	749	0.8	0.6	0.1
5	呼吸系の結核	2 888	3 042	2.3	2.5	0.3
6	その他の結核	203	207	0.2	0.2	0.0
7	らい	-	1	-	0.0	-
8	ジフテリア	-	1	-	0.0	-
9	百日咳	3	2	0.0	0.0	0.0
10	猩紅熱	-	-	-	-	-
11	髄膜炎菌感染	2	-	0.0	-	0.0
12	破傷風（新生児破傷風を除く）	10	14	0.0	0.0	0.0
13	敗血症（新生児敗血症を除く）	4 590	3 944	3.7	3.2	0.5
14	急性灰白髄炎	-	-	-	-	-
15	痘瘡	-	-	-	-	-
16	麻疹	11	14	0.0	0.0	0.0
17	日本脳炎	1	-	0.0	-	0.0
18	ウイルス肝炎Ｂ	556	451	0.4	0.4	0.1
19	その他のウイルス肝炎	2 622	2 043	2.1	1.7	0.3
20	発疹チフス及びその他のリケッチア症	4	4	0.0	0.0	0.0
21	マラリア	3	-	0.0	-	0.0
22	梅毒	33	25	0.0	0.0	0.0
23	カンジダ症（新生児カンジダ症を除く）	88	105	0.1	0.1	0.0
24	日本住血吸虫症	7	3	0.0	0.0	0.0
25	フィラリア症	1	1	0.0	0.0	0.0
26	その他の感染症及び寄生虫症	3 702	3 325	3.0	2.7	0.4

注：1）死因簡単分類番号は通し番号になっており、欠番は小計をあらわしている。
2）「E104～E117　損傷及び中毒の外因」は、「91～101 損傷及び中毒」を外因で分類したものである。
3）女子人口10万対の死亡率である。
4）平成６年の減少は、新しい死亡診断書（死体検案書）（平成７年１月施行）における「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」という注意書きの、施行前の周知の影響によるものと考えられる。
5）男子人口10万対の死亡率である。

死因簡単分類番号 1) 2)	死因	死亡数 平成6年	死亡数 平成5年	死亡率 平成6年	死亡率 平成5年	死亡総数に占める割合（%）
28～37	悪性新生物	243 585	235 707	196.3	190.4	27.8
28	食道	8 141	8 040	6.6	6.5	0.9
29	胃	47 778	47 311	38.5	38.2	5.5
30	直腸，直腸S状結腸移行部及び肛門	10 019	9 963	8.1	8.0	1.1
31	肝	28 674	27 765	23.1	22.4	3.3
32	膵	14 987	14 713	12.1	11.9	1.7
33	気管，気管支及び肺	43 467	41 527	35.0	33.5	5.0
34	乳房	7 191	6 814	5.8	5.5	0.8
35	子宮 3)	4 568	4 445	7.2	7.0	0.5
36	白血病	5 906	5 819	4.8	4.7	0.7
37	その他	72 854	69 310	58.7	56.0	8.3
38	良性及び性質不詳の新生物	7 009	7 287	5.6	5.9	0.8
39	糖尿病	10 868	10 239	8.8	8.3	1.2
40	栄養欠乏症	835	692	0.7	0.6	0.1
41	貧血	1 573	1 464	1.3	1.2	0.2
42	精神障害	3 427	3 116	2.8	2.5	0.4
43	髄膜炎	480	448	0.4	0.4	0.1
44	中枢神経系の非炎症性疾患	6 152	5 811	5.0	4.7	0.7
45	急性リウマチ熱	42	32	0.0	0.0	0.0
46	慢性リウマチ性心疾患	1 307	1 298	1.1	1.0	0.1
48～49	高血圧性疾患	7 933	8 360	6.4	6.8	0.9
48	高血圧性心疾患	5 593	6 334	4.5	5.1	0.6
49	その他の高血圧性疾患	2 340	2 026	1.9	1.6	0.3
51～52	虚血性心疾患	57 827	51 914	46.6	41.9	6.6
51	急性心筋梗塞	39 852	32 545	32.1	26.3	4.5
52	その他の虚血性心疾患	17 975	19 369	14.5	15.6	2.1
54～56	肺循環疾患及びその他の型の心疾患	100 351	127 085	80.9	102.7	11.5
54	心内膜の慢性疾患	5 154	4 794	4.2	3.9	0.6
55	心不全 4)	79 787	108 465	64.3	87.6	9.1
56	その他の心疾患	15 410	13 826	12.4	11.2	1.8
58～60	脳血管疾患	120 225	118 794	96.9	96.0	13.7
58	脳出血	29 486	29 955	23.8	24.2	3.4
59	脳梗塞	67 428	64 850	54.3	52.4	7.7
60	その他の脳血管疾患	23 311	23 989	18.8	19.4	2.7

死因簡単分類番号 1)2)	死因	死亡数 平成6年	死亡数 平成5年	死亡率 平成6年	死亡率 平成5年	死亡総数に占める割合（%）
61	循環系のその他の疾患	8 858	8 491	7.1	6.9	1.0
62	急性気管支炎	1 283	1 356	1.0	1.1	0.1
63	肺炎	83 314	81 138	67.2	65.5	9.5
64	インフルエンザ	64	519	0.1	0.4	0.0
66-68	気管支炎，肺気腫及び喘息	16 204	15 898	13.1	12.8	1.8
66	気管支炎	5 192	4 915	4.2	4.0	0.6
67	肺気腫	5 158	4 773	4.2	3.9	0.6
68	喘息	5 854	6 210	4.7	5.0	0.7
69	胃及び十二指腸潰瘍	3 663	3 680	3.0	3.0	0.4
70	虫垂炎	86	93	0.1	0.1	0.0
71	腹腔ヘルニア及び腸閉塞	3 864	3 579	3.1	2.9	0.4
72	胃炎，十二指腸炎及び慢性胃腸炎	698	665	0.6	0.5	0.1
73	慢性肝疾患及び肝硬変	16 432	16 880	13.2	13.6	1.9
74	肝疾患（肝硬変を除く）	2 903	3 043	2.3	2.5	0.3
76-77	腎炎，ネフローゼ症候群及びネフローゼ	18 768	18 505	15.1	14.9	2.1
76	急性糸球体腎炎及びネフローゼ症候群	4 223	4 196	3.4	3.4	0.5
77	その他	14 545	14 309	11.7	11.6	1.7
78	前立腺肥大症 5)	154	178	0.3	0.3	0.0
79	直接産科的死亡 3)	69	82	0.1	0.1	0.0
80	間接産科的死亡 3)	7	9	0.0	0.0	0.0
81	先天異常	3 275	3 417	2.6	2.8	0.4
82	出産時外傷，低酸素症，分娩仮死及びその他の呼吸器病態	971	957	0.8	0.8	0.1
84-87	その他の周産期の死因	599	538	0.5	0.4	0.1
84	新生児破傷風	-	-	-	-	-
85	新生児カンジダ感染	5	-	0.0	-	0.0
86	新生児敗血症	93	74	0.1	0.1	0.0
87	その他	501	464	0.4	0.4	0.1
88	精神病の記載のない老衰	23 452	23 115	18.9	18.7	2.7
89	その他のすべての疾患	53 299	51 199	43.0	41.4	6.1

1) 2) 死因簡単分類番号	死因	死亡数 平成6年	死亡数 平成5年	死亡率 平成6年	死亡率 平成5年	死亡総数に占める割合（%）
91～101	損傷及び中毒	60 664	59 009	48.9	47.7	6.9
91	頭蓋骨折	5 301	5 370	4.3	4.3	0.6
92	他の骨の骨折	3 354	3 370	2.7	2.7	0.4
93	頭蓋内損傷（頭蓋骨折を伴うものを除く）	9 398	9 381	7.6	7.6	1.1
94	胸、腹及び骨盤の内部損傷	4 735	4 930	3.8	4.0	0.5
95	開放創	998	962	0.8	0.8	0.1
96	熱傷	2 368	2 191	1.9	1.8	0.3
97	神経及び脊髄の損傷	554	470	0.4	0.4	0.1
98	中毒及び毒作用	3 359	3 657	2.7	3.0	0.4
99	溺死	7 021	7 108	5.7	5.7	0.8
100	窒息及び絞首	13 135	12 608	10.6	10.2	1.5
101	その他の損傷	10 441	8 962	8.4	7.2	1.2
	（再掲）					
E104～E117	損傷及び中毒の外因	60 664	59 009	48.9	47.7	6.9
E104～E114	不慮の事故及び有害作用	35 934	34 717	29.0	28.0	4.1
E104	自動車事故	13 625	14 168	11.0	11.4	1.6
E105	自動車事故以外の交通事故	1 138	1 025	0.9	0.8	0.1
E106	不慮の中毒	471	514	0.4	0.4	0.1
E107	不慮の墜落	4 459	4 642	3.6	3.7	0.5
E108	火災及び火焔による不慮の事故	1 384	1 226	1.1	1.0	0.2
E109	天災	5	357	0.0	0.3	0.0
E110	不慮の溺死	3 862	3 659	3.1	3.0	0.4
E111	不慮の機械的窒息	5 087	4 405	4.1	3.6	0.6
E112	不慮の打撲	452	440	0.4	0.4	0.1
E113	工業性を主とする不慮の事故	1 119	1 065	0.9	0.9	0.1
E114	その他の不慮の事故及び有害作用	4 332	3 216	3.5	2.6	0.5
E115	自殺	20 889	20 516	16.8	16.6	2.4
E116	他殺	779	805	0.6	0.7	0.1
E117	その他の外因	3 062	2 971	2.5	2.4	0.3

第6表 死因順位[1]（1～5位）別死亡数・死亡率（人口10万対），

総　数（3－1）

年齢	第1位			第2位			第3位		
	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率
総数	悪性新生物	243 585	196.3	心疾患	159 485	128.5	脳血管疾患	120 225	96.9
0歳[2]	先天異常	1 815	146.6	出産時外傷等	946	76.4	不慮の事故	315	25.4
1～4	不慮の事故	559	11.7	先天異常	320	6.7	悪性新生物	162	3.4
5～9	不慮の事故	431	6.4	悪性新生物	195	2.9	先天異常	95	1.4
10～14	不慮の事故	252	3.3	悪性新生物	213	2.8	心疾患	84	1.1
15～19	不慮の事故	1 662	18.9	自殺	453	5.1	悪性新生物	329	3.7
20～24	不慮の事故	1 927	19.5	自殺	1 157	11.7	悪性新生物	437	4.4
25～29	自殺	1 213	14.2	不慮の事故	1 118	13.1	悪性新生物	560	6.6
30～34	自殺	1 081	13.9	悪性新生物	1 002	12.9	不慮の事故	791	10.2
35～39	悪性新生物	1 943	24.9	自殺	1 182	15.1	不慮の事故	866	11.1
40～44	悪性新生物	4 731	50.2	心疾患	1 638	17.4	自殺	1 602	17.0
45～49	悪性新生物	8 371	84.4	心疾患	2 736	27.6	脳血管疾患	2 354	23.7
50～54	悪性新生物	12 952	143.6	心疾患	3 979	44.1	脳血管疾患	3 381	37.5
55～59	悪性新生物	19 291	246.8	心疾患	5 704	73.0	脳血管疾患	4 423	56.6
60～64	悪性新生物	30 377	416.5	心疾患	9 000	123.4	脳血管疾患	6 661	91.3
65～69	悪性新生物	36 713	591.8	心疾患	12 819	206.6	脳血管疾患	9 113	146.9
70～74	悪性新生物	34 805	778.3	心疾患	16 235	363.0	脳血管疾患	11 833	264.6
75～79	悪性新生物	34 421	1 098.3	心疾患	23 509	750.1	脳血管疾患	18 091	577.2
80～84	心疾患	32 563	1 455.0	悪性新生物	31 780	1 420.0	脳血管疾患	25 111	1 122.0
85～89	心疾患	28 293	2 686.9	脳血管疾患	22 131	2 101.7	肺炎・気管支炎	20 363	1 933.8
90～	心疾患	20 212	4 835.4	肺炎・気管支炎	15 232	3 644.0	脳血管疾患	14 917	3 568.7

注：1)[1] 乳児（0歳）の死因については乳児簡単分類を使用している。
[2] 死因名は次のように略称した。
出産時外傷等→出産時外傷，低酸素症，分娩仮死及びその他の呼吸器病態
不慮の事故→不慮の事故及び有害作用
肝硬変→慢性肝疾患及び肝硬変
腎炎等→腎炎，ネフローゼ症候群及びネフローゼ
肺炎・気管支炎→肺炎及び気管支炎
良性等の新生物→良性及び性質不詳の新生物
老衰→精神病の記載のない老衰
敗血症→敗血症（新生児敗血症を含む）
中枢神経系等→中枢神経系の非炎症性疾患
[3] 死因順位は死亡数の多いものから定めた。死亡数が同数の場合は、同一順位に死因名を列記し、次位を空欄とした。

2) 0歳の死亡率は出生10万対の率である。

性・年齢（5歳階級）別

平成6年

第4位			第5位			年齢
死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	
肺炎・気管支炎	89 789	72.4	不慮の事故	35 934	29.0	総数
敗血症	213	17.2	心疾患	157	12.7	0歳
心疾患	120	2.5				1～4
中枢神経系等	120	2.5				
良性等の新生物	47	0.7				5～9
心疾患	47	0.7				
自殺	74	1.0	先天異常	70	0.9	10～14
心疾患	190	2.2	中枢神経系等	62	0.7	15～19
			喘息	62	0.7	
心疾患	326	3.3	中枢神経系等	103	1.0	20～24
心疾患	415	4.9	脳血管疾患	113	1.3	25～29
心疾患	581	7.5	脳血管疾患	238	3.1	30～34
心疾患	822	10.5	脳血管疾患	464	5.9	35～39
不慮の事故	1 293	13.7	脳血管疾患	1 176	12.5	40～44
自殺	2 060	20.8	不慮の事故	1 657	16.7	45～49
自殺	2 427	26.9	不慮の事故	2 067	22.9	50～54
不慮の事故	2 352	30.1	肝硬変	2 149	27.5	55～59
肝硬変	2 826	38.7	不慮の事故	2 805	38.5	60～64
肺炎・気管支炎	4 773	76.9	不慮の事故	3 010	48.5	65～69
肺炎・気管支炎	7 735	173.0	不慮の事故	2 969	66.4	70～74
肺炎・気管支炎	13 989	446.4	不慮の事故	3 526	112.5	75～79
肺炎・気管支炎	21 951	980.8	腎炎等	4 154	185.6	80～84
悪性新生物	18 212	1 729.5	老衰	6 814	647.1	85～89
老衰	11 524	2 756.9	悪性新生物	7 037	1 683.5	90～

男 （3－2）

年齢	第1位			第2位			第3位		
	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率
総数	悪性新生物	146 846	241.4	心疾患	78 817	129.6	脳血管疾患	55 502	91.2
0歳 2)	先天異常	970	152.5	出産時外傷等	567	89.2	不慮の事故	190	29.9
1～4	不慮の事故	334	13.6	先天異常	161	6.5	悪性新生物	90	3.7
5～9	不慮の事故	290	8.5	悪性新生物	115	3.4	先天異常	43	1.3
10～14	不慮の事故	188	4.8	悪性新生物	125	3.2	自殺	54	1.4
15～19	不慮の事故	1 351	29.9	自殺	323	7.1	悪性新生物	196	4.3
20～24	不慮の事故	1 564	30.9	自殺	824	16.3	悪性新生物	264	5.2
25～29	不慮の事故	944	21.8	自殺	852	19.7	心疾患	313	7.2
30～34	自殺	776	19.8	不慮の事故	669	17.0	悪性新生物	432	11.0
35～39	自殺	892	22.7	悪性新生物	871	22.1	不慮の事故	706	17.9
40～44	悪性新生物	2 348	49.7	心疾患	1 230	26.0	自殺	1 193	25.3
45～49	悪性新生物	4 449	89.7	心疾患	2 088	42.1	自殺	1 571	31.7
50～54	悪性新生物	7 561	169.5	心疾患	3 025	67.8	脳血管疾患	2 126	47.6
55～59	悪性新生物	12 488	326.0	心疾患	4 196	109.5	脳血管疾患	2 916	76.1
60～64	悪性新生物	21 096	599.7	心疾患	6 398	181.9	脳血管疾患	4 342	123.4
65～69	悪性新生物	25 137	870.1	心疾患	8 338	288.6	脳血管疾患	5 640	195.2
70～74	悪性新生物	21 531	1 190.9	心疾患	8 871	490.7	脳血管疾患	6 046	334.4
75～79	悪性新生物	20 644	1 694.9	心疾患	11 622	954.2	肺炎・気管支炎	8 863	727.7
80～84	悪性新生物	17 443	2 161.5	心疾患	14 326	1 775.2	肺炎・気管支炎	12 673	1 570.4
85～89	心疾患	10 634	3 136.9	肺炎・気管支炎	10 139	2 990.9	悪性新生物	8 860	2 613.6
90～	心疾患	6 135	5 477.7	肺炎・気管支炎	6 010	5 366.1	脳血管疾患	4 253	3 797.3

平成6年

第4位			第5位			年齢
死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	
肺炎・気管支炎	50 499	83.0	不慮の事故	23 976	39.4	総数
敗血症	113	17.8	心疾患	78	12.3	0歳
中枢神経系等	74	3.0	心疾患	60	2.4	1～4
肺炎・気管支炎	29	0.8	心疾患	26	0.8	5～9
心疾患	53	1.4	先天異常	42	1.1	10～14
心疾患	122	2.7	喘息	48	1.1	15～19
心疾患	226	4.5	中枢神経系等	69	1.4	20～24
悪性新生物	269	6.2	脳血管疾患	75	1.7	25～29
心疾患	411	10.5	脳血管疾患	162	4.1	30～34
心疾患	616	15.6	脳血管疾患	306	7.8	35～39
不慮の事故	1 043	22.1	脳血管疾患	775	16.4	40～44
脳血管疾患	1 511	30.5	不慮の事故	1 318	26.6	45～49
自殺	1 777	39.8	不慮の事故	1 600	35.9	50～54
不慮の事故	1 813	47.3	肝硬変	1 722	44.9	55～59
肝硬変	2 164	61.5	不慮の事故	2 110	60.0	60～64
肺炎・気管支炎	3 513	121.6	不慮の事故	2 087	72.2	65～69
肺炎・気管支炎	5 203	287.8	不慮の事故	1 784	98.7	70～74
脳血管疾患	8 670	711.8	不慮の事故	2 021	165.9	75～79
脳血管疾患	10 599	1 313.4	不慮の事故	2 019	250.2	80～84
脳血管疾患	7 944	2 343.4	老衰	2 212	652.5	85～89
老衰	3 058	2 730.4	悪性新生物	2 895	2 584.8	90～

女　(3－3)

年齢	第1位			第2位			第3位		
	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率
総数	悪性新生物	96 739	153.0	心疾患	80 668	127.6	脳血管疾患	64 723	102.4
0歳 2)	先天異常	845	140.3	出産時外傷等	379	62.9	不慮の事故	125	20.8
1～4	不慮の事故	225	9.6	先天異常	159	6.8	悪性新生物	72	3.1
5～9	不慮の事故	141	4.3	悪性新生物	80	2.5	先天異常	52	1.6
10～14	悪性新生物	88	2.4	不慮の事故	64	1.7	心疾患	31	0.8
15～19	不慮の事故	311	7.2	悪性新生物	133	3.1	自殺	130	3.0
20～24	不慮の事故	363	7.5	自殺	333	6.9	悪性新生物	173	3.6
25～29	自殺	361	8.6	悪性新生物	291	6.9	不慮の事故	174	4.1
30～34	悪性新生物	570	14.8	自殺	305	7.9	心疾患	170	4.4
35～39	悪性新生物	1 072	27.7	自殺	290	7.5	心疾患	206	5.3
40～44	悪性新生物	2 383	50.8	自殺	409	8.7	心疾患	408	8.7
45～49	悪性新生物	3 922	79.2	脳血管疾患	843	17.0	心疾患	648	13.1
50～54	悪性新生物	5 391	118.4	脳血管疾患	1 255	27.6	心疾患	954	20.9
55～59	悪性新生物	6 803	170.6	心疾患	1 508	37.8	脳血管疾患	1 507	37.8
60～64	悪性新生物	9 281	245.8	心疾患	2 602	68.9	脳血管疾患	2 319	61.4
65～69	悪性新生物	11 576	349.2	心疾患	4 481	135.2	脳血管疾患	3 473	104.8
70～74	悪性新生物	13 274	498.3	心疾患	7 364	276.4	脳血管疾患	5 787	217.2
75～79	悪性新生物	13 777	718.7	心疾患	11 887	620.1	脳血管疾患	9 421	491.4
80～84	心疾患	18 237	1 274.4	脳血管疾患	14 512	1 014.1	悪性新生物	14 337	1 001.9
85～89	心疾患	17 659	2 473.2	脳血管疾患	14 187	1 987.0	肺炎・気管支炎	10 224	1 431.9
90～	心疾患	14 077	4 600.3	脳血管疾患	10 664	3 485.0	肺炎・気管支炎	9 222	3 013.7

平成6年

第4位			第5位			年齢
死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	
肺炎・気管支炎	39 290	62.1	老衰	16 125	25.5	総数
敗血症	100	16.6	心疾患	79	13.1	0歳
心疾患	60	2.6	中枢神経系等	46	2.0	1～4
良性等の新生物	27	0.8	中枢神経系等	23	0.7	5～9
先天異常	28	0.8	良性等の新生物	21	0.6	10～14
心疾患	68	1.6	中枢神経系等	23	0.5	15～19
心疾患	100	2.1	脳血管疾患	36	0.7	20～24
心疾患	102	2.4	中枢神経系等	40	1.0	25～29
不慮の事故	122	3.2	脳血管疾患	76	2.0	30～34
不慮の事故	160	4.1	脳血管疾患	158	4.1	35～39
脳血管疾患	401	8.5	不慮の事故	250	5.3	40～44
自殺	489	9.9	不慮の事故	339	6.8	45～49
自殺	650	14.3	不慮の事故	467	10.3	50～54
自殺	588	14.7	不慮の事故	539	13.5	55～59
不慮の事故	695	18.4	肺炎・気管支炎	683	18.1	60～64
肺炎・気管支炎	1 260	38.0	不慮の事故	923	27.8	65～69
肺炎・気管支炎	2 532	95.0	不慮の事故	1 185	44.5	70～74
肺炎・気管支炎	5 126	267.4	不慮の事故	1 505	78.5	75～79
肺炎・気管支炎	9 278	648.4	老衰	2 363	165.1	80～84
悪性新生物	9 352	1 309.8	老衰	4 602	644.5	85～89
老衰	8 466	2 766.7	悪性新生物	4 142	1 353.6	90～

第７表　人口動態総覧，都道府県（１３大都市再掲）別

都道府県	出生数			死亡数			自然増加数	乳児死亡数		
	総数	男	女	総数	男	女		総数	男	女
全国	1 238 247	635 863	602 384	875 905	476 077	399 828	362 342	5 259	2 994	2 265
北海道	52 516	26 854	25 662	38 941	22 082	16 859	13 575	208	123	85
青森	14 767	7 632	7 135	11 950	6 680	5 270	2 817	60	38	22
岩手	13 670	6 931	6 739	11 406	6 314	5 092	2 264	62	29	33
宮城	22 760	11 607	11 153	15 218	8 333	6 885	7 542	86	49	37
秋田	10 742	5 472	5 270	10 979	6 050	4 929	- 237	40	28	12
山形	12 159	6 328	5 831	11 215	5 889	5 326	944	46	21	25
福島	22 181	11 467	10 714	16 798	8 906	7 892	5 383	113	59	54
茨城	29 483	15 310	14 173	20 072	11 034	9 038	9 411	117	73	44
栃木	19 735	10 171	9 564	14 335	7 772	6 563	5 400	90	47	43
群馬	20 338	10 464	9 874	14 695	7 950	6 745	5 643	90	59	31
埼玉	69 774	35 760	34 014	34 653	19 445	15 208	35 121	305	165	140
千葉	56 666	29 088	27 578	32 683	18 126	14 557	23 983	219	139	80
東京	101 997	52 251	49 746	75 287	41 295	33 992	26 710	433	252	181
神奈川	83 869	43 105	40 764	44 379	25 081	19 298	39 490	370	203	167
新潟	24 116	12 405	11 711	20 648	11 098	9 550	3 468	90	47	43
富山	10 223	5 230	4 993	9 108	4 909	4 199	1 115	44	28	16
石川	11 935	6 086	5 849	8 821	4 664	4 157	3 114	64	40	24
福井	8 680	4 500	4 180	6 521	3 434	3 087	2 159	38	30	8
山梨	9 292	4 692	4 600	6 879	3 778	3 101	2 413	46	28	18
長野	22 012	11 223	10 789	18 200	9 598	8 602	3 812	82	44	38
岐阜	20 623	10 664	9 959	15 253	8 300	6 953	5 370	83	56	27
静岡	37 462	19 299	18 163	25 498	13 931	11 567	11 964	151	83	68
愛知	74 177	38 240	35 937	41 105	22 413	18 692	33 072	301	182	119
三重	18 144	9 292	8 852	14 400	7 497	6 903	3 744	80	48	32
滋賀	13 938	7 056	6 882	8 612	4 549	4 063	5 326	65	38	27
京都	24 245	12 352	11 893	18 821	9 664	9 157	5 424	122	75	47
大阪	88 419	45 415	43 004	55 729	30 774	24 955	32 690	340	184	156
兵庫	54 877	28 282	26 595	39 469	21 262	18 207	15 408	224	111	113
奈良	13 516	6 913	6 603	9 637	5 037	4 600	3 879	64	39	25
和歌山	10 151	5 276	4 875	9 652	5 028	4 624	499	46	21	25
鳥取	6 029	3 035	2 994	5 519	2 978	2 541	510	20	13	7
島根	7 068	3 565	3 503	7 337	3 907	3 430	- 269	35	16	19
岡山	19 085	9 827	9 258	16 092	8 606	7 486	2 993	77	48	29
広島	28 897	14 899	13 998	21 577	11 572	10 005	7 320	141	84	57
山口	13 942	7 146	6 796	13 589	7 303	6 286	353	71	35	36
徳島	7 411	3 840	3 571	7 492	3 979	3 513	-81	35	19	16
香川	9 555	4 953	4 602	8 660	4 557	4 103	895	32	12	20
愛媛	14 195	7 316	6 879	12 977	6 931	6 046	1 218	66	31	35
高知	7 305	3 766	3 539	7 793	4 114	3 679	- 488	35	19	16
福岡	48 952	25 105	23 847	34 901	18 869	16 032	14 051	203	116	87
佐賀	9 264	4 784	4 480	7 309	3 843	3 466	1 955	42	26	16
長崎	15 951	8 106	7 845	12 672	6 670	6 002	3 279	55	31	24
熊本	18 522	9 443	9 079	14 712	7 762	6 950	3 810	78	50	28
大分	11 770	6 187	5 583	10 266	5 403	4 863	1 504	41	27	14
宮崎	12 245	6 272	5 973	9 133	4 939	4 194	3 112	69	33	36
鹿児島	17 915	9 179	8 736	15 986	8 341	7 645	1 929	69	43	26
沖縄	17 377	8 916	8 461	6 830	3 530	3 300	10 547	95	45	50
外国	297	159	138	58	36	22	239	5	2	3
不詳	・	・	・	2 038	1 844	194	・	11	5	6
（再掲）										
東京都区部	66 025	33 810	32 215	54 666	29 958	24 708	11 359	283	160	123
札幌市	17 054	8 728	8 326	8 933	5 096	3 837	8 121	65	40	25
仙台市	10 151	5 187	4 964	4 627	2 618	2 009	5 524	32	16	16
千葉市	8 465	4 337	4 128	4 068	2 296	1 772	4 397	22	15	7
横浜市	33 996	17 386	16 610	17 472	9 992	7 480	16 524	120	60	60
川崎市	13 310	6 875	6 435	6 078	3 593	2 485	7 232	63	35	28
名古屋市	22 268	11 470	10 798	13 773	7 524	6 249	8 495	66	37	29
京都市	13 351	6 891	6 460	10 636	5 427	5 209	2 715	67	44	23
大阪市	25 124	12 862	12 262	20 076	11 290	8 786	5 048	106	59	47
神戸市	13 833	7 169	6 664	10 595	5 806	4 789	3 238	45	21	24
広島市	12 085	6 248	5 837	6 234	3 380	2 854	5 851	44	28	16
北九州市	9 668	4 864	4 804	7 688	4 181	3 507	1 980	37	22	15
福岡市	13 655	7 052	6 603	6 724	3 764	2 960	6 931	51	25	26

新生児死亡数	死産数 総数	死産数 自然	死産数 人工	周産期死亡数 総数	周産期死亡数 妊娠満28以後の死産	周産期死亡数 早期新生児死亡	婚姻件数	離婚件数	都道府県
2 887	42 971	19 714	23 257	6 140	4 055	2 085	782 735	195 115	全国
108	2 465	932	1 533	232	155	77	35 372	11 043	北海道
40	542	275	267	86	53	33	8 239	2 331	青森
23	592	234	358	64	46	18	7 295	1 590	岩手
41	1 042	383	659	114	84	30	13 598	3 141	宮城
29	410	161	249	58	34	24	5 951	1 469	秋田
24	432	146	286	54	33	21	6 618	1 367	山形
63	827	387	440	127	78	49	11 703	2 798	福島
59	986	482	504	149	104	45	17 749	3 923	茨城
52	729	341	388	112	75	37	11 628	2 778	栃木
45	637	308	329	103	70	33	11 944	2 810	群馬
174	2 072	1 163	909	371	253	118	45 312	10 622	埼玉
117	1 706	999	707	297	207	90	37 964	9 210	千葉
247	3 362	1 763	1 599	515	337	178	83 565	21 372	東京
219	2 298	1 318	980	437	284	153	62 218	14 271	神奈川
50	728	349	379	105	74	31	12 931	2 443	新潟
23	293	163	130	46	31	15	6 113	1 221	富山
37	345	208	137	53	27	26	6 691	1 373	石川
21	262	137	125	44	26	18	4 592	942	福井
28	266	160	106	59	37	22	5 321	1 190	山梨
44	580	302	278	96	67	29	12 322	2 434	長野
41	657	330	327	123	92	31	11 848	2 459	岐阜
86	1 196	573	623	185	130	55	22 724	5 426	静岡
162	2 151	992	1 159	336	229	107	46 874	9 801	愛知
50	573	282	291	88	54	34	10 500	2 459	三重
41	388	175	213	72	44	28	7 879	1 497	滋賀
75	839	413	426	143	87	56	15 716	3 891	京都
178	3 227	1 356	1 871	429	297	132	61 745	17 272	大阪
132	1 678	794	884	259	168	91	35 051	8 606	兵庫
33	415	205	210	78	53	25	8 229	1 960	奈良
22	340	162	178	47	35	12	6 194	1 824	和歌山
14	222	90	132	28	16	12	3 215	852	鳥取
14	216	99	117	29	17	12	3 540	809	島根
37	705	250	455	81	49	32	11 021	2 747	岡山
64	1 004	411	593	141	92	49	17 378	4 183	広島
39	461	194	267	59	33	26	8 052	2 222	山口
22	222	86	136	42	25	17	4 262	1 104	徳島
15	292	125	167	43	34	9	5 669	1 389	香川
32	514	229	285	63	39	24	8 099	2 364	愛媛
23	374	109	265	45	27	18	4 287	1 444	高知
106	2 163	826	1 337	214	143	71	29 816	9 052	福岡
22	416	147	269	32	15	17	4 578	1 181	佐賀
27	760	264	496	70	49	21	8 172	2 275	長崎
39	936	323	613	68	40	28	10 126	2 750	熊本
22	516	151	365	51	33	18	6 652	1 825	大分
46	635	209	426	92	54	38	6 479	1 976	宮崎
32	882	330	552	89	68	21	9 153	2 577	鹿児島
56	582	362	220	94	51	43	8 350	2 842	沖縄
3	13	2	11	2	-	2	·	·	外国
10	20	14	6	15	6	9	·	·	不詳
									(再掲)
160	2 293	1 148	1 145	330	219	111	57 492	15 259	東京都区部
33	833	286	547	74	51	23	12 975	3 907	札幌市
17	452	165	287	60	46	14	6 678	1 407	仙台市
11	254	141	113	36	27	9	5 925	1 446	千葉市
74	978	550	428	172	114	58	25 669	5 834	横浜市
43	355	195	160	64	35	29	10 857	2 209	川崎市
38	699	299	400	95	70	25	15 036	3 638	名古屋市
41	480	234	246	86	53	33	9 346	2 403	京都市
58	1 130	392	738	128	87	41	19 894	6 094	大阪市
27	463	183	280	54	34	20	9 552	2 700	神戸市
14	429	165	264	45	35	10	7 795	1 791	広島市
21	415	140	275	41	27	14	6 216	2 189	北九州市
24	625	235	390	58	42	16	9 137	2 520	福岡市

第８表　人口動態総覧（率），都道府県（１３大都市再掲）別

都道府県	出生	死亡	自然増加	乳児死亡	新生児死亡
	（人口千対）			（出生千対）	
全国	10.0	7.1	2.9	4.2	2.3
北海道	9.3	6.9	2.4	4.0	2.1
青森	10.1	8.1	1.9	4.1	2.7
岩手	9.7	8.1	1.6	4.5	1.7
宮城	9.9	6.6	3.3	3.8	1.8
秋田	8.9	9.1	-0.2	3.7	2.7
山形	9.7	9.0	0.8	3.8	2.0
福島	10.5	7.9	2.5	5.1	2.8
茨城	10.1	6.9	3.2	4.0	2.0
栃木	10.1	7.3	2.8	4.6	2.6
群馬	10.3	7.4	2.8	4.4	2.2
埼玉	10.5	5.2	5.3	4.4	2.5
千葉	9.9	5.7	4.2	3.9	2.1
東京	8.8	6.5	2.3	4.2	2.4
神奈川	10.3	5.5	4.9	4.4	2.6
新潟	9.7	8.3	1.4	3.7	2.1
富山	9.1	8.1	1.0	4.3	2.2
石川	10.2	7.5	2.7	5.4	3.1
福井	10.6	7.9	2.6	4.4	2.4
山梨	10.7	7.9	2.8	5.0	3.0
長野	10.2	8.4	1.8	3.7	2.0
岐阜	9.9	7.3	2.6	4.0	2.0
静岡	10.1	6.9	3.2	4.0	2.3
愛知	11.0	6.1	4.9	4.1	2.2
三重	10.0	7.9	2.1	4.4	2.8
滋賀	11.1	6.8	4.2	4.7	2.9
京都	9.5	7.4	2.1	5.0	3.1
大阪	10.4	6.5	3.8	3.8	2.0
兵庫	10.1	7.3	2.8	4.1	2.4
奈良	9.6	6.8	2.7	4.7	2.4
和歌山	9.4	9.0	0.5	4.5	2.2
鳥取	9.8	9.0	0.8	3.3	2.3
島根	9.2	9.5	-0.3	5.0	2.0
岡山	9.9	8.3	1.6	4.0	1.9
広島	10.1	7.6	2.6	4.9	2.2
山口	9.0	8.8	0.2	5.1	2.8
徳島	9.0	9.0	-0.1	4.7	3.0
香川	9.3	8.5	0.9	3.3	1.6
愛媛	9.4	8.6	0.8	4.6	2.3
高知	9.0	9.6	-0.6	4.8	3.1
福岡	10.1	7.2	2.9	4.1	2.2
佐賀	10.6	8.3	2.2	4.5	2.4
長崎	10.3	8.2	2.1	3.4	1.7
熊本	10.0	8.0	2.1	4.2	2.1
大分	9.6	8.4	1.2	3.5	1.9
宮崎	10.5	7.8	2.7	5.6	3.8
鹿児島	10.0	9.0	1.1	3.9	1.8
沖縄	13.9	5.4	8.4	5.5	3.2
（再掲）					
東京都区部	8.2	6.8	1.4	4.3	2.4
札幌市	9.8	5.1	4.7	3.8	1.9
仙台市	10.6	4.8	5.8	3.2	1.7
千葉市	9.9	4.8	5.1	2.6	1.3
横浜市	10.3	5.3	5.0	3.5	2.2
川崎市	11.1	5.1	6.0	4.7	3.2
名古屋市	10.3	6.4	3.9	3.0	1.7
京都市	9.2	7.3	1.9	5.0	3.1
大阪市	9.8	7.8	2.0	4.2	2.3
神戸市	9.1	7.0	2.1	3.3	2.0
広島市	10.9	5.6	5.3	3.6	1.2
北九州市	9.5	7.5	1.9	3.8	2.2
福岡市	10.7	5.3	5.4	3.7	1.8

平成6年

死産（出産千対）			周産期死亡	婚姻	離婚	都道府県
総数	自然	人工	（出生千対）	（人口千対）		
33.5	15.4	18.2	5.0	6.3	1.57	全国
44.8	17.0	27.9	4.4	6.2	1.95	北海道
35.4	18.0	17.4	5.8	5.6	1.59	青森
41.5	16.4	25.1	4.7	5.2	1.12	岩手
43.8	16.1	27.7	5.0	5.9	1.37	宮城
36.8	14.4	22.3	5.4	4.9	1.21	秋田
34.3	11.6	22.7	4.4	5.3	1.09	山形
35.9	16.8	19.1	5.7	5.5	1.32	福島
32.4	15.8	16.5	5.1	6.1	1.34	茨城
35.6	16.7	19.0	5.7	5.9	1.42	栃木
30.4	14.7	15.7	5.1	6.0	1.42	群馬
28.8	16.2	12.7	5.3	6.8	1.60	埼玉
29.2	17.1	12.1	5.2	6.6	1.61	千葉
31.9	16.7	15.2	5.0	7.2	1.85	東京
26.7	15.3	11.4	5.2	7.7	1.76	神奈川
29.3	14.0	15.3	4.4	5.2	0.99	新潟
27.9	15.5	12.4	4.5	5.5	1.09	富山
28.1	16.9	11.2	4.4	5.7	1.17	石川
29.3	15.3	14.0	5.1	5.6	1.15	福井
27.8	16.7	11.1	6.3	6.1	1.37	山梨
25.7	13.4	12.3	4.4	5.7	1.12	長野
30.9	15.5	15.4	6.0	5.7	1.18	岐阜
30.9	14.8	16.1	4.9	6.1	1.47	静岡
28.2	13.0	15.2	4.5	6.9	1.45	愛知
30.6	15.1	15.5	4.9	5.8	1.35	三重
27.1	12.2	14.9	5.2	6.3	1.19	滋賀
33.4	16.5	17.0	5.9	6.1	1.52	京都
35.2	14.8	20.4	4.9	7.2	2.02	大阪
29.7	14.0	15.6	4.7	6.4	1.58	兵庫
29.8	14.7	15.1	5.8	5.8	1.39	奈良
32.4	15.4	17.0	4.6	5.7	1.69	和歌山
35.5	14.4	21.1	4.6	5.2	1.39	鳥取
29.7	13.6	16.1	4.1	4.6	1.05	島根
35.6	12.6	23.0	4.2	5.7	1.42	岡山
33.6	13.7	19.8	4.9	6.1	1.46	広島
32.0	13.5	18.5	4.2	5.2	1.44	山口
29.1	11.3	17.8	5.7	5.1	1.33	徳島
29.7	12.7	17.0	4.5	5.5	1.36	香川
34.9	15.6	19.4	4.4	5.4	1.57	愛媛
48.7	14.2	34.5	6.2	5.3	1.78	高知
42.3	16.2	26.2	4.4	6.1	1.86	福岡
43.0	15.2	27.8	3.5	5.2	1.35	佐賀
45.5	15.8	29.7	4.4	5.3	1.47	長崎
48.1	16.6	31.5	3.7	5.5	1.49	熊本
42.0	12.3	29.7	4.3	5.4	1.48	大分
49.3	16.2	33.1	7.5	5.5	1.69	宮崎
46.9	17.6	29.4	5.0	5.1	1.44	鹿児島
32.4	20.2	12.3	5.4	6.7	2.27	沖縄
						（再掲）
33.6	16.8	16.8	5.0	7.2	1.90	東京都区部
46.6	16.0	30.6	4.3	7.4	2.24	札幌市
42.6	15.6	27.1	5.9	7.0	1.47	仙台市
29.1	16.2	13.0	4.3	6.9	1.69	千葉市
28.0	15.7	12.2	5.1	7.8	1.77	横浜市
26.0	14.3	11.7	4.8	9.0	1.84	川崎市
30.4	13.0	17.4	4.3	7.0	1.69	名古屋市
34.7	16.9	17.8	6.4	6.5	1.66	京都市
43.0	14.9	28.1	5.1	7.7	2.37	大阪市
32.4	12.8	19.6	3.9	6.3	1.78	神戸市
34.3	13.2	21.1	3.7	7.0	1.62	広島市
41.2	13.9	27.3	4.2	6.1	2.15	北九州市
43.8	16.5	27.3	4.2	7.2	1.98	福岡市

第９表 主な死因の死亡数・死亡率（人口10万対），

（2－1）

都道府県	全死因[1]		28 ～ 37 悪性新生物		46,51～52,54～56 心疾患		58 ～ 60 脳血管疾患		62,63,66 肺炎及び気管支炎	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
全国[2]	875 905	706.0	243 585	196.3	159 485	128.5	120 225	96.9	89 789	72.4
北海道	38 941	687.3	11 683	206.2	7 346	129.7	4 651	82.1	4 307	76.0
青森	11 950	813.5	3 250	221.2	2 218	151.0	1 749	119.1	1 266	86.2
岩手	11 406	806.6	2 854	201.8	2 058	145.5	1 735	122.7	1 386	98.0
宮城	15 218	663.1	4 291	187.0	2 616	114.0	2 523	109.9	1 420	61.9
秋田	10 979	905.1	3 027	249.5	1 897	156.4	1 998	164.7	1 114	91.8
山形	11 215	896.5	3 011	240.7	2 130	170.3	1 777	142.0	1 110	88.7
福島	16 798	791.6	4 468	210.6	3 186	150.1	2 809	132.4	1 525	71.9
茨城	20 072	686.9	5 274	180.5	3 580	122.5	3 097	106.0	1 794	61.4
栃木	14 335	730.6	3 793	193.3	2 540	129.5	2 427	123.7	1 489	75.9
群馬	14 695	741.8	3 636	183.5	2 733	138.0	2 229	112.5	1 582	79.9
埼玉	34 653	520.4	10 004	150.2	6 589	98.9	4 771	71.6	3 317	49.8
千葉	32 683	571.0	9 358	163.5	6 176	107.9	4 637	81.0	2 841	49.6
東京	75 287	651.2	22 452	194.2	13 377	115.7	10 160	87.9	7 838	67.8
神奈川	44 379	546.4	13 058	160.8	7 814	96.2	6 011	74.0	4 364	53.7
新潟	20 648	833.6	5 768	232.9	3 421	138.1	3 456	139.5	2 170	87.6
富山	9 108	813.9	2 471	220.8	1 685	150.6	1 278	114.2	1 163	103.9
石川	8 821	754.6	2 414	206.5	1 678	143.5	1 121	95.9	1 005	86.0
福井	6 521	793.3	1 681	204.5	1 230	149.6	908	110.5	683	83.1
山梨	6 879	794.3	1 829	211.2	1 277	147.5	936	108.1	673	77.7
長野	18 200	839.5	4 496	207.4	3 335	153.8	3 267	150.7	1 811	83.5
岐阜	15 253	734.0	3 985	191.8	2 919	140.5	2 259	108.7	1 321	63.6
静岡	25 498	689.3	6 805	184.0	4 833	130.7	3 693	99.8	2 472	66.8
愛知	41 105	609.0	11 286	167.2	8 219	121.8	5 529	81.9	3 691	54.7
三重	14 400	793.0	3 526	194.2	2 765	152.3	2 221	122.3	1 274	70.2
滋賀	8 612	683.5	2 320	184.1	1 650	131.0	1 194	94.8	797	63.3
京都	18 821	735.2	5 242	204.8	3 430	134.0	2 363	92.3	1 953	76.3
大阪	55 729	652.7	16 850	197.4	9 886	115.8	5 872	68.8	5 953	69.7
兵庫	39 469	726.2	11 186	205.8	7 347	135.2	4 660	85.7	3 724	68.5
奈良	9 637	681.1	2 770	195.8	1 817	128.4	1 264	89.3	950	67.1
和歌山	9 652	895.4	2 556	237.1	1 880	174.4	1 324	122.8	885	82.1
鳥取	5 519	900.3	1 485	242.3	971	158.4	908	148.1	514	83.8
島根	7 337	954.1	1 933	251.4	1 287	167.4	1 071	139.3	828	107.7
岡山	16 092	833.8	4 132	214.1	2 971	153.9	2 216	114.8	1 829	94.8
広島	21 577	755.5	5 991	209.8	3 758	131.6	2 821	98.8	2 157	75.5
山口	13 589	879.0	3 702	239.5	2 402	155.4	1 783	115.3	1 615	104.5
徳島	7 492	904.8	1 864	225.1	1 440	173.9	964	116.4	869	105.0
香川	8 660	845.7	2 211	215.9	1 617	157.9	1 182	115.4	981	95.8
愛媛	12 977	861.7	3 375	224.1	2 494	165.6	1 766	117.3	1 401	93.0
高知	7 793	958.5	1 941	238.7	1 431	176.0	1 118	137.5	998	122.8
福岡	34 901	716.9	10 394	213.5	5 728	117.7	4 092	84.1	3 876	79.6
佐賀	7 309	832.5	2 156	245.6	1 201	136.8	988	112.5	876	99.8
長崎	12 672	820.7	3 693	239.2	2 279	147.6	1 684	109.1	1 414	91.6
熊本	14 712	796.5	4 041	218.8	2 587	140.1	1 810	98.0	1 695	91.8
大分	10 266	835.3	2 769	225.3	1 936	157.5	1 401	114.0	989	80.5
宮崎	9 133	779.9	2 463	210.3	1 648	140.7	1 256	107.3	1 019	87.0
鹿児島	15 986	896.1	4 114	230.6	2 709	151.8	2 455	137.6	1 927	108.0
沖縄	6 830	544.7	1 776	141.6	1 117	89.1	639	51.0	805	64.2
外国	58	・	15	・	8	・	7	・	5	・
（再掲）										
東京都区部	54 666	681.5	16 454	205.1	9 338	116.4	7 579	94.5	5 595	69.7
札幌市	8 933	511.9	2 778	159.2	1 633	93.6	1 005	57.6	971	55.6
仙台市	4 627	482.5	1 422	148.3	772	80.5	658	68.6	409	42.6
千葉市	4 068	476.3	1 228	143.8	795	93.1	508	59.5	357	41.8
横浜市	17 472	529.3	5 246	158.9	3 065	92.9	2 284	69.2	1 695	51.3
川崎市	6 078	505.7	1 868	155.4	1 020	84.9	822	68.4	596	49.6
名古屋市	13 773	639.7	3 979	184.8	2 779	129.1	1 832	85.1	1 240	57.6
京都市	10 636	734.5	3 046	210.4	1 897	131.0	1 303	90.0	1 118	77.2
大阪市	20 076	779.7	6 062	235.4	3 378	131.2	2 146	83.3	2 048	79.5
神戸市	10 595	697.5	3 230	212.6	1 888	124.3	1 090	71.8	997	65.6
広島市	6 234	563.7	1 906	172.3	1 031	93.2	801	72.4	590	53.3
北九州市	7 688	754.5	2 382	233.8	1 238	121.5	941	92.3	783	76.8
福岡市	6 724	527.4	2 048	160.6	1 085	85.1	704	55.2	748	58.7

注：1） 表頭の死因名等は第９回簡単分類による。
　　2） 全国値には、住所地不詳を含む。

都道府県（１３大都市再掲）別

平成６年

E104 ～ E114 不慮の事故及び有害作用		88 精神病の記載のない老衰		E115 自殺		76 ～ 77 腎炎，ネフローゼ症候群及びネフローゼ		73 慢性肝疾患及び肝硬変		39 糖尿病		都道府県
死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	
35 934	29.0	23 452	18.9	20 889	16.8	18 768	15.1	16 432	13.2	10 868	8.8	全国 2)
1 626	28.7	429	7.6	984	17.4	1 119	19.7	593	10.5	589	10.4	北海道
458	31.2	360	24.5	319	21.7	282	19.2	233	15.9	171	11.6	青森
508	35.9	297	21.0	345	24.4	271	19.2	143	10.1	114	8.1	岩手
642	28.0	417	18.2	358	15.6	267	11.6	203	8.8	196	8.5	宮城
457	37.7	227	18.7	309	25.5	237	19.5	130	10.7	127	10.5	秋田
418	33.4	432	34.5	278	22.2	209	16.7	133	10.6	117	9.4	山形
678	32.0	667	31.4	344	16.2	295	13.9	240	11.3	241	11.4	福島
1 005	34.4	798	27.3	459	15.7	397	13.6	350	12.0	267	9.1	茨城
654	33.3	317	16.2	343	17.5	255	13.0	259	13.2	183	9.3	栃木
644	32.5	482	24.3	394	19.9	265	13.4	241	12.2	162	8.2	群馬
1 476	22.2	728	10.9	997	15.0	650	9.8	675	10.1	403	6.1	埼玉
1 390	24.3	872	15.2	824	14.4	608	10.6	624	10.9	409	7.1	千葉
2 183	18.9	1 126	9.7	1 858	16.1	1 636	14.2	1 651	14.3	982	8.5	東京
1 817	22.4	746	9.2	1 116	13.7	896	11.0	1 124	13.8	548	6.7	神奈川
913	36.9	676	27.3	641	25.9	314	12.7	184	7.4	244	9.9	新潟
415	37.1	179	16.0	228	20.4	187	16.7	102	9.1	109	9.7	富山
357	30.5	302	25.8	180	15.4	179	15.3	145	12.4	108	9.2	石川
342	41.6	242	29.4	129	15.7	94	11.4	94	11.4	90	10.9	福井
309	35.7	344	39.7	138	15.9	123	14.2	140	16.2	81	9.4	山梨
787	36.3	811	37.4	397	18.3	262	12.1	226	10.4	201	9.3	長野
721	34.7	594	28.6	364	17.5	276	13.3	223	10.7	178	8.6	岐阜
1 127	30.5	871	23.5	531	14.4	525	14.2	465	12.6	343	9.3	静岡
1 825	27.0	1 047	15.5	993	14.7	838	12.4	716	10.6	519	7.7	愛知
654	36.0	677	37.3	267	14.7	314	17.3	235	12.9	226	12.4	三重
403	32.0	241	19.1	184	14.6	214	17.0	116	9.2	105	8.3	滋賀
687	26.8	525	20.5	360	14.1	562	22.0	314	12.3	240	9.4	京都
1 945	22.8	974	11.4	1 423	16.7	1 372	16.1	1 402	16.4	744	8.7	大阪
1 645	30.3	1 425	26.2	850	15.6	924	17.0	911	16.8	451	8.3	兵庫
373	26.4	347	24.5	185	13.1	219	15.5	173	12.2	102	7.2	奈良
389	36.1	447	41.5	208	19.3	225	20.9	216	20.0	118	10.9	和歌山
256	41.8	255	41.6	102	16.6	85	13.9	97	15.8	60	9.8	鳥取
269	35.0	251	32.6	166	21.6	169	22.0	99	12.9	57	7.4	島根
709	36.7	633	32.8	302	15.6	383	19.8	258	13.4	181	9.4	岡山
920	32.2	684	23.9	441	15.4	516	18.1	496	17.4	315	11.0	広島
527	34.1	437	28.3	275	17.8	276	17.9	271	17.5	167	10.8	山口
289	34.9	221	26.7	129	15.6	214	25.8	163	19.7	126	15.2	徳島
453	44.2	263	25.7	159	15.5	184	18.0	153	14.9	109	10.6	香川
568	37.7	471	31.3	232	15.4	283	18.8	223	14.8	181	12.0	愛媛
378	46.5	193	23.7	154	18.9	179	22.0	132	16.2	85	10.5	高知
1 510	31.0	626	12.9	867	17.8	729	15.0	797	16.4	412	8.5	福岡
315	35.9	186	21.2	136	15.5	138	15.7	150	17.1	87	9.9	佐賀
494	32.0	247	16.0	227	14.7	283	18.3	245	15.9	112	7.3	長崎
585	31.7	327	17.7	299	16.2	367	19.9	281	15.2	152	8.2	熊本
415	33.8	249	20.3	186	15.1	240	19.5	218	17.7	110	9.0	大分
368	31.4	197	16.8	233	19.9	193	16.5	155	13.2	104	8.9	宮崎
609	34.1	381	21.4	375	21.0	345	19.3	241	13.5	169	9.5	鹿児島
252	20.1	226	18.0	250	19.9	149	11.9	120	9.6	62	4.9	沖縄
2	・	1	・	4	・	2	・	1	・	－	・	外国
												（再掲）
1 544	19.2	825	10.3	1 328	16.6	1 233	15.4	1 316	16.4	723	9.0	東京都区部
346	19.8	39	2.2	222	12.7	255	14.6	161	9.2	125	7.2	札幌市
188	19.6	97	10.1	136	14.2	73	7.6	81	8.4	60	6.3	仙台市
164	19.2	97	11.4	113	13.2	61	7.1	76	8.9	60	7.0	千葉市
679	20.6	263	8.0	485	14.7	390	11.8	512	15.5	241	7.3	横浜市
246	20.5	78	6.5	143	11.9	123	10.2	182	15.1	58	4.8	川崎市
455	21.1	230	10.7	312	14.5	294	13.7	244	11.3	163	7.6	名古屋市
364	25.1	252	17.4	196	13.5	357	24.7	173	11.9	136	9.4	京都市
646	25.1	321	12.5	482	18.7	500	19.4	570	22.1	277	10.8	大阪市
396	26.1	331	21.8	234	15.4	248	16.3	286	18.8	125	8.2	神戸市
257	23.2	117	10.6	144	13.0	136	12.3	159	14.4	79	7.1	広島市
322	31.6	109	10.7	197	19.3	181	17.8	176	17.3	103	10.1	北九州市
306	24.0	89	7.0	203	15.9	141	11.1	172	13.5	73	5.7	福岡市

参　　考

表１　人口動態総覧（率）の国際比較

国　名	出生率（人口千対）	死亡率（人口千対）	乳児死亡率（出生千対）	婚姻率（人口千対）	離婚率（人口千対）	合計特殊出生率
日本	'94) 10.0	'94) 7.1	'94) 4.2	'94) 6.3	'94) 1.57	'94) 1.50
イギリス	'92) 13.5	'92) 10.9	'92) 6.6	'90) 6.5	'90) 2.88	'92) 1.79
イタリア	'93) * 9.4	'93) * 9.5	'93) * 7.4	'91) 5.3	'90) 0.48	'92) 1.25
スウェーデン	'93) * 13.5	'92) * 10.9	'93) * 4.8	'92) * 4.3	'91) 2.34	'93) 2.00
ドイツ連邦共和国 1)	'92) * 11.1	'92) * 10.7	'90) 7.0	'91) 6.2	'90) 1.94	'93) * 1.39
フランス	'93) * 12.3	'93) * 9.2	'91) 7.3	'92) * 4.8	'90) 1.86	'93) 1.65
アメリカ合衆国	'92) * 15.9	'92) * 8.5	'92) * 8.5	'92) * 9.3	'92) * 4.76	'92) * 2.07

注：1)　旧西ドイツである。
　　*　暫定値である。

資料：[1] 日本　人口動態統計
　　[2] 外国　出生率・死亡率・乳児死亡率は、UN,POPULATION AND VITAL STATISTICS REPORT,July 1994
　　婚姻率・離婚率は、UN,DEMOGRAPHICS YEARBOOK,1992
　　合計特殊出生率は、Council of Europe,Recent Demographic Developments in Europe and North America,1994
　　ただしアメリカは、UN,Monthly Vital Statistics Report,Vol.43,No.5,Supp.,Oct.25,1994

表２　分母に用いた人口

①　年齢５歳階級・男女別人口（日本人人口）　　（単位：千人）

年齢階級	総数	男	女
総数	124 069	60 839	63 230
0～4歳	6 005	3 083	2 922
5～9	6 683	3 426	3 257
10～14	7 595	3 892	3 703
15～19	8 812	4 522	4 290
20～24	9 880	5 060	4 821
25～29	8 530	4 324	4 206
30～34	7 771	3 926	3 844
35～39	7 812	3 937	3 875
40～44	9 418	4 724	4 694
45～49	9 915	4 961	4 954
50～54	9 017	4 462	4 554
55～59	7 818	3 831	3 987
60～64	7 294	3 518	3 776
65～69	6 204	2 889	3 315
70～74	4 472	1 808	2 664
75～79	3 134	1 218	1 917
80～84	2 238	807	1 431
85～89	1 053	339	714
90歳以上	418	112	306

資料：「平成６年１０月１日現在推計人口」（平成７年３月総務庁統計局刊）

② 都道府県・男女別人口（日本人人口）

（単位：千人）

都道府県	総数	男	女
全国	124 069	60 839	63 230
北海道	5 666	2 724	2 943
青森	1 469	695	773
岩手	1 414	678	736
宮城	2 295	1 125	1 170
秋田	1 213	576	637
山形	1 251	603	647
福島	2 122	1 034	1 088
茨城	2 922	1 461	1 462
栃木	1 962	976	986
群馬	1 981	979	1 002
埼玉	6 659	3 375	3 283
千葉	5 724	2 892	2 832
東京	11 561	5 793	5 768
神奈川	8 122	4 156	3 965
新潟	2 477	1 202	1 276
富山	1 119	538	580
石川	1 169	564	605
福井	822	400	422
山梨	866	425	441
長野	2 168	1 055	1 113
岐阜	2 078	1 008	1 070
静岡	3 699	1 823	1 875
愛知	6 750	3 384	3 365
三重	1 816	881	935
滋賀	1 260	620	640
京都	2 560	1 244	1 316
大阪	8 538	4 200	4 338
兵庫	5 435	2 630	2 806
奈良	1 415	682	733
和歌山	1 078	512	565
鳥取	613	293	320
島根	769	367	402
岡山	1 930	928	1 002
広島	2 856	1 388	1 468
山口	1 546	731	815
徳島	828	393	435
香川	1 024	492	532
愛媛	1 506	711	795
高知	813	381	431
福岡	4 868	2 325	2 543
佐賀	878	415	463
長崎	1 544	726	819
熊本	1 847	872	975
大分	1 229	580	649
宮崎	1 171	552	619
鹿児島	1 784	835	950
沖縄	1 254	615	639

資料：「平成６年10月１日現在推計人口」
（平成７年３月総務庁統計局刊）

③ １３大都市・男女別人口（総人口）

（単位：千人）

13大都市	総数	男	女
東京都区部	8 022	3 991	4 031
札幌市	1 745	839	905
仙台市	959	474	485
千葉市	854	433	421
横浜市	3 301	1 685	1 616
川崎市	1 202	632	570
名古屋市	2 153	1 076	1 077
京都市	1 448	700	748
大阪市	2 575	1 264	1 311
神戸市	1 519	730	789
広島市	1 106	542	564
北九州市	1 019	483	536
福岡市	1 275	619	656

資料：各指定都市及び東京都が推計した平成６年10月１日現在の人口である。

④　年齢５歳階級別人口（日本人人口）の対前年比較　（単位：千人）

年齢階級	平成６年	平成５年	対前年増減
総　数	124 069	123 788	281
0～ 4歳	6 005	6 050	－ 45
5～ 9	6 683	6 913	－230
10～14	7 595	7 742	－147
15～19	8 812	9 206	－394
20～24	9 880	9 719	161
25～29	8 530	8 322	208
30～34	7 771	7 730	41
35～39	7 812	7 901	－ 89
40～44	9 418	10 162	－744
45～49	9 915	9 437	478
50～54	9 017	8 648	369
55～59	7 818	7 917	－ 99
60～64	7 294	7 203	91
65～69	6 204	5 969	235
70～74	4 472	4 210	262
75～79	3 134	3 150	－ 16
80～84	2 238	2 145	93
85～89	1 053	974	79
90歳以上	418	389	29

資料：「平成５年10月１日現在推計人口」（平成６年３月総務庁統計局刊），
「平成６年10月１日現在推計人口」（平成７年３月総務庁統計局刊）

⑤　年齢５歳階級別人口（日本人女子人口）の対前年比較　（単位：千人）

年齢階級	平成６年	平成５年	対前年増減
15～19歳	4 290	4 482	－192
20～24	4 821	4 751	70
25～29	4 206	4 109	97
30～34	3 844	3 824	20
35～39	3 875	3 919	－ 44
40～44	4 694	5 062	－368
45～49	4 954	4 719	235

資料：「平成５年10月１日現在推計人口」（平成６年３月総務庁統計局刊），
「平成６年10月１日現在推計人口」（平成７年３月総務庁統計局刊）

<参考資料>

1995. 6. 29

資料2

人口問題研究所資料

出生順位別にみた母の年齢（5歳階級）別出生数

	※ 平成5年					
	総数	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子～
総数	1,188,282	557,995	431,228	165,279	27,082	6,698
-19歳	17,452	16,073	1,332	46	1	0
20-24	197,974	144,444	48,089	5,077	326	38
25-29	510,933	274,281	189,140	42,961	3,985	566
30-34	357,087	100,365	156,725	85,343	12,492	2,162
35-39	92,286	19,737	32,347	28,761	8,604	2,837
40-44	12,177	2,995	3,519	2,993	1,617	1,053
45-	348	84	68	97	57	42

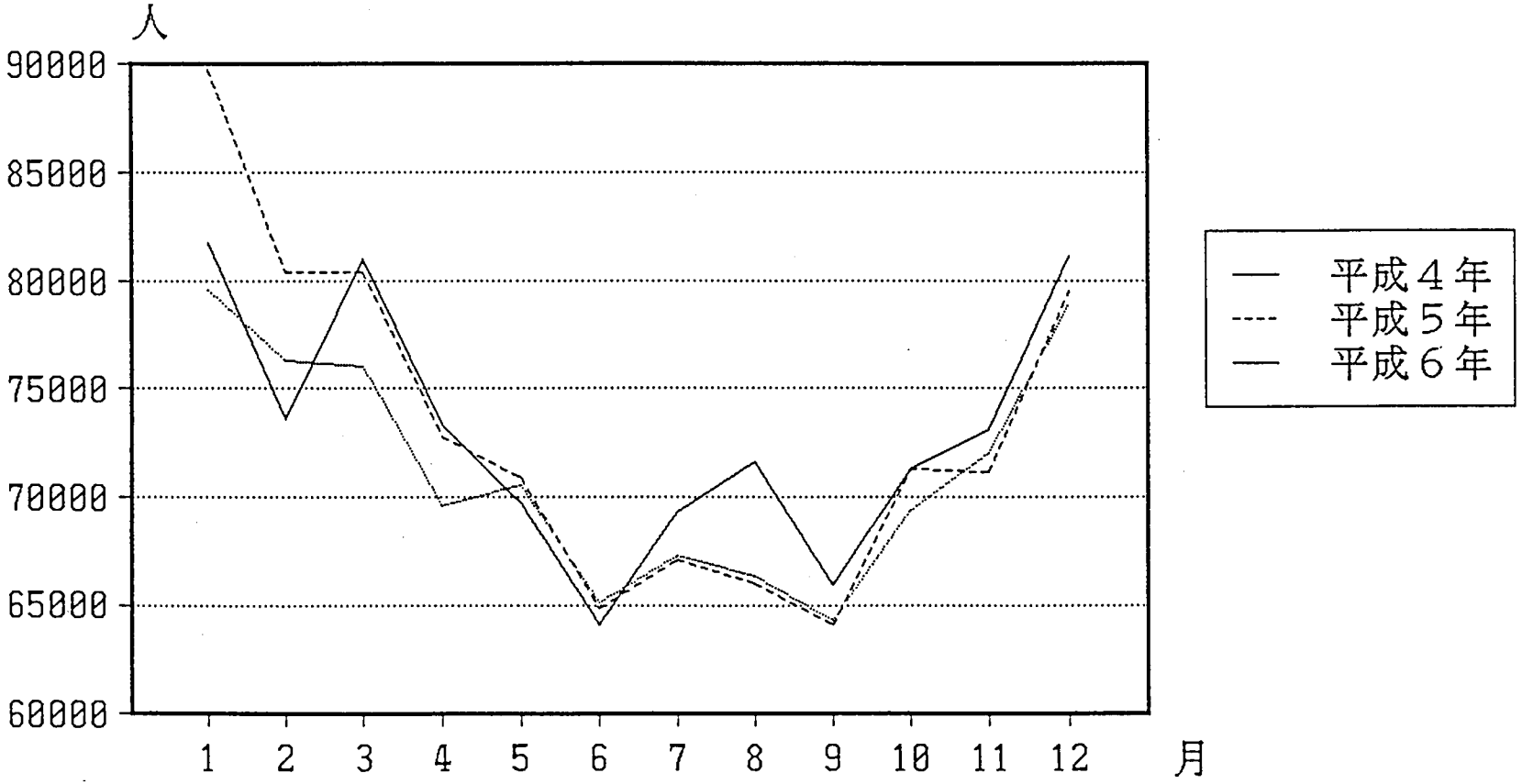
	平成6年					
	総数	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子～
総数	1,238,247	589,301	446,826	166,554	28,316	7,250
-19歳	17,095	15,689	1,353	50	3	0
20-24	204,368	149,109	49,411	5,417	380	51
25-29	525,912	287,370	190,912	42,720	4,241	669
30-34	377,375	111,529	166,152	84,771	12,647	2,276
35-39	100,563	22,462	35,335	30,383	9,318	3,065
40-44	12,479	3,017	3,566	3,095	1,669	1,132
45-	434	111	92	116	58	57

	対前年比較					
	総数	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子～
総数	49,965	31,306	15,598	1,275	1,234	552
-19歳	-357	-384	21	4	2	0
20-24	6,394	4,665	1,322	340	54	13
25-29	14,979	13,089	1,772	-241	256	103
30-34	20,288	11,164	9,427	-572	155	114
35-39	8,277	2,725	2,988	1,622	714	228
40-44	302	22	47	102	52	79
45-	86	27	24	19	1	15

資料：厚生省「人口動態統計月報（概数）」

※注：5年は確定数である。

月別にみた死亡数の年次比較



心不全による死亡数減少の要因

1　死亡診断書の様式が平成７年１月から全面的に改正され、改正後の様式に死の直前の状態としての「心不全」のみをとらえて心不全と記入しないようにとの趣旨で「終末期の状態としての心不全、呼吸不全等はかかないでください。」という注意書きが加えられ、記入のしかたの説明会を平成６年２～５月に医師等を対象に実施した。これが改正前様式にも影響し、心不全が減少したことにより心疾患が減少したものと思われる。

2　「心不全」の記入をさけた件数は約２万９０００人である。

	死亡数		増減	割合	
	平成５年	６年	６－５	５年	６年
死亡総数	878 532	875 905	－ 2 627	100.0	100.0
心疾患	180 297	159 485	－20 812	20.5	18.2
慢性リウマチ性心疾患	1 298	1 307	9	0.1	0.1
虚血性心疾患	51 914	57 827	5 913	5.9	6.6
急性心筋梗塞	32 545	39 852	7 307	3.7	4.5
その他の虚血性心疾患	19 369	17 975	－ 1 394	2.2	2.1
肺循環疾患及びその他の型の心疾患	127 085	100 351	－26 734	14.5	11.5
心内膜の慢性疾患	4 794	5 154	360	0.5	0.6
心不全	108 465	79 787	－28 678	12.3	9.1
うっ血性心不全、右心不全	4 234	4 563	329	0.5	0.5
左心不全	489	519	30	0.1	0.1
その他	103 742	74 705	－29 037	11.8	8.5
心衰弱、心臓麻痺	303	281	－ 22	0.0	0.0
心不全、その他	103 439	74 424	－29 015	11.8	8.5
その他の心疾患	13 826	15 410	1 584	1.6	1.8

公表前
取扱注意

1995. 6. 29
資料３

日本人の平均余命

平成６年簡易生命表

目　次　　ページ

厚生省大臣官房統計情報部

担当係：管理企画課総合解析係

電　話：03(3260)3181　内線 222

平成６年簡易生命表について

平成６年簡易生命表は、平成６年におけるわが国の死亡状況が今後変化しないと仮定したとき、各年齢の者が平均してあと何年生きられるか、定常状態の人口構造がどのようになるかを死亡率、生存数、死亡数、定常人口、平均余命等の生命関数を用いて表したものである。

これらの関数は各年齢の死亡件数と中央人口（７月１日現在）を基にして計算されており、その関数値は現実のわが国の年齢構造には左右されず、死亡状況のみを表している。したがって、わが国の死亡状況を厳密に分析する上で不可欠なものとなっている。また０歳の平均余命である「平均寿命」は、わが国の死亡状況を集約したものとなっており、保健福祉水準を総合的に示す指標として広く活用されている。

表 章 記 号 の 規 約

…	計数不明の場合

1　主な年齢の平均余命

平成６年簡易生命表によると、男の平均寿命は７６．５７年、女の平均寿命は８２．９８年で、前年より男は０．３２年、女は０．４７年延びた。各年齢の平均余命については前年に比べ、全年齢で延びを示した。また、男女の平均寿命の差については、６．４１年で前年より０．１５年拡大した。（表１、表２）

表１　主な年齢の平均余命とその延び

（単位：年）

年齢	男			女		
	Ｈ６年	Ｈ５年	延び	Ｈ６年	Ｈ５年	延び
0歳	76.57	76.25	0.32	82.98	82.51	0.47
5歳	72.07	71.74	0.33	78.41	77.96	0.45
10歳	67.14	66.81	0.33	73.46	73.02	0.44
15歳	62.19	61.86	0.33	68.50	68.06	0.44
20歳	57.35	57.02	0.33	63.56	63.13	0.43
25歳	52.55	52.22	0.33	58.65	58.21	0.44
30歳	47.72	47.39	0.33	53.74	53.30	0.44
35歳	42.91	42.57	0.34	48.85	48.41	0.44
40歳	38.13	37.80	0.33	44.00	43.55	0.45
45歳	33.45	33.13	0.32	39.20	38.77	0.43
50歳	28.92	28.61	0.31	34.49	34.07	0.42
55歳	24.57	24.26	0.31	29.87	29.44	0.43
60歳	20.44	20.17	0.27	25.34	24.94	0.40
65歳	16.67	16.41	0.26	20.97	20.57	0.40
70歳	13.14	12.91	0.23	16.78	16.40	0.38
75歳	9.96	9.74	0.22	12.89	12.55	0.34
80歳	7.28	7.09	0.19	9.46	9.18	0.28
85歳	5.25	5.09	0.16	6.72	6.50	0.22

表２　平均寿命の年次推移

（単位：年）

暦　年	男	女	男女差
昭和22	50.06	53.96	3.90
25－27	59.57	62.97	3.40
30	63.60	67.75	4.15
35	65.32	70.19	4.87
40	67.74	72.92	5.18
45	69.31	74.66	5.35
50	71.73	76.89	5.16
55	73.35	78.76	5.41
60	74.78	80.48	5.70
平成２	75.92	81.90	5.98
3	76.11	82.11	6.00
4	76.09	82.22	6.13
5	76.25	82.51	6.26
6	76.57	82.98	6.41

注：１　平成２年までは完全生命表による。
　　２　昭和４５年以前は、沖縄県を除く値である。

２　特定年齢の生存数と寿命中位数

平成６年簡易生命表によると、男女それぞれ１０万人出生に対して６５歳の生存数は男８３，３５５人、女９１，８６２人となっている。これは６５歳まで生存する者の割合が男で８３．４％、女で９１．９％であることを示している。同様に、８０歳までは男で４８．９％、女で７０．６％が生存する。

これを時系列でみると、４０歳まで生存する者の割合は、すでに高原状態であるのに対して、６５歳まで生存するものの割合、及び８０歳まで生存する者の割合はなお増加傾向にある。（表３、図１）

また、その年に生まれた者のうちの半数が生存すると期待される年数を寿命中位数といい、平成６年においては、男が７９．６７年、女が８５．７２年である。（表４）

表３　生命表上の特定年齢まで生存する者の割合

（単位：％）

暦　年	男			女		
	40歳	65歳	80歳	40歳	65歳	80歳
昭和22	68.0	39.8	9.5	70.9	49.1	17.3
25－27	81.8	55.1	16.6	83.2	62.8	26.1
30	87.0	61.8	20.0	89.0	70.6	31.9
35	89.7	64.8	20.1	92.2	75.2	33.8
40	92.6	69.1	22.6	95.0	80.0	38.4
45	93.7	72.1	26.1	96.1	82.6	43.0
50	95.1	76.8	33.2	96.9	86.1	50.7
55	96.1	79.4	37.8	97.6	88.5	57.0
60	96.7	81.1	42.8	98.0	90.1	63.0
平成２	97.1	82.6	46.9	98.3	91.3	67.8
3	97.2	82.8	47.5	98.3	91.4	68.6
4	97.2	82.8	47.5	98.3	91.5	69.0
5	97.3	82.9	47.7	98.4	91.6	69.3
6	97.3	83.4	48.9	98.4	91.9	70.6

注：１　平成２年までは完全生命表による。
　　２　昭和４５年以前は、沖縄県を除く値である。
　　３　表３は、生命表作成時点における死亡状況を一定不変とした場合の状況を表しており、現実の生存者の割合とは異なっている。

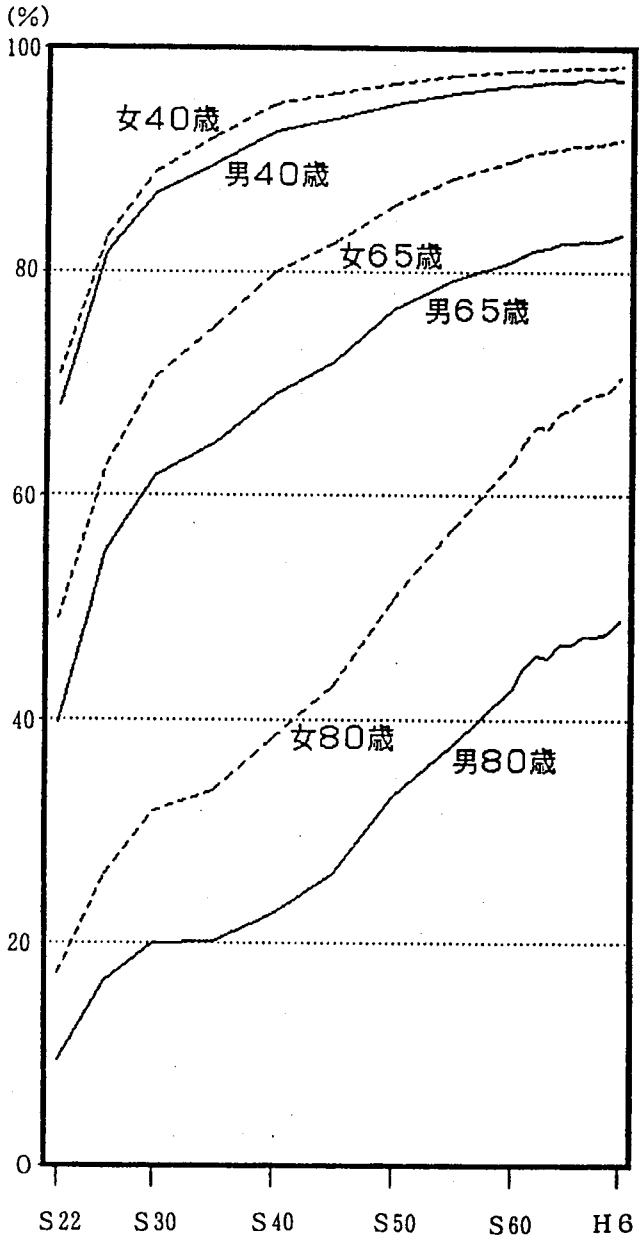
表４　寿命中位数

（単位：年）

暦　年	男	女
昭和22	59.28	64.45
25－27	67.22	71.31
30	69.79	74.19
35	70.66	75.44
40	72.00	77.04
45	73.10	78.19
50	75.31	80.17
55	76.69	81.75
60	78.06	83.38
平成２	79.13	84.71
3	79.29	85.06
4	79.29	85.19
5	79.35	85.27
6	79.67	85.72

注：１　平成２年までは完全生命表による。
　　２　昭和４５年以前は、沖縄県を除く値である。

図１　生命表上の特定年齢まで生存する者の割合



3　平均寿命の国際比較

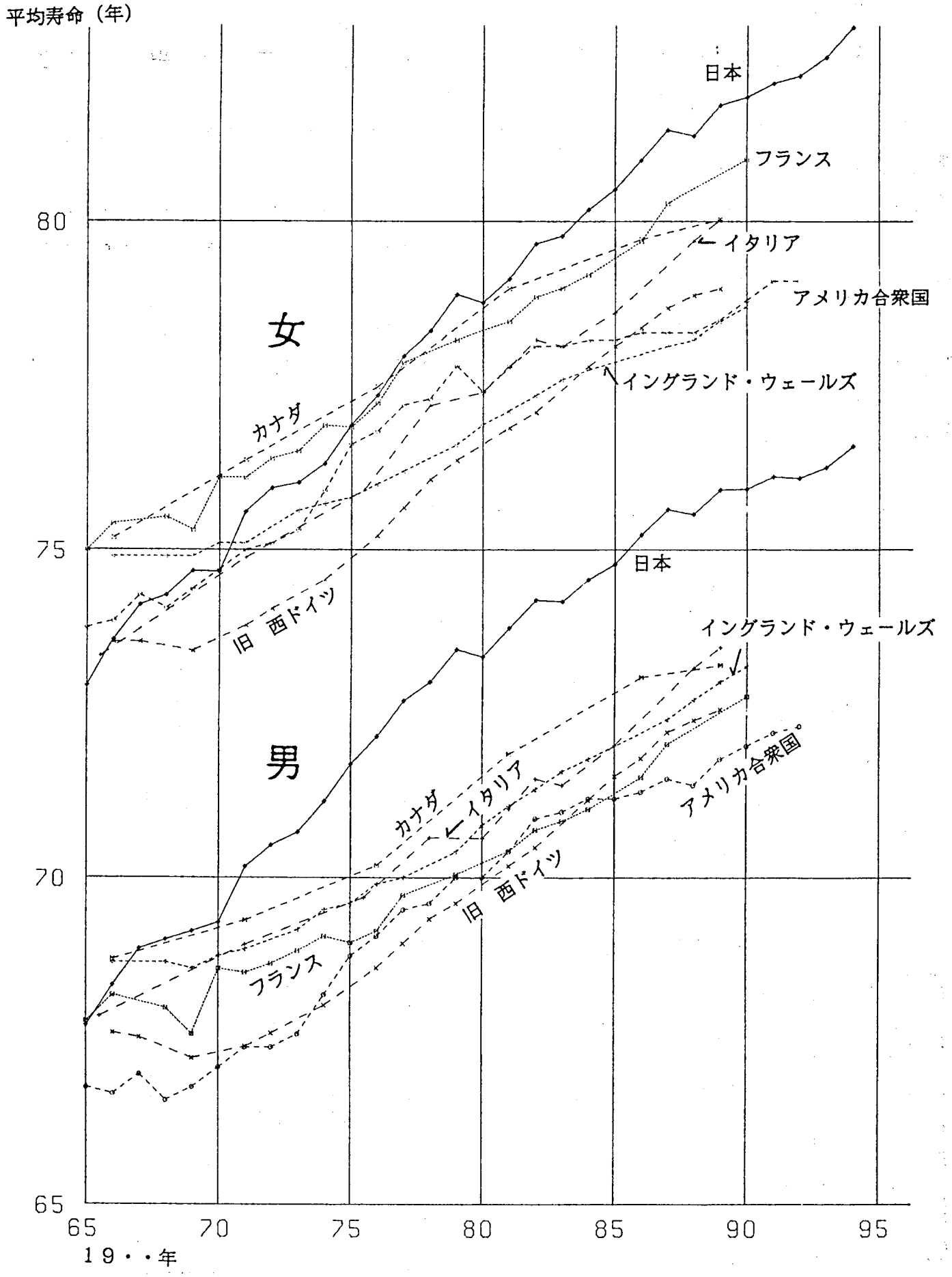
平均寿命の諸外国との比較は、国により作成基礎期間が異なるので厳密な比較は困難である。しかし、現在入手している資料を用いて比較すると表5のとおりである。

表5　平　均　寿　命　の　国　際　比　較

地域	国名	作成基礎期間	男	女	(参考)人口(万人)
	日本 (Japan)	1994	76.57	82.98	12379
アジア (ASIA)	イスラエル (Israel)	1988-92*	74.6	78.2	519
	インド (India)	1981-85	55.40	55.67	75086
	インドネシア (Indonesia)	1985-90	58.50	62.00	17930
	韓国 (Korea, Republic of)	1991*	67.66	75.67	4327
	中国 (China)	1985-90	68.00	70.90	115347
	香港 (Hong Kong)	1993*	75.21	80.74	592
ヨーロッパ (EUROPE)	アイスランド (Iceland)	1991-92*	75.74	80.89	26
	イタリア (Italy)	1989	73.49	80.02	5754
	イングランド・ウェールズ (England and Wales)	1989-91*	73.2	78.7	5096
	オーストリア (Austria)	1991	72.61	79.18	783
	オランダ (Netherlands)	1991*	74.05	80.15	1507
	スイス (Switzerland)	1990-91*	74.1	80.9	680
	スウェーデン (Sweden)	1992*	75.35	80.79	867
	旧チェコスロバキヤ (Czechoslovakia)	1990	67.25	75.81	1566
	デンマーク (Denmark)	1990-91	72.18	77.74	515
	ドイツ連邦共和国 (Germany, Federal Republic of)	1988-90*	72.55	78.98	6325
	ノルウェー (Norway)	1991*	74.01	80.09	426
	フィンランド (Finland)	1990	70.93	78.87	499
	フランス (France)	1990	72.75	80.94	5674
北アメリカ (NOUTH AMERICA)	アメリカ合衆国 (United States)	1992*	72.3	79.1	25502
	カナダ (Canada)	1989*	73.22	80.03	2624
	プエルトリコ (Puerto Rico)	1989-91	69.74	78.50	355
	メキシコ (Mexico)	1979	62.10	66.00	6752
南アメリカ (SOUTH AMERICA)	アルゼンチン (Argentina)	1980-81	65.48	72.70	2866
	ブラジル (Brazil)	1985-90	62.30	67.60	15037
アフリカ (AFRICA)	エジプト (Egypt)	1991	62.86	66.39	5392
	ナイジェリア (Nigeria)	1985-90	48.80	52.20	10854
オセアニア (OCEANIA)	オーストラリア (Australia)	1991	74.35	80.29	1729
	ニュージーランド (New Zealand)	1989-91	72.44	78.34	341
	ロシア (Russian Federation)	1991	63.46	74.27	14862

注：1　人口は作成基礎期間最後の中央人口である。ただし日本については10月1日現在推計人口である。
　　2　ドイツ連邦共和国とは、旧西ドイツのことである。
資料：Demographic Yearbook 1992　U.N. 等
　　＊印は当該政府からの資料提供によるもの

主要国との比較


平均寿命（年）
80
75
70
65
65
70
75
80
85
90
95
19・・年
女
男
日本
フランス
イタリア
アメリカ合衆国
イングランド・ウェールズ
カナダ
旧 西ドイツ
日本
イングランド・ウェールズ
アメリカ合衆国
カナダ
イタリア
旧 西ドイツ
フランス

4　死因分析

（1）死因別死亡確率

人はいずれ、何らかの死因で死亡することになるが、生命表の上で、ある年齢の者が将来どの死因で死亡するかを計算し確率の形で表したものが死因別死亡確率である。

平成６年の死因別死亡確率をみると、０歳の男では悪性新生物で死亡する確率が最も高く、心疾患、肺炎・気管支炎、脳血管疾患の順に続いている。これに対して０歳の女では心疾患、悪性新生物、脳血管疾患、肺炎・気管支炎の順となっている。０歳に比べ６５歳では男女とも悪性新生物の死亡確率が低く、他の死亡確率が高くなっている。また、３大死因（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患）の死亡確率は、男女ともに全体の６割近くを占めている。

前年と比較すると、死亡確率の順位は変わらないが、悪性新生物と脳血管疾患の死亡確率が上昇し、心疾患の死亡確率が低下している。肺炎・気管支炎の死亡確率については、近年上昇傾向にあり、平成５年に引き続いて平成６年についても、男の肺炎・気管支炎の死亡確率が３大死因の一つである脳血管疾患の死亡確率を上回ることとなった。（表６、図２）

図２　死因別死亡確率（主要死因）　　（単位：％）

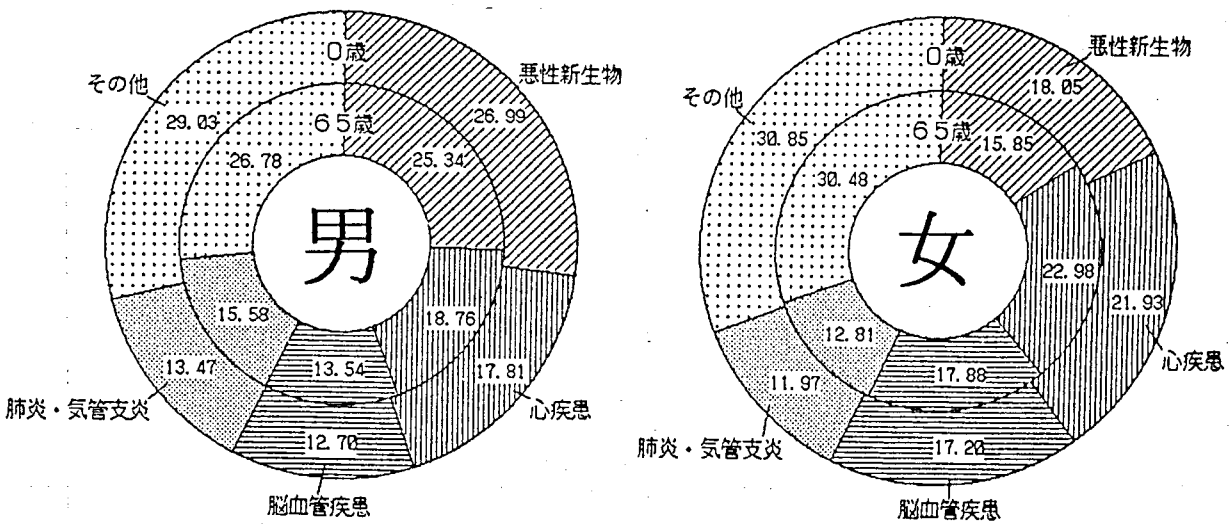


表６　死因別死亡確率（主要死因）の推移　（０歳・６５歳）

（単位：％）

主な死因	年齢	男					女				
		S40年	S50年	S60年	H5年	H6年	S40年	S50年	S60年	H5年	H6年
悪性新生物	0歳	15.0	18.56	24.02	26.22	26.99	12.4	13.86	16.38	17.40	18.05
	65歳	13.0	16.54	22.05	24.46	25.34	9.2	10.96	13.91	15.16	15.85
心疾患	0歳	11.4	14.94	19.31	20.11	17.81	12.3	16.86	22.10	25.17	21.93
	65歳	12.7	16.25	20.67	21.31	18.76	12.9	17.96	23.28	26.45	22.98
脳血管疾患	0歳	27.4	26.55	17.61	12.52	12.70	27.0	28.28	21.57	16.71	17.20
	65歳	30.5	29.43	19.17	13.32	13.54	29.0	30.19	22.63	17.37	17.88
肺炎・気管支炎	0歳	5.3	6.35	9.03	12.91	13.47	5.4	6.00	7.82	11.33	11.97
	65歳	6.2	7.39	10.58	14.96	15.58	5.6	6.41	8.43	12.12	12.81

（2）特定死因を除去した場合の平均余命の延び

ある死因が克服された場合、その死因によって死亡していた者は、その死亡年齢以後に他の死因で死亡することになる。その結果死亡時期が繰り越されることとなり、余命が延びることになる。この延びは、その死因のために失われた余命としてみることができ、これによって各死因がどの程度平均余命へ影響しているかを測ることができる。

平成６年についてみると、０歳における延びは、男女とも悪性新生物が最も大きく、以下、心疾患、脳血管疾患、肺炎・気管支炎の順となっている。一方、65歳における延びは０歳における延びと比較してみると、男の場合は、肺炎・気管支炎が脳血管疾患を上回っており、女の場合は、悪性新生物より心疾患の延びのほうが大きくなっていることが分かる。主要４死因について見ると、特定死因を除去した場合の延びが前年に比べて大きくなっている死因は、悪性新生物、脳血管疾患、肺炎気管支炎である。（表７）

なお、３大死因（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患）を除去した場合の延びは、０歳では男８．７４年、女８．０９年、６５歳では男６．８４年、女６．６８年となっている。

表７　特定死因を除去した場合の平均余命の延び（主要死因）

（単位：年）

主な死因	年齢	男					女				
		S40年	S50年	S60年	H5年	H6年	S40年	S50年	S60年	H5年	H6年
悪性新生物	0歳	2.02	2.59	3.29	3.59	3.71	1.98	2.23	2.44	2.60	2.69
	65歳	1.07	1.53	2.10	2.44	2.56	0.84	1.10	1.39	1.58	1.66
心疾患	0歳	1.15	1.59	2.00	2.11	1.84	1.24	1.72	2.04	2.39	2.01
	65歳	0.87	1.28	1.63	1.72	1.49	0.93	1.54	1.88	2.26	1.88
脳血管疾患	0歳	3.03	3.00	1.73	1.20	1.21	2.92	3.17	1.99	1.52	1.53
	65歳	2.53	2.67	1.50	1.00	1.02	2.52	2.96	1.83	1.38	1.41
肺炎・気管支炎	0歳	0.70	0.62	0.70	1.02	1.06	0.71	0.61	0.59	0.87	0.88
	65歳	0.37	0.51	0.72	1.06	1.11	0.35	0.47	0.56	0.86	0.88

平成6年

年齢 x	死亡率 ${}_nq_x$	生存数 l_x	死亡数 ${}_nd_x$	定常人口 ${}_nL_x$	定常人口 T_x	平均余命 $\mathring{e}_x$
0(W)	0.00189	100000	189	1916	7656762	76.57
1	0.00032	99811	32	1914	7654846	76.69
2	0.00021	99779	21	1913	7652932	76.70
3	0.00020	99758	20	1913	7651018	76.70
4	0.00045	99738	45	8970	7649105	76.69
2(M)	0.00031	99693	30	8306	7640135	76.64
3	0.00067	99663	67	24907	7631829	76.58
6	0.00072	99596	72	49780	7606922	76.38
0(Y)	0.00476	100000	476	99620	7656762	76.57
1	0.00068	99524	67	99490	7557142	75.93
2	0.00050	99457	49	99432	7457651	74.98
3	0.00036	99407	36	99389	7358220	74.02
4	0.00028	99371	28	99358	7258830	73.05
5	0.00024	99344	24	99332	7159473	72.07
6	0.00022	99320	22	99309	7060141	71.08
7	0.00020	99298	19	99288	6960831	70.10
8	0.00017	99279	17	99270	6861543	69.11
9	0.00014	99262	14	99255	6762272	68.13
10	0.00014	99248	14	99241	6663018	67.14
11	0.00015	99234	15	99227	6563777	66.14
12	0.00017	99219	17	99211	6464550	65.15
13	0.00019	99202	18	99193	6365339	64.17
14	0.00023	99184	23	99173	6266146	63.18
15	0.00031	99161	30	99146	6166973	62.19
16	0.00042	99131	42	99110	6067827	61.21
17	0.00055	99089	55	99062	5968717	60.24
18	0.00066	99034	65	99001	5869656	59.27
19	0.00071	98969	70	98934	5770654	58.31
20	0.00072	98898	72	98863	5671721	57.35
21	0.00072	98827	71	98791	5572858	56.39
22	0.00071	98756	70	98721	5474067	55.43
23	0.00072	98686	71	98650	5375346	54.47
24	0.00072	98615	71	98579	5276696	53.51
25	0.00071	98544	70	98508	5178117	52.55
26	0.00070	98473	69	98439	5079608	51.58
27	0.00070	98404	69	98370	4981170	50.62
28	0.00070	98336	69	98301	4882800	49.65
29	0.00073	98266	71	98231	4784499	48.69
30	0.00076	98195	74	98158	4686268	47.72
31	0.00078	98121	77	98082	4588110	46.76
32	0.00080	98044	79	98004	4490028	45.80
33	0.00084	97965	82	97924	4392024	44.83
34	0.00089	97883	87	97840	4294100	43.87
35	0.00095	97796	93	97750	4196260	42.91
36	0.00102	97703	99	97653	4098511	41.95
37	0.00109	97604	106	97550	4000857	40.99
38	0.00118	97497	115	97440	3903307	40.03
39	0.00130	97383	126	97320	3805867	39.08
40	0.00144	97256	140	97186	3708547	38.13
41	0.00160	97116	156	97038	3611361	37.19
42	0.00178	96960	172	96874	3514323	36.24
43	0.00198	96788	192	96692	3417449	35.31
44	0.00222	96596	214	96489	3320757	34.38

簡易生命表（男）

年齢	死亡率	生存数	死亡数	定常人口		平均余命
x	${}_nq_x$	l_x	${}_nd_x$	${}_nL_x$	T_x	$\mathring{e}_x$
45	0.00246	96381	237	96263	3224269	33.45
46	0.00271	96144	260	96014	3128006	32.53
47	0.00299	95884	286	95741	3031992	31.62
48	0.00330	95598	316	95440	2936251	30.71
49	0.00367	95282	350	95107	2840811	29.81
50	0.00407	94932	386	94739	2745704	28.92
51	0.00446	94546	422	94335	2650965	28.04
52	0.00483	94124	455	93896	2556631	27.16
53	0.00522	93669	489	93425	2462734	26.29
54	0.00568	93180	529	92915	2369310	25.43
55	0.00623	92651	577	92362	2276394	24.57
56	0.00689	92073	635	91756	2184032	23.72
57	0.00768	91439	702	91087	2092276	22.88
58	0.00859	90736	779	90347	2001189	22.05
59	0.00963	89957	867	89524	1910842	21.24
60	0.01081	89091	963	88609	1821318	20.44
61	0.01202	88128	1059	87598	1732709	19.66
62	0.01322	87069	1151	86493	1645111	18.89
63	0.01443	85917	1240	85297	1558618	18.14
64	0.01562	84677	1323	84016	1473321	17.40
65	0.01684	83355	1403	82653	1389305	16.67
66	0.01812	81951	1485	81209	1306652	15.94
67	0.01956	80466	1574	79679	1225444	15.23
68	0.02124	78892	1676	78054	1145764	14.52
69	0.02320	77216	1791	76321	1067710	13.83
70	0.02551	75425	1924	74463	991390	13.14
71	0.02806	73501	2062	72469	916927	12.48
72	0.03096	71438	2212	70333	844458	11.82
73	0.03429	69227	2374	68040	774125	11.18
74	0.03803	66853	2542	65582	706085	10.56
75	0.04230	64311	2720	62951	640503	9.96
76	0.04719	61591	2906	60137	577553	9.38
77	0.05285	58684	3101	57134	517415	8.82
78	0.05913	55583	3286	53940	460281	8.28
79	0.06571	52297	3436	50578	406342	7.77
80	0.07451	48860	3640	47040	355763	7.28
81	0.08269	45220	3739	43350	308723	6.83
82	0.09149	41480	3795	39583	265373	6.40
83	0.10093	37685	3804	35784	225790	5.99
84	0.11105	33882	3763	32001	190006	5.61
85	0.12189	30119	3671	28284	158006	5.25
86	0.13349	26448	3531	24683	129722	4.90
87	0.14590	22917	3344	21246	105039	4.58
88	0.15915	19574	3115	18016	83794	4.28
89	0.17328	16459	2852	15033	65777	4.00
90	0.18832	13607	2562	12326	50745	3.73
91	0.20432	11044	2257	9916	38419	3.48
92	0.22131	8788	1945	7815	28503	3.24
93	0.23932	6843	1638	6024	20688	3.02
94	0.25837	5205	1345	4533	14664	2.82
95-	1.00000	3860	3860	10131	10131	2.62

平成6年

年齢 x	死亡率 ${}_nq_x$	生存数 l_x	死亡数 ${}_nd_x$	定常人口 ${}_nL_x$	定常人口 T_x	平均余命 $\mathring{e}_x$
0(W)	0.00146	100000	146	1916	8297876	82.98
1	0.00027	99854	27	1915	8295959	83.08
2	0.00016	99826	16	1914	8294045	83.08
3	0.00013	99810	13	1914	8292130	83.08
4	0.00044	99797	44	8975	8290216	83.07
2(M)	0.00027	99752	27	8312	8281241	83.02
3	0.00053	99725	53	24925	8272929	82.96
6	0.00052	99672	52	49823	8248005	82.75
0(Y)	0.00380	100000	380	99694	8297876	82.98
1	0.00058	99620	58	99591	8198182	82.29
2	0.00040	99562	40	99542	8098591	81.34
3	0.00027	99522	27	99509	7999048	80.37
4	0.00020	99496	19	99486	7899539	79.40
5	0.00016	99476	16	99468	7800053	78.41
6	0.00015	99460	15	99453	7700585	77.42
7	0.00013	99445	13	99439	7601132	76.44
8	0.00012	99432	12	99426	7501693	75.45
9	0.00011	99420	11	99415	7402267	74.45
10	0.00009	99410	9	99405	7302852	73.46
11	0.00009	99400	9	99396	7203447	72.47
12	0.00009	99392	9	99387	7104051	71.48
13	0.00010	99383	10	99378	7004663	70.48
14	0.00012	99373	12	99367	6905285	69.49
15	0.00014	99361	14	99354	6805918	68.50
16	0.00017	99347	17	99339	6706563	67.51
17	0.00020	99330	20	99321	6607224	66.52
18	0.00023	99311	23	99299	6507904	65.53
19	0.00026	99288	26	99275	6408605	64.55
20	0.00028	99262	28	99248	6309330	63.56
21	0.00029	99234	29	99219	6210082	62.58
22	0.00029	99205	29	99190	6110863	61.60
23	0.00028	99176	28	99162	6011672	60.62
24	0.00028	99148	28	99134	5912510	59.63
25	0.00029	99121	28	99106	5813376	58.65
26	0.00030	99092	30	99077	5714269	57.67
27	0.00032	99062	31	99047	5615192	56.68
28	0.00034	99031	33	99014	5516145	55.70
29	0.00036	98998	36	98980	5417131	54.72
30	0.00039	98962	39	98943	5318151	53.74
31	0.00042	98923	42	98902	5219209	52.76
32	0.00045	98881	44	98859	5120306	51.78
33	0.00047	98837	46	98814	5021447	50.81
34	0.00049	98791	48	98767	4922633	49.83
35	0.00052	98743	52	98717	4823866	48.85
36	0.00057	98691	56	98663	4725149	47.88
37	0.00062	98635	61	98605	4626485	46.90
38	0.00068	98574	67	98541	4527881	45.93
39	0.00073	98507	72	98471	4429340	44.96
40	0.00079	98435	78	98396	4330869	44.00
41	0.00088	98357	86	98314	4232473	43.03
42	0.00097	98271	96	98223	4134159	42.07
43	0.00109	98175	107	98122	4035935	41.11
44	0.00121	98069	119	98009	3937813	40.15

簡易生命表（女）

年齢	死亡率	生存数	死亡数	定常人口		平均余命
x	${}_nq_x$	l_x	${}_nd_x$	${}_nL_x$	T_x	$\mathring{e}_x$
45	0.00134	97950	131	97884	3839804	39.20
46	0.00145	97819	142	97748	3741920	38.25
47	0.00157	97677	154	97600	3644172	37.31
48	0.00170	97523	166	97440	3546572	36.37
49	0.00183	97357	178	97268	3449132	35.43
50	0.00199	97179	193	97082	3351864	34.49
51	0.00218	96986	211	96880	3254781	33.56
52	0.00236	96774	228	96660	3157901	32.63
53	0.00252	96546	243	96425	3061241	31.71
54	0.00269	96303	259	96174	2964816	30.79
55	0.00289	96044	278	95905	2868642	29.87
56	0.00314	95766	301	95616	2772737	28.95
57	0.00343	95465	328	95301	2677122	28.04
58	0.00374	95137	356	94959	2581821	27.14
59	0.00408	94781	386	94588	2486861	26.24
60	0.00447	94395	422	94184	2392273	25.34
61	0.00494	93973	464	93741	2298090	24.45
62	0.00541	93509	506	93256	2204349	23.57
63	0.00590	93003	548	92729	2111093	22.70
64	0.00641	92455	593	92158	2018364	21.83
65	0.00699	91862	642	91541	1926206	20.97
66	0.00768	91220	700	90870	1834664	20.11
67	0.00850	90520	769	90135	1743795	19.26
68	0.00946	89750	849	89326	1653660	18.43
69	0.01050	88902	934	88435	1564334	17.60
70	0.01173	87968	1032	87452	1475899	16.78
71	0.01313	86936	1142	86365	1388447	15.97
72	0.01476	85795	1266	85161	1302082	15.18
73	0.01669	84528	1411	83823	1216920	14.40
74	0.01894	83117	1574	82330	1133098	13.63
75	0.02150	81543	1753	80667	1050767	12.89
76	0.02448	79790	1953	78814	970100	12.16
77	0.02790	77837	2172	76751	891287	11.45
78	0.03173	75665	2401	74465	814535	10.76
79	0.03597	73264	2635	71947	740070	10.10
80	0.04266	70629	3013	69123	668123	9.46
81	0.04854	67616	3282	65975	599001	8.86
82	0.05503	64334	3540	62564	533026	8.29
83	0.06217	60794	3779	58904	470462	7.74
84	0.07003	57014	3993	55018	411558	7.22
85	0.07867	53022	4171	50936	356540	6.72
86	0.08817	48850	4307	46697	305604	6.26
87	0.09860	44543	4392	42347	258907	5.81
88	0.11002	40151	4417	37943	216560	5.39
89	0.12253	35734	4378	33545	178617	5.00
90	0.13620	31355	4271	29220	145073	4.63
91	0.15112	27085	4093	25038	115853	4.28
92	0.16737	22992	3848	21068	90814	3.95
93	0.18504	19144	3542	17372	69747	3.64
94	0.20421	15601	3186	14008	52374	3.36
95-	1.00000	12415	12415	38366	38366	3.09

参考資料１　生命表諸関数の定義

死亡率　$_nq_x$　：ちょうどｘ歳に達した者がｘ＋ｎ歳に達しないで死亡する確率を、年齢階級［ｘ，ｘ＋ｎ）における死亡率という。特に $_1q_x$ をｘ歳の死亡率といい、これを q_x で表す。

生存数　l_x　：１００，０００人の出生者が、上記の死亡率に従って死亡減少していくと考えた場合、ｘ歳に達するまで生き残ると期待される者の数をｘ歳における生存数という。

死亡数　$_nd_x$　：ｘ歳における生存数 l_x 人のうち、ｘ＋ｎ歳に達しないで死亡すると期待される者の数を年齢階級［ｘ，ｘ＋ｎ）における死亡数という。特に $_1d_x$ をｘ歳における死亡数といい、これを d_x で表す。

定常人口 $_nL_x$ 及び T_x　：ｘ歳における生存数 l_x 人について、これらの各々がｘ歳からｘ＋ｎ歳に達するまでの間に生存する年数の和、又は、常に１００，０００人の出生があって、これらの者が上記の死亡率に従って死亡すると仮定すると究極において一定の人口集団が得られるが、その集団のｘ歳以上ｘ＋ｎ歳未満の人口を、年齢階級［ｘ，ｘ＋ｎ）における定常人口という。特に $_1L_x$ をｘ歳における定常人口といい、これを L_x で表す。更に、ｘ歳における生存数 l_x 人について、これらの各々がｘ歳以後死亡に至るまでの間に生存する年数の和、又は上記の人口集団のｘ歳以上の人口を、ｘ歳以上の定常人口総数といい、これを T_x で表す。$_nL_x$ 、T_x は $_nL_x=\int_x^{x+n} l_t dt$ 、$T_x=\int_x^{\infty} l_t dt$ により与えられる。

平均余命　$\mathring{e}_x$　：ｘ歳における生存数 l_x 人について、これらの者がｘ歳以後に生存する年数の平均をｘ歳における平均余命という。ｘ歳の平均余命は $\mathring{e}_x=T_x/l_x$ により与えられる。また、０歳の平均余命を平均寿命という。

寿命中位数　：１００，０００人の出生者のうち、半数である５０，０００人が生存すると期待される年数を寿命中位数という。

参考資料２　平均余命の年次推移

（単位：年）

暦　年	男				女			
	0歳	20歳	40歳	65歳	0歳	20歳	40歳	65歳
昭和22＊	50.06	40.89	26.88	10.16	53.96	44.87	30.39	12.22
23	55.6	43.6	29.1	12.0	59.4	47.3	32.5	14.2
24	56.2	44.3	29.2	11.7	59.8	47.9	32.6	14.0
25	58.0	45.3	29.4	11.5	61.5	48.7	32.7	13.9
25-27＊	59.57	46.43	29.65	11.35	62.97	49.58	32.77	13.36
26	60.8	47.9	31.4	…	64.9	51.9	35.4	…
27	61.9	48.0	30.9	12.5	65.5	51.4	34.2	14.8
28	61.9	48.0	30.6	11.9	65.7	51.4	33.9	14.2
29	63.41	48.87	31.45	12.88	67.69	52.86	35.22	15.00
30＊	63.60	48.47	30.85	11.82	67.75	52.25	34.34	14.13
31	63.59	48.21	30.45	11.36	67.54	51.92	33.85	13.54
32	63.24	47.87	30.04	11.01	67.60	51.48	33.39	12.93
33	64.98	49.19	31.29	12.12	69.61	53.48	35.23	14.71
34	65.21	49.31	31.30	11.91	69.88	53.45	35.08	14.37
35＊	65.32	49.08	31.02	11.62	70.19	53.39	34.90	14.10
36	66.03	49.58	31.44	11.88	70.79	53.72	35.10	14.10
37	66.23	49.44	31.19	11.55	71.16	53.85	35.15	14.09
38	67.21	50.10	31.79	12.10	72.34	54.70	35.89	14.70
39	67.67	50.33	31.96	12.19	72.87	54.99	36.11	14.83
40＊	67.74	50.18	31.73	11.88	72.92	54.85	35.91	14.56
41	68.35	50.78	32.33	12.42	73.61	55.53	36.55	15.11
42	68.91	51.06	32.56	12.50	74.15	55.82	36.79	15.26
43	69.05	51.17	32.61	12.48	74.30	55.93	36.86	15.26
44	69.18	51.24	32.71	12.53	74.67	56.24	37.17	15.51
45＊	69.31	51.26	32.68	12.50	74.66	56.11	37.01	15.34
46	70.17	52.05	33.42	13.08	75.58	56.99	37.85	16.00
47	70.50	52.33	33.67	13.25	75.94	57.28	38.11	16.17
48	70.70	52.46	33.74	13.22	76.02	57.33	38.12	16.10
49	71.16	52.79	33.99	13.38	76.31	57.54	38.30	16.18
50＊	71.73	53.27	34.41	13.72	76.89	58.04	38.76	16.56
51	72.15	53.60	34.68	13.91	77.35	58.43	39.11	16.80
52	72.69	54.07	35.12	14.29	77.95	58.99	39.63	17.24
53	72.97	54.32	35.32	14.40	78.33	59.32	39.95	17.48
54	73.46	54.72	35.70	14.75	78.89	59.83	40.42	17.92
55＊	73.35	54.56	35.52	14.56	78.76	59.66	40.23	17.68
56	73.79	54.95	35.88	14.85	79.13	60.00	40.55	17.93
57	74.22	55.33	36.24	15.18	79.66	60.48	41.02	18.35
58	74.20	55.25	36.20	15.19	79.78	60.56	41.10	18.40
59	74.54	55.56	36.47	15.43	80.18	60.93	41.46	18.71
60＊	74.78	55.74	36.63	15.52	80.48	61.20	41.72	18.94
61	75.23	56.15	37.02	15.86	80.93	61.62	42.13	19.29
62	75.61	56.50	37.35	16.12	81.39	62.05	42.54	19.67
63	75.54	56.40	37.24	15.95	81.30	61.96	42.44	19.54
平成元	75.91	56.74	37.56	16.22	81.77	62.41	42.89	19.95
2＊	75.92	56.77	37.58	16.22	81.90	62.54	43.00	20.03
3	76.11	56.90	37.70	16.31	82.11	62.73	43.18	20.20
4	76.09	56.91	37.70	16.31	82.22	62.84	43.29	20.31
5	76.25	57.02	37.80	16.41	82.51	63.13	43.55	20.57
6	76.57	57.35	38.13	16.67	82.98	63.56	44.00	20.97

注：1　＊印は完全生命表、その他は簡易生命表による。
　　2　昭和４６年以前は、沖縄県を除く値である。

参考資料３　死因別死亡確率と特定死因を除去した場合の平均余命の延びの推移

（１）死因別死亡確率の推移　（０歳・65歳）

（単位：%）

主な死因	年齢	男					女				
		S40年	S50年	S60年	H5年	H6年	S40年	S50年	S60年	H5年	H6年
全結核	0歳	3.5	1.84	0.80	0.48	0.46	1.7	0.76	0.28	0.17	0.17
	65歳	2.6	1.70	0.79	0.49	0.46	1.0	0.62	0.25	0.16	0.17
悪性新生物	0歳	15.0	18.56	24.02	26.22	26.99	12.4	13.86	16.38	17.40	18.05
	65歳	13.0	16.54	22.05	24.46	25.34	9.2	10.96	13.91	15.16	15.85
高血圧性疾患	0歳	2.8	2.92	1.63	0.85	0.77	3.5	4.23	2.88	1.68	1.67
	65歳	3.4	3.49	1.92	0.97	0.87	4.0	4.74	3.14	1.81	1.80
心疾患	0歳	11.4	14.94	19.31	20.11	17.81	12.3	16.86	22.10	25.17	21.93
	65歳	12.7	16.25	20.67	21.31	18.76	12.9	17.96	23.28	26.45	22.98
脳血管疾患	0歳	27.4	26.55	17.61	12.52	12.70	27.0	28.28	21.57	16.71	17.20
	65歳	30.5	29.43	19.17	13.32	13.54	29.0	30.19	22.63	17.37	17.88
肺炎・気管支炎	0歳	5.3	6.35	9.03	12.91	13.47	5.4	6.00	7.82	11.33	11.97
	65歳	6.2	7.39	10.58	14.96	15.58	5.6	6.41	8.43	12.12	12.81
慢性肝疾患・肝硬変	0歳	…	2.27	2.12	1.70	1.65	…	1.06	1.08	0.96	0.93
	65歳	…	1.47	1.33	1.03	1.01	…	0.88	0.92	0.83	0.80
腎炎・ﾈﾌﾛｰｾﾞ症候群・ﾈﾌﾛｰｾﾞ	0歳	…	…	1.80	2.12	2.15	…	…	1.92	2.44	2.58
	65歳	…	…	1.95	2.32	2.36	…	…	1.96	2.54	2.69
不慮の事故・有害作用	0歳	5.1	4.03	3.47	3.75	3.94	2.1	1.94	1.85	2.33	2.52
	65歳	1.9	1.92	1.98	2.59	2.80	1.4	1.50	1.51	2.03	2.22
自動車事故（再）	0歳	…	1.65	1.36	1.36	1.32	…	0.61	0.54	0.62	0.61
	65歳	…	0.61	0.57	0.63	0.62	…	0.36	0.32	0.39	0.39
自殺	0歳	1.5	1.90	2.24	1.79	1.86	1.3	1.54	1.37	1.06	1.03
	65歳	0.8	0.88	0.91	0.71	0.73	0.8	0.96	0.83	0.63	0.61

（２）特定死因を除去した場合の平均余命の延びの推移　（０歳・65歳）

（単位：年）

主な死因	年齢	男					女				
		S40年	S50年	S60年	H5年	H6年	S40年	S50年	S60年	H5年	H6年
全結核	0歳	0.52	0.22	0.09	0.05	0.05	0.33	0.11	0.04	0.02	0.02
	65歳	0.20	0.13	0.06	0.04	0.04	0.09	0.05	0.02	0.02	0.02
悪性新生物	0歳	2.02	2.59	3.29	3.59	3.71	1.98	2.23	2.44	2.60	2.69
	65歳	1.07	1.53	2.10	2.44	2.56	0.84	1.10	1.39	1.58	1.66
高血圧性疾患	0歳	0.23	0.23	0.11	0.06	0.05	0.29	0.34	0.18	0.10	0.10
	65歳	0.22	0.23	0.11	0.06	0.05	0.27	0.35	0.19	0.11	0.10
心疾患	0歳	1.15	1.59	2.00	2.11	1.84	1.24	1.72	2.04	2.39	2.01
	65歳	0.87	1.28	1.63	1.72	1.49	0.93	1.54	1.88	2.26	1.88
脳血管疾患	0歳	3.03	3.00	1.73	1.20	1.21	2.92	3.17	1.99	1.52	1.53
	65歳	2.53	2.67	1.50	1.00	1.02	2.52	2.96	1.83	1.38	1.41
肺炎・気管支炎	0歳	0.70	0.62	0.70	1.02	1.06	0.71	0.61	0.59	0.87	0.88
	65歳	0.37	0.51	0.72	1.06	1.11	0.35	0.47	0.56	0.86	0.88
慢性肝疾患・肝硬変	0歳	…	0.37	0.35	0.29	0.28	…	0.15	0.15	0.14	0.13
	65歳	…	0.12	0.12	0.10	0.10	…	0.08	0.09	0.09	0.09
腎炎・ﾈﾌﾛｰｾﾞ症候群・ﾈﾌﾛｰｾﾞ	0歳	…	…	0.17	0.19	0.18	…	…	0.18	0.21	0.21
	65歳	…	…	0.14	0.16	0.16	…	…	0.15	0.19	0.19
不慮の事故・有害作用	0歳	1.47	1.11	0.87	0.80	0.82	0.49	0.40	0.33	0.37	0.39
	65歳	0.14	0.15	0.16	0.21	0.22	0.10	0.12	0.11	0.17	0.18
自動車事故（再）	0歳	…	0.50	0.42	0.40	0.39	…	0.16	0.14	0.16	0.16
	65歳	…	0.05	0.05	0.06	0.06	…	0.03	0.03	0.04	0.04
自殺	0歳	0.33	0.47	0.56	0.45	0.48	0.27	0.35	0.30	0.25	0.25
	65歳	0.06	0.07	0.08	0.06	0.07	0.06	0.09	0.08	0.07	0.06

公表前
取扱注意

1995. 6. 29

平成６年　簡易生命表のポイント

１　平成６年の平均寿命は、男は前年を０．３２年、女は０．４７年上回り過去最高となった。

（現在入手している資料では、男女とも世界最高となっている。）

また、男女差は６．４１年と、前年より０．１５年拡大した。

男女別平均寿命とその差

	平成６年	平成５年	延び
男	７６．５７年	７６．２５年	０．３２年
女	８２．９８年	８２．５１年	０．４７年
男女差	６．４１年	６．２６年	

２　平成６年に生まれた者のうち、８０歳まで生存すると予想される者の割合は、男４８．９％、女７０．６％である（３０年前の昭和３９年では男２３．８％、女３９．２％であった）。また、平成６年に生まれた者のうち半数は、男では７９．６７歳、女では８５．７２歳まで生存すると期待される。

３　平成６年に生まれた者の死因別死亡確率（将来どの死因で死亡するかを示す割合）は、男は悪性新生物、心疾患、肺炎・気管支炎の順で大きく、女は心疾患、悪性新生物、脳血管疾患の順で大きくなっている。平成６年に生まれた者が将来３大死因（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患）で死亡する確率は男女とも６割近くを占めている。

４　特定死因が克服された場合の平均寿命の延びは、男女とも悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の順で大きくなっている。また、３大死因が克服されれば、平均寿命は男８．７４年、女８．０９年延びることになる。

資料 4

都道府県別世帯数の将来推計

——1990年（平成２）～2010（平成22）年——

1995（平成７）年３月推計

厚生省人口問題研究所

担当　3503－1711
内線3658

はじめに

地域における高齢者保健福祉政策，住宅政策，都市政策等の推進にとって，世帯の将来動向を見通す必要性は益々高くなっている。人口問題研究所では，1966年と1971年に都道府県別の総世帯数の推計を発表しているが，こうした推計に対するニーズの高まりに対応するため，今回24年ぶりに推計を行うとともに，初めて，男女年齢５歳階級別・家族類型別の結果を算出した。なお，本推計は，全国世帯数推計（1993（平成５）年10月推計）をベースに行なったものである。

Ⅰ　推計の枠組み

１．推計期間

推計期間は，1990（平成２）年10月1日を起点として，５年間隔で2010（平成22）年までの20年間である。

２．基準世帯数・人口

1990（平成２）年10月1日の国勢調査結果による都道府県別の家族類型別一般世帯数，及び全国世帯数推計による将来の家族類型別一般世帯数を基準世帯数とし，また，『都道府県別将来推計人口（平成４年10月推計）』による推計人口を基準人口とした。

３．推計結果の種類

都道府県別に世帯主年齢別・家族類型別の世帯データが整備されている1980年から1990年の世帯構造の動向をみると，男女年齢別の家族類型別世帯数割合やその変化には都道府県間でかなり大きな相違があり，また変化の方向も必ずしも安定したものではない。こうした動向をもとに将来推計を行う場合，いくつかのケースを設定するのが一般的であるが，今回の推計では結果のデータ量が膨大になることから１ケースに限定した。このため，初めての試みでもある本推計の結果は，試算的性格を有するものになっている。

推計は世帯の家族類型別・世帯主の男女年齢５歳階級別に行なったが，推計結果の表章は，データ量が大きくなるため，男女別を割愛し，総数のみとした。また全国推計と同様に，参考推計として，1990年の各世帯主率が将来にわたって変化しない場合の世帯数を計算したが，これもデータ量の関係から，結果の表章は見送った。なお，都道府県別の推計結果は，それぞれの合計値が全国世帯数推計の結果と一致するよう調整を加えた。

結果は，一般世帯の家族類型別・世帯主の年齢５歳階級別に表章した。家族類型は，「夫婦のみの世帯」「親と子供から成る世帯」「単独世帯」「その他の一般世帯」の４類型である。

Ⅱ　推計の方法

1．推計手法の概要

推計方法には世帯主率法を採用した。全国世帯推計で採用した家族類型別純遷移率法の適用も検討したが，人口の地域間移動によって純遷移率に必ずしも安定的な傾向を見いだせないことから，この方法は採用せず，既に全国世帯数推計によって得られている将来の世帯の家族類型別・男女年齢５歳階級別世帯主率を利用する方法を採用することとした。すなわち，都道府県別の世帯の家族類型別・男女５歳階級別世帯主率とこれに対応する全国の世帯主率との比の過去の傾向を延長し，求められる将来の比を将来の全国の各世帯主率に乗じて，将来の都道県別の各世帯主率を得るという方法である。

1980年，1985年，1990年の都道府県別の世帯の家族類型別・男女年齢５歳階級別世帯主率の対全国比（以下，「対全国比」とする）は，西南日本で相対的に高く，東北日本で低いという地域差を伴いながら，比較的安定した傾向で推移しており，直線的に将来へ延長することが可能である。そこで，３通りの延長方法を検討し，世帯の家族類型別・男女年齢５歳階級別に延長した比による世帯主率の合計値と一般世帯総数のそれとを比較し，もっとも誤差の小さい延長方法を採用した。また最終的に，都道府県別・男女年齢５歳階級別に求められた家族類型別の世帯主率は，都道府県別・男女年齢５歳階級別の一般世帯総数の世帯主率によって合計調整を行なった。

以上のようにして得られた都道府県別・世帯の家族類型別・男女年齢５歳階級別の将来世帯主率を，都道府県別・男女年齢５歳階級別将来人口に乗じて，都道府県別・世帯の家族類型別・世帯主の男女年齢５歳階級別世帯数を求めた。さらに，都道府県別の世帯の家族類型別・世帯主の男女年齢５歳階級別世帯数が全国推計結果の同カテゴリーと一致するように合計調整を行なった。

2．仮定値の設定

（1）1980～90年の世帯主率対全国比の動向

世帯主率対全国比を将来に向けて延長するために，1980年，1985年，1990年の３時点の都道府県別の世帯主率対全国比の平均と分散の動向を世帯の家族類型別・男女年齢５歳階級別に検討した（表１）。ただし，女子は一般世帯総数と単独世帯のみを検討対象とした。これは，「単独世帯」以外の家族類型では，女子の世帯主率は著しく低く，対全国比の平均や分散を見る意味が小さいからである。

まず，一般世帯総数をみると，平均は，男子ではすべての年齢階級で，女子では30～39歳，60～69歳を除いた年齢階級で１に近づく傾向である。分散は，男子では30～54歳，女子では30歳～49歳で上昇傾向にあるが，そのほかの年齢階級では縮小傾向にある。つまり，都道府県別の一般世帯総数の世帯主率は全国に近づくとともに，地域的差異は解消する傾向にあるといえよう。次に，家族類型別にみると，男子の「夫婦のみの世帯」では，平均は35～44歳，50～59歳以外の年齢階級で１に近づいている。分散は35～44歳，50～54歳を除いた年齢階級で縮小している。男子の「親と子供から成る世帯」では，平均は50～64歳以外の年齢階級で１に近づいており，分散は25～49歳の年齢階級を除いた年齢階級で縮小している。男子の「単独世帯」では平均は45～54歳，65～69歳以外は

すべての年齢階級で１に近づく傾向であり，分散はすべての年齢階級で縮小している。女子の「単独世帯」では，平均は30～39歳，55～64歳以外の年齢階級で１に近づきつつあり，分散は35～44歳以外の年齢階級で縮小している。男子の「その他の一般世帯」では，平均は15～44歳で１に近づいているだけで，他の年齢階級では１よりも大きくなりつつあり，分散が縮小している年齢階級も一部だけである。

以上から，世帯主率対全国比は，男子の「その他の一般世帯」を除いて，15～29歳と高齢層（世帯主年齢65歳以上）で平均は１に近づき，分散は小さくなる傾向にあり，地域差は解消する方向にあると言える。特に，後期高齢層(世帯主年齢75歳以上)についてこの傾向は顕著である。しかし，男子の「その他の一般世帯」では地域的差異はむしろ拡大傾向にあるといえる。

（2）2010年までの世帯主率の設定

世帯主率対全国比の将来値は，47都道府県，男女，年齢５歳階級（15歳～19歳から85歳以上までの15区分），４つの家族類型および一般世帯総数それぞれについて，将来４時点にわたって設定する必要があり，膨大な数に上る。したがって，推計結果を評価する上でも，なるべく簡潔なルールによって，設定作業を行うことが望ましい。そこで以下の３つの方法を検討した。

第１の方法は，すべての家族類型・年齢階級で対全国比の乖離率（対全国比から１を引いた比率）の2010年の値が1990年の２分の１になるという仮定である。上述したように，男子の「その他の一般世帯」を除いては，各都道府県の世帯主率は全国に近づき，かつ各都道府県の差異が縮小する傾向にある。しかし，2010年に都道府県間の差異がゼロになる可能性はないに等しい。例えば，1985年から1990年の傾向を直線的に延長して得られる2010年の乖離率の対1990年比は，１を超えるものを除くと０から１の間に幅広く分布している。そこで一律に２分の１になるという仮定を置いた。

第２は，男子の「その他の一般世帯」の対全国比を1990年の水準で固定し，他の家族類型については第１と同じ方法を用いるというものである。全体に統一的なルールを適用するという原則に沿いながらも，その適用の合理性が十分でない「その他の一般世帯」のみを別扱いにする考え方である。

第３は，簡潔なルールを設けるという考え方をやや緩めて，乖離率の動向をいくつかに類型化し，それぞれに対応した将来値の設定方法を選択するというものである。1985年から1990年の乖離率の傾向を延長する形で将来値が設定される。

この３種類の方法によって家族類型別および一般世帯総数の将来対全国比を求め，さらに将来世帯主率を導いて，家族類型別世帯主率の合計値と一般世帯総数の世帯主率とを比較した結果，もっとも誤差の小さい延長方法は第２の方法であることが明らかになった。したがって，第２の方法によって求めた世帯主率を推計に用いることとした。

Ⅲ　推計結果の概要

1．一般世帯数と平均世帯人員の見通し

（1）一般世帯数の見通し

一般世帯総数の1990年から2010年の動向を都道府県別にみると，東京圏内の埼玉県，千葉県，神奈川県でそれぞれ65.5％，55.8％，44.9％という高い増加率になる。東京都は人口の伸びが小さいことを反映して5.4％と低い。中部では名古屋圏に属する愛知県，岐阜県，三重県，それに静岡県で高い増加率となっている。近畿では滋賀県，奈良県，兵庫県でそれぞれ46.2％，39.1％，23.5％と高いが，京都府，大阪府，和歌山県では低い。北海道はほとんど横ばいで推移する。東北では，宮城県，山形県，福島県が20％を超えるが，他の県では低い。中国では鳥取県，岡山県，広島県で10％台の増加率となるが，島根県，山口県では10％を下回る。四国で増加率が10％を上回るのは香川県，徳島県である。九州では福岡県，佐賀県，熊本県で増加率が10％を超えるが，他の県では10％を下回っており，特に鹿児島では1.0％という全国で最も低い増加率になる。なお，一般世帯数は1990年から2010年まで全ての都道府県で増加するが，この20年間を前半と後半に分けると，前半は全都道府県で増加するが，後半には６都道府県で減少に向かう（表２，図１）。

ブロック別では，関東，中部，及び沖縄で増加率が高い。1990年から2010年にかけて，関東では1360万世帯から1828万世帯へ34.4％の増加，中部では598万世帯から776万世帯へ29.6％の増加，沖縄では36万世帯から48万世帯へ33.2％の増加となる。そのほかの地域についてみると，東北では18.0％の増加，近畿では19.5％の増加，中国，四国，九州ではそれぞれ13.0％，9.1％，10.5％の増加を示すと見通される（表３）。

（2）平均世帯人員の見通し

1990年の平均世帯人員は，全国の2.99人に対し，東北日本，日本海側で高く，山形県の3.65人を筆頭に，富山県の3.53人，福井県の3.48人，新潟県の3.47人と続き，一方，大都市や北海道，西南日本では低く，東京都の2.47人を最小として，鹿児島県2.67人，北海道2.73人，高知県2.77人と続いている。2010年には，地域差は縮小し，全国の2.55人に対し，最大は滋賀県の2.87人，最小は東京都の2.24人になると見通される。規模の大きい県は，滋賀県に続いて，山形県2.79人，奈良県2.79人，佐賀県2.78人の順で，一方小さい県は，東京都に続いて，鹿児島県2.40人，高知県2.43人，神奈川県2.44人という順である（表４）。

2．家族類型別世帯数及び割合の見通し

（1）家族類型別世帯数の見通し

世帯数の今後の動向を家族類型別にみると，以下のようになっている（表５，６）。

「夫婦のみの世帯」は全都道府県で2010年まで増加し続け，中でも，埼玉県，千葉県，茨城県，滋賀県といった大都市圏およびその周辺県で大きい。これらを含めて47都道府県のうち15県が1990年から2010年の20年間で２倍以上に増加する。

「親と子から成る世帯」は，1980年から1990年にかけて17の道県で減少していたが，1990年から2010年の20年間では減少県は11道県と少なくなる。これは第２次ベビーブーム・コーホートが世帯

形成期に入ることと関連した動きであると考えられる。このため，同コーホートが多く分布する大都市圏での増加が大きく，最も高い増加率を示す埼玉県では20年間で42.5％に達する。

「単独世帯」は東京都を除く全ての道府県で増加する。2010年にかけての増加が最も大きいのは，奈良県，滋賀県，埼玉県，茨城県といった大都市圏およびその周辺県と，これまで単独世帯割合の小さかった富山県，山形県などである。これらの県はいずれも２倍以上に増加する。

「その他の一般世帯」は，2010年にかけて全ての都道府県で減少する。特に西南日本での減少率が高く，20年間で－40％台を示す県が多い。

（2）一般世帯の家族類型別割合の見通し

地域ブロック別，都道府県別の一般世帯の家族類型別割合の将来動向は以下のような特徴がある（表７，８）。

「夫婦のみの世帯」の割合は1990年には各地域が11～21％の間にあった。将来はこの割合がすべての地域で上昇する見通しである。特に，北海道，近畿，中国，四国，九州で他の地域に比べて高く，2010年には順に26.1％，22.7％，24.5％，24.7％，23.8％になる。

「親と子供から成る世帯」の割合を見ると，緩やかではあるが低下していくと見通される。各地域における割合は1990年には36～55％の間にあったが，2010年には36～44％の範囲へと最大値が低下する。割合が高いのは関東，中部の名古屋圏，近畿，沖縄で，2010年における割合はそれぞれ，42.6％，40.3％，40.6％，44.2％である。

「単独世帯」の割合はすべての地域で上昇傾向にあり，1990年には17～28％であったものが，2010年には25～30％の範囲に入ると見通される。北海道，関東，近畿，中国，四国，九州，沖縄では割合が高く，2010年にはそれぞれ30.8％，28.6％，29.0％，28.6％，29.1％，29.7％，28.9％となる。都道府県別にみると，1990年で単独世帯の割合が高いのは北海道，東京都，神奈川県，愛知県，京都府，大阪府，広島県，高知県，岡山県，鹿児島県であり，大都市圏や西南日本に属する都道府県である。2010年には，これらの都道府県に長崎県，熊本県，大分県，宮崎県，沖縄県といった九州の県が加わってくる。

「その他の一般世帯」の割合をみるとすべての地域で低下していく傾向にある。各地域における割合は，1990年には12～31％の範囲内にあったが，2010年は6～16％へと低下する。1990年から2010年にかけてその他の一般世帯の割合が比較的高い地域は東北，北関東，中部，中国，四国で，1990年はそれぞれ30.2％，24.2％，23.3％，20.2％，20.3％であったものが，2010年には15.4％，12.5％，12.5％，10.4％，10.2％になると見通される。

３．高齢世帯の見通し

（1）高齢世帯総数の見通し

高齢世帯数は，全都道府県で2010年まで増加し続けるが，2000年までの前10年の方が増加率が高い。都道府県別にみると，東京圏内の埼玉県，千葉県，神奈川県の増加率は200％を超える。また，名古屋圏，関西圏に含まれる愛知県，滋賀県，大阪府，奈良県で150％を超える増加となる。東北では宮城県が131.6％増加するが，他の県では84～105％の増加率となる。中国，四国，九州の各県では福岡県を除き100％未満の増加率となっている（表９，図２）。

地域ブロック別にみると，関東，中部，近畿，沖縄で増加率が高く，1990年から2010年の増加率は，関東では180万世帯から479万世帯へ165.7％の増加，中部では99万世帯から231万世帯へ134.1％の増加，近畿では105万世帯から247万世帯へ134.5％の増加，また沖縄でも143.9％の増加となる。一般世帯総数は横ばいで推移する見通しであった北海道でも高齢世帯は111.0％の増加，東北でも101.7％と100％を超える。中国，四国，九州では，それぞれ85.5％，77.8％，79.6％と100％を下回り，西南日本で増加率は低い（表10）。

高齢世帯の一般世帯数に占める割合（高齢世帯割合）の2010年の状態を都道府県別にみると，高い地域は西日本から日本海側，東北北部，北海道に分布し，低い地域は南東北から太平洋側に分布している（図3，表11）。地域ブロック別にみると，1990年時点で北陸，中国，四国，九州では既に20％を超えていたが，2010年になっても依然としてこれらの地域は高い水準を維持するとともに，東北で顕著な上昇がみられる（表12）。

（2）家族類型別の高齢世帯の見通し

高齢世帯の「夫婦のみの世帯」「単独世帯」「親と子供から成る世帯」は全都道府県で2010年まで増加する。「その他の一般世帯」だけは13都府県を除いて減少する。「夫婦のみの世帯」「単独世帯」の増加は大都市圏や東北日本で大きい傾向があるが、これは東北日本で強かった同居傾向が弱まるとみられるためである（表13，14）。

地域ブロック別，都道府県別の高齢世帯の家族類型別割合の将来動向は以下のような特徴がある（表15，16）。

各地域の高齢世帯全体に占める「夫婦のみの世帯」の割合は1990年には23～44％であったが，2010年には30～40％へと推移する見通しである。特に，北海道，東京圏，近畿，中国，四国，九州で割合が高い。北海道では，2010年の割合は40.7％と全国で最も高くなる。東京圏は他の地域と比べて高い割合で推移する見通しであり，近畿，中国，四国，九州といった西日本の地域では2010年には36％程度のレベルになる見通しである。都道府県別にみて2010年で最も高い割合を示すのは宮崎県41.4％，北海道40.7％，大分県40.3％などである。

「親と子供から成る世帯」の高齢世帯全体に占める割合は，全国については1980年から1990年にかけて低下した後，上昇する見通しである。地域別では北海道，関東，名古屋圏，近畿，中国，九州で全国と同じ動きをする。他の地域では1980年から1990年も上昇し，将来も上昇していく。ただし，沖縄だけは全く逆で，1980年から1990年にかけて上昇したが，将来は低下すると見通される。割合が高い地域は関東，近畿，沖縄であり，2010年で24.5％，21.5％，27.2％となっている。

「単独世帯」の高齢世帯全体に占める割合はすべての地域で上昇する見通しである。1990年の地域別の高齢単独世帯の割合はおおむね17～30％の範囲にあり，北海道，近畿，中国，四国，九州，沖縄では割合が高い地域であった。2010年にはすべての地域の割合は28～35％の間に入ることが見通される。特に，北海道，近畿，中国，四国，九州，沖縄では2010年でも割合が高く，それぞれ34.9％，33.8％，33.2％，35.2％，35.3％，34.0％となる。都道府県別にみて2010年で最も高い割合を示すのは鹿児島県40.9％，高知県38.9％，宮崎県36.6％などである（図4）。

「その他の一般世帯」が高齢世帯全体に占める割合は低下していく見通しである。1990年には東北，北関東，中部では他の地域と比較して高く，それぞれ42.5％，35.8％，38.0％であった。これ

が2010年にはそれぞれ17.9%，15.1%，16.6%へと大きく低下する。また，他の地域でも割合は低下すると見通され，2010年には5～10%と1990年の12～25%に比べてかなり低くなる。

4．世帯数増加の要因分析

(1) 一般世帯

以上でみてきた一般世帯数と高齢世帯数の将来の動きを人口の変化と世帯主率の変化とに要因分解を行なってみよう。

まず，一般世帯に関する分析結果をみると，東京圏と沖縄を除くすべての地域で世帯主率変化の方が人口の変化よりも高い。北海道，東北，中国，四国，九州では世帯主率変化の寄与率は100%を超えており，それぞれ，325.8%，107.4%，110.4%，149.8%，109.2%である。また，これらの地域の人口変化の寄与率はマイナスになっており，それぞれ-225.8%，-7.4%，-10.4%，-49.8%，-9.2%である（表17）。

また，都道府県別では，世帯主率変化の寄与率が100%を超えている都道府県は北海道，東北の日本海側，中国の日本海側，四国，福岡を除く九州に分布している。逆に人口変化の寄与率がプラスになっている都道府県は東北の南部，東京を除く関東，中部，和歌山県を除く近畿の府県と岡山県，広島県，福岡県である。

(2) 高齢世帯

高齢世帯では，すべての地域で世帯主率変化，人口変化がともに世帯数増加に寄与している。この両要因の寄与率を比較すると，人口変化の方が世帯主率変化よりもはるかに大きい。人口変化の寄与率は，すべての地域で60%を上回っており，特に，関東，近畿，沖縄ではそれぞれ，83.3%，82.7%，84.5%と80%を超えている。人口変化の寄与率が低い東北，北陸，四国でもそれぞれ，64.5%，67.9%，68.7%と高い（表17）。

都道府県別では，世帯主率変化の寄与率が50%を超える県はなく，山形県，福島県，島根県で40%を超えているだけである。東北，北関東，北陸，中国の日本海側，四国の太平洋側，九州などの県で世帯主率変化の寄与率が30%を超える。これに対して，人口変化の寄与率が70%を超える都道府県は北海道，関東，東海，近畿，中国の瀬戸内海側，四国，九州南部に分布している（図5）。

「都道府県別世帯数の将来推計」正誤表

小冊子「都道府県別世帯数の将来推計」に以下のような修正がございます。お手数ですが、修正の上ご利用下さい。（修正箇所は波線を引いたところです）

ページ、行	誤	正
6ページ 下から15行目	宮崎県41.4%，北海道40.7%，大分県40.3%	北海道40.7%、宮崎県38.8%、大分県38.2%

表1　世帯の家族類型・男女年齢5歳階級別世帯主率対全国比の都道府県平均及び分散

総数 男	平均 1980	平均 1985	平均 1990	分散 1980	分散 1985	分散 1990
15～19歳	0.80	0.83	0.84	0.34	0.31	0.30
20～24歳	0.82	0.86	0.90	0.22	0.20	0.19
25～29歳	0.87	0.88	0.89	0.18	0.18	0.16
30～34歳	0.92	0.91	0.91	0.13	0.15	0.16
35～39歳	0.95	0.94	0.94	0.08	0.11	0.12
40～44歳	0.97	0.97	0.96	0.06	0.06	0.08
45～49歳	0.99	0.98	0.98	0.03	0.04	0.04
50～54歳	0.99	0.99	0.99	0.01	0.02	0.02
55～59歳	1.00	1.00	0.99	0.01	0.01	0.01
60～64歳	1.00	0.99	0.99	0.03	0.03	0.02
65～69歳	0.99	0.99	0.99	0.04	0.04	0.04
70～74歳	0.98	0.99	0.98	0.07	0.06	0.06
75～79歳	0.96	0.98	0.98	0.13	0.09	0.07
80～84歳	0.94	0.95	0.97	0.17	0.14	0.11
85歳～	0.94	0.94	0.94	0.20	0.18	0.16

夫婦のみ 男	平均 1980	平均 1985	平均 1990	分散 1980	分散 1985	分散 1990
15～19歳	0.79	0.85	0.87	0.47	0.45	0.32
20～24歳	0.94	0.97	1.02	0.25	0.25	0.24
25～29歳	0.85	0.85	0.87	0.22	0.21	0.19
30～34歳	0.80	0.80	0.80	0.24	0.26	0.25
35～39歳	0.81	0.79	0.79	0.23	0.26	0.26
40～44歳	0.85	0.84	0.82	0.22	0.21	0.24
45～49歳	1.02	1.01	1.00	0.27	0.24	0.23
50～54歳	1.06	1.07	1.10	0.29	0.32	0.32
55～59歳	1.01	1.02	1.03	0.25	0.25	0.25
60～64歳	0.97	0.97	0.98	0.24	0.23	0.21
65～69歳	0.95	0.95	0.95	0.26	0.24	0.22
70～74歳	0.94	0.94	0.94	0.29	0.26	0.24
75～79歳	0.92	0.93	0.94	0.32	0.29	0.26
80～84歳	0.89	0.91	0.93	0.36	0.33	0.29
85歳～	0.89	0.88	0.89	0.38	0.33	0.31

親と子供 男	平均 1980	平均 1985	平均 1990	分散 1980	分散 1985	分散 1990
15～19歳	0.96	0.88	0.92	0.54	0.47	0.32
20～24歳	1.10	1.09	1.13	0.37	0.35	0.32
25～29歳	0.98	1.00	1.05	0.20	0.23	0.24
30～34歳	0.94	0.95	0.96	0.16	0.18	0.19
35～39歳	0.92	0.93	0.93	0.14	0.16	0.18
40～44歳	0.92	0.93	0.93	0.13	0.13	0.15
45～49歳	0.92	0.91	0.92	0.12	0.12	0.13
50～54歳	0.91	0.90	0.89	0.15	0.15	0.15
55～59歳	0.90	0.89	0.88	0.19	0.19	0.19
60～64歳	0.90	0.89	0.88	0.22	0.22	0.22
65～69歳	0.89	0.90	0.89	0.27	0.27	0.25
70～74歳	0.87	0.88	0.90	0.32	0.28	0.27
75～79歳	0.86	0.88	0.89	0.34	0.31	0.28
80～84歳	0.86	0.87	0.88	0.35	0.30	0.29
85歳～	0.86	0.85	0.85	0.38	0.33	0.29

単独 男	平均 1980	平均 1985	平均 1990	分散 1980	分散 1985	分散 1990
15～19歳	0.80	0.83	0.84	0.35	0.32	0.31
20～24歳	0.78	0.82	0.87	0.26	0.24	0.22
25～29歳	0.73	0.75	0.76	0.30	0.27	0.24
30～34歳	0.69	0.71	0.73	0.33	0.33	0.30
35～39歳	0.71	0.72	0.74	0.32	0.32	0.31
40～44歳	0.78	0.78	0.78	0.28	0.27	0.27
45～49歳	0.86	0.85	0.84	0.23	0.23	0.21
50～54歳	0.90	0.88	0.87	0.22	0.21	0.20
55～59歳	0.86	0.87	0.86	0.27	0.24	0.21
60～64歳	0.87	0.85	0.86	0.28	0.28	0.27
65～69歳	0.91	0.90	0.88	0.32	0.29	0.27
70～74歳	0.93	0.93	0.91	0.34	0.30	0.27
75～79歳	0.92	0.93	0.93	0.38	0.34	0.29
80～84歳	0.90	0.93	0.93	0.38	0.38	0.32
85歳～	0.90	0.90	0.90	0.40	0.40	0.36

その他の一般 男	平均 1980	平均 1985	平均 1990	分散 1980	分散 1985	分散 1990
15～19歳	0.82	0.88	0.90	0.43	0.46	0.41
20～24歳	0.84	0.87	0.84	0.27	0.29	0.26
25～29歳	1.09	1.06	1.05	0.16	0.15	0.13
30～34歳	1.17	1.16	1.18	0.22	0.23	0.25
35～39歳	1.20	1.19	1.19	0.25	0.25	0.28
40～44歳	1.22	1.21	1.20	0.27	0.27	0.29
45～49歳	1.18	1.22	1.22	0.26	0.29	0.30
50～54歳	1.14	1.19	1.24	0.27	0.29	0.33
55～59歳	1.14	1.15	1.21	0.30	0.31	0.36
60～64歳	1.12	1.13	1.16	0.33	0.34	0.37
65～69歳	1.11	1.11	1.14	0.37	0.37	0.40
70～74歳	1.08	1.10	1.11	0.37	0.39	0.41
75～79歳	1.05	1.07	1.09	0.36	0.39	0.42
80～84歳	1.04	1.04	1.06	0.36	0.38	0.43
85歳～	1.02	1.04	1.04	0.37	0.42	0.40

総数 女	平均 1980	平均 1985	平均 1990	分散 1980	分散 1985	分散 1990
15～19歳	0.92	0.95	0.93	0.31	0.32	0.32
20～24歳	0.81	0.85	0.89	0.31	0.30	0.30
25～29歳	0.80	0.80	0.81	0.34	0.35	0.32
30～34歳	0.90	0.87	0.84	0.29	0.31	0.31
35～39歳	0.96	0.95	0.93	0.23	0.26	0.27
40～44歳	0.97	0.98	0.98	0.18	0.20	0.23
45～49歳	0.96	0.97	0.99	0.17	0.17	0.18
50～54歳	0.96	0.95	0.97	0.18	0.16	0.16
55～59歳	0.97	0.94	0.95	0.18	0.19	0.17
60～64歳	0.98	0.96	0.94	0.22	0.21	0.20
65～69歳	0.97	0.97	0.95	0.27	0.25	0.23
70～74歳	0.96	0.97	0.96	0.30	0.29	0.26
75～79歳	0.95	0.95	0.96	0.37	0.32	0.29
80～84歳	0.93	0.94	0.94	0.41	0.37	0.33
85歳～	0.93	0.92	0.91	0.42	0.42	0.37

単独 女	平均 1980	平均 1985	平均 1990	分散 1980	分散 1985	分散 1990
15～19歳	0.91	0.95	0.92	0.31	0.32	0.33
20～24歳	0.81	0.85	0.89	0.31	0.30	0.30
25～29歳	0.76	0.78	0.79	0.37	0.37	0.34
30～34歳	0.77	0.76	0.75	0.37	0.39	0.38
35～39歳	0.81	0.81	0.78	0.32	0.35	0.36
40～44歳	0.85	0.87	0.85	0.27	0.29	0.29
45～49歳	0.91	0.93	0.95	0.26	0.25	0.27
50～54歳	0.93	0.94	0.97	0.26	0.25	0.25
55～59歳	0.95	0.92	0.94	0.27	0.27	0.24
60～64歳	0.97	0.95	0.92	0.32	0.28	0.26
65～69歳	0.97	0.96	0.94	0.37	0.32	0.28
70～74歳	0.96	0.96	0.96	0.39	0.37	0.32
75～79歳	0.96	0.95	0.96	0.45	0.39	0.35
80～84歳	0.93	0.95	0.95	0.49	0.45	0.39
85歳～	0.94	0.92	0.92	0.51	0.50	0.43

表２　都道府県別一般世帯数の推移（1980～2010年）

（単位：1000世帯，%）

都道府県	世帯数				増加率			
	1980年	1990年	2000年	2010年	1980↓1990	1990↓2000	2000↓2010	1990↓2010
全国	35,821	40,670	46,145	50,181	13.5	13.5	8.7	23.4
北海道	1,824	2,015	2,071	2,062	10.5	2.8	-0.4	2.3
青森	427	453	470	470	6.3	3.7	-0.1	3.6
岩手	396	426	456	472	7.7	7.0	3.4	10.6
宮城	598	692	796	878	15.9	14.9	10.3	26.8
秋田	342	358	384	393	4.5	7.3	2.3	9.8
山形	324	341	385	413	5.0	12.9	7.4	21.3
福島	549	604	681	744	9.9	12.8	9.2	23.2
茨城	690	830	1,004	1,169	20.2	21.0	16.5	40.9
栃木	487	571	688	798	17.3	20.4	15.9	39.6
群馬	514	600	705	794	16.8	17.5	12.6	32.2
埼玉	1,578	2,028	2,685	3,356	28.5	32.4	25.0	65.5
千葉	1,413	1,797	2,307	2,800	27.2	28.3	21.4	55.8
東京	4,282	4,694	4,978	4,945	9.6	6.0	-0.7	5.4
神奈川	2,241	2,818	3,506	4,083	25.7	24.4	16.5	44.9
新潟	654	705	796	856	7.7	12.9	7.6	21.4
富山	290	312	361	397	7.8	15.5	9.9	27.0
石川	321	359	402	433	11.8	12.2	7.7	20.8
福井	212	233	268	296	9.9	15.2	10.4	27.2
山梨	227	262	301	335	15.4	14.8	11.4	27.9
長野	588	655	742	808	11.5	13.3	8.9	23.3
岐阜	539	601	697	779	11.6	16.0	11.7	29.6
静岡	966	1,115	1,314	1,487	15.5	17.9	13.1	33.3
愛知	1,872	2,161	2,544	2,852	15.4	17.7	12.1	32.0
三重	478	545	628	702	14.0	15.2	11.8	28.8
滋賀	293	351	431	513	19.7	22.8	19.1	46.2
京都	825	894	972	1,009	8.3	8.7	3.9	12.9
大阪	2,754	3,040	3,350	3,477	10.4	10.2	3.8	14.4
兵庫	1,583	1,775	2,015	2,193	12.1	13.5	8.8	23.5
奈良	339	411	494	572	21.4	20.1	15.8	39.1
和歌山	327	344	368	379	5.2	6.9	3.1	10.2
鳥取	169	179	198	210	6.3	10.3	6.5	17.5
島根	226	235	249	253	3.9	5.9	1.8	7.8
岡山	559	608	667	708	8.7	9.7	6.2	16.6
広島	875	974	1,072	1,132	11.3	10.0	5.6	16.2
山口	497	535	556	555	7.5	4.1	-0.3	3.8
徳島	239	258	278	289	8.2	7.5	3.9	11.8
香川	293	321	353	375	9.7	9.9	6.1	16.6
愛媛	469	511	537	546	9.0	5.1	1.6	6.8
高知	274	289	298	296	5.2	3.3	-0.8	2.5
福岡	1,425	1,624	1,788	1,894	13.9	10.1	5.9	16.6
佐賀	233	250	276	294	7.3	10.3	6.4	17.4
長崎	468	502	520	521	7.2	3.6	0.2	3.8
熊本	523	575	618	645	9.9	7.5	4.4	12.2
大分	379	409	429	436	8.0	4.8	1.6	6.5
宮崎	357	391	410	419	9.4	5.0	2.1	7.1
鹿児島	606	657	671	663	8.4	2.2	-1.2	1.0
沖縄	297	363	427	484	22.3	17.7	13.1	33.2

注：1980年，90年は世帯主年齢15歳未満の世帯数を含む実績値
　　2000年，10年は推計値

表３　地域ブロック別一般世帯数の推移（1980～2010年）

（単位：1000世帯，％）

地　域	世帯数				増加率			
	1980年	1990年	2000年	2010年	1980↓1990	1990↓2000	2000↓2010	1990↓2010
全　国	35,821	40,670	46,145	50,181	13.5	13.5	8.7	23.4
北海道	1,824	2,015	2,071	2,062	10.5	2.8	-0.4	2.3
東　北	3,290	3,579	3,967	4,224	8.8	10.9	6.5	18.0
関　東	11,433	13,600	16,172	18,279	19.0	18.9	13.0	34.4
北関東	1,919	2,263	2,698	3,095	18.0	19.2	14.7	36.8
東京圏	9,514	11,337	13,475	15,183	19.2	18.9	12.7	33.9
中　部	5,264	5,981	6,957	7,754	13.6	16.3	11.4	29.6
名古屋圏	2,889	3,307	3,869	4,332	14.5	17.0	12.0	31.0
北　陸	822	904	1,032	1,126	9.9	14.1	9.2	24.6
近　畿	6,121	6,814	7,629	8,143	11.3	12.0	6.7	19.5
関西圏	5,501	6,120	6,830	7,251	11.2	11.6	6.2	18.5
中　国	2,326	2,530	2,741	2,859	8.8	8.3	4.3	13.0
四　国	1,275	1,379	1,466	1,505	8.2	6.3	2.7	9.1
九　州	3,992	4,408	4,713	4,872	10.4	6.9	3.4	10.5
沖　縄	297	363	427	484	22.3	17.7	13.1	33.2

注：地域区分は以下の通りである
北海道：北海道
東北：青森，岩手，宮城，秋田，山形，福島，新潟
関東：茨城，栃木，群馬，埼玉，千葉，東京，神奈川，山梨
北関東：茨城，栃木，群馬，山梨
東京圏：埼玉，千葉，東京，神奈川
中部：富山，石川，福井，長野，岐阜，静岡，愛知，三重
北　陸：富山，石川，福井
名古屋圏：岐阜，愛知，三重
近畿：滋賀，京都，大阪，兵庫，奈良，和歌山
関西圏：京都，大阪，兵庫，奈良
中国：鳥取，島根，岡山，広島，山口
四国：徳島，香川，愛媛，高知
九州：福岡，佐賀，長崎，熊本，大分，宮崎，鹿児島
沖縄：沖縄

図１　一般世帯数増加率（1990～2010年）

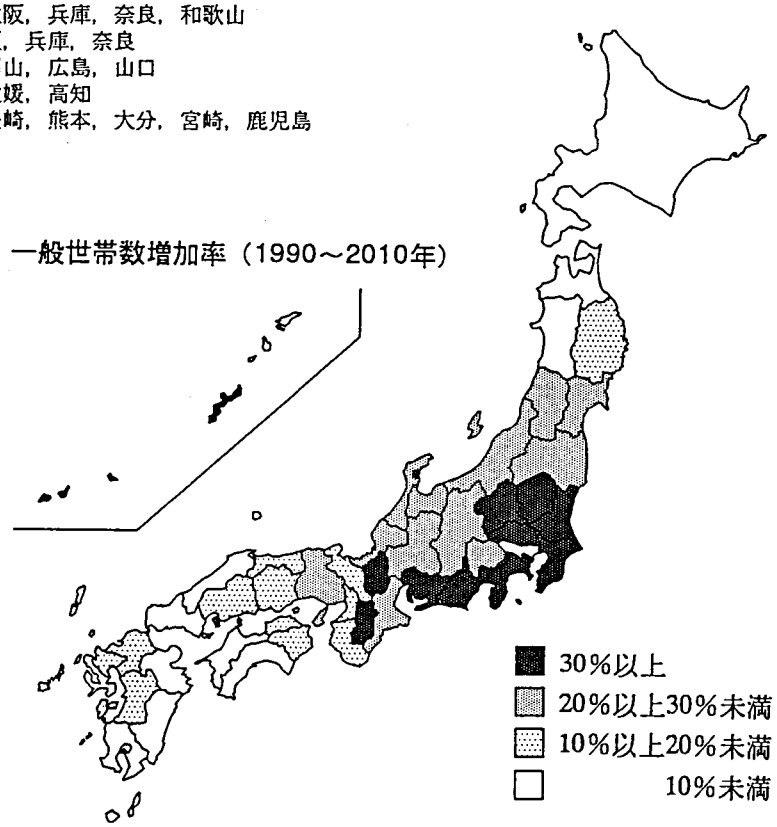


表４　都道府県別平均世帯人員の推移（1990～2010年）

都道府県	平均世帯人員				
	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年
全　国	2.99	2.84	2.72	2.63	2.55
北海道	2.73	2.65	2.59	2.55	2.51
青　森	3.20	3.02	2.87	2.75	2.65
岩　手	3.27	3.09	2.93	2.81	2.71
宮　城	3.20	3.04	2.91	2.81	2.73
秋　田	3.37	3.14	2.94	2.78	2.64
山　形	3.65	3.37	3.13	2.94	2.79
福　島	3.44	3.23	3.05	2.90	2.77
茨　城	3.39	3.18	3.00	2.87	2.75
栃　木	3.35	3.13	2.94	2.80	2.68
群　馬	3.24	3.03	2.86	2.73	2.62
埼　玉	3.12	2.95	2.80	2.71	2.62
千　葉	3.05	2.89	2.75	2.66	2.58
東　京	2.47	2.39	2.32	2.28	2.24
神奈川	2.80	2.67	2.57	2.50	2.44
新　潟	3.47	3.22	3.01	2.86	2.74
富　山	3.53	3.25	3.03	2.85	2.70
石　川	3.18	3.00	2.87	2.77	2.67
福　井	3.48	3.23	3.02	2.85	2.71
山　梨	3.20	3.03	2.88	2.76	2.65
長　野	3.25	3.06	2.90	2.78	2.68
岐　阜	3.40	3.18	3.00	2.86	2.72
静　岡	3.25	3.05	2.87	2.74	2.62
愛　知	3.06	2.90	2.76	2.67	2.57
三　重	3.25	3.07	2.92	2.80	2.68
滋　賀	3.45	3.27	3.10	2.98	2.87
京　都	2.86	2.74	2.65	2.59	2.54
大　阪	2.83	2.69	2.59	2.53	2.48
兵　庫	3.00	2.87	2.76	2.68	2.62
奈　良	3.29	3.13	2.99	2.88	2.79
和歌山	3.08	2.92	2.79	2.68	2.60
鳥　取	3.38	3.18	3.00	2.87	2.76
島　根	3.26	3.07	2.92	2.80	2.72
岡　山	3.11	2.96	2.83	2.73	2.65
広　島	2.87	2.74	2.65	2.58	2.53
山　口	2.88	2.73	2.62	2.54	2.48
徳　島	3.14	2.98	2.84	2.73	2.63
香　川	3.12	2.95	2.80	2.69	2.59
愛　媛	2.91	2.79	2.67	2.59	2.53
高　知	2.77	2.65	2.55	2.48	2.43
福　岡	2.89	2.78	2.69	2.63	2.58
佐　賀	3.43	3.22	3.03	2.89	2.78
長　崎	3.03	2.89	2.77	2.68	2.61
熊　本	3.12	2.98	2.84	2.74	2.65
大　分	2.96	2.83	2.71	2.62	2.55
宮　崎	2.93	2.81	2.69	2.61	2.55
鹿児島	2.67	2.58	2.49	2.44	2.40
沖　縄	3.28	3.11	2.96	2.85	2.75

表５　都道府県別・家族類型別世帯数の推移［夫婦のみの世帯］（1980～2010年）

（単位：1000世帯，％）

都道府県	世帯数				増加率			
	1980年	1990年	2000年	2010年	1980↓1990	1990↓2000	2000↓2010	1990↓2010
全国	4,465	6,294	9,065	11,190	41.0	44.0	23.4	77.8
北海道	306	422	508	538	38.1	20.3	5.9	27.5
青森	47	68	90	104	43.6	32.2	15.6	52.9
岩手	45	63	87	105	41.2	37.0	20.4	64.9
宮城	60	90	137	181	48.2	52.6	32.7	102.5
秋田	39	56	76	90	45.3	35.3	17.8	59.4
山形	32	43	67	87	33.9	54.1	30.2	100.6
福島	63	86	126	161	36.1	45.8	28.3	87.0
茨城	69	106	174	244	53.7	64.4	40.1	130.4
栃木	50	74	118	163	48.3	59.7	38.0	120.4
群馬	59	89	134	174	50.9	50.7	30.0	95.9
埼玉	152	256	471	683	68.8	84.3	44.9	167.0
千葉	150	240	420	592	59.6	74.9	41.0	146.5
東京	505	666	922	1,072	31.8	38.5	16.3	61.0
神奈川	254	402	661	873	58.5	64.4	32.1	117.2
新潟	70	97	145	185	39.1	48.7	27.9	90.1
富山	32	43	66	86	36.2	54.5	29.6	100.2
石川	37	51	75	95	37.5	47.1	26.4	86.0
福井	23	31	48	63	35.6	54.0	31.3	102.2
山梨	29	40	58	73	38.2	44.5	26.4	82.6
長野	77	107	151	185	38.7	41.0	22.3	72.4
岐阜	59	85	131	171	44.5	55.0	30.1	101.6
静岡	101	154	241	319	52.9	56.3	32.4	107.0
愛知	196	292	467	610	49.4	59.6	30.7	108.7
三重	62	89	130	162	43.8	45.3	24.5	80.9
滋賀	29	44	74	105	53.0	67.8	42.1	138.4
京都	102	134	190	230	30.9	42.5	20.9	72.3
大阪	334	463	666	786	38.8	43.8	18.0	69.6
兵庫	211	296	420	508	40.2	41.9	20.9	71.6
奈良	38	61	97	129	59.5	58.7	32.5	110.3
和歌山	49	65	83	93	33.6	28.3	11.5	43.0
鳥取	22	28	38	47	28.7	38.4	22.2	69.1
島根	35	43	55	62	22.8	28.1	12.4	43.9
岡山	82	108	145	170	32.0	34.6	16.9	57.4
広島	136	181	240	277	32.8	32.7	15.4	53.1
山口	84	112	136	145	33.4	21.6	6.3	29.3
徳島	33	45	59	69	35.7	31.2	15.8	51.9
香川	43	58	77	90	33.9	33.2	16.6	55.3
愛媛	77	102	126	138	32.9	23.5	9.5	35.2
高知	48	57	69	74	20.0	20.6	7.1	29.1
福岡	190	261	354	425	37.3	35.8	20.0	63.0
佐賀	28	37	52	64	30.6	39.7	23.5	72.5
長崎	67	92	113	124	36.6	23.1	10.3	35.8
熊本	75	100	130	152	34.4	30.1	16.7	51.8
大分	62	81	100	111	30.5	23.9	10.2	36.6
宮崎	60	81	99	109	36.2	21.8	9.8	33.8
鹿児島	116	150	169	175	29.5	12.3	3.5	16.2
沖縄	28	42	67	92	52.0	58.6	37.8	118.6

注：1980年，90年は世帯主年齢15歳未満の世帯数を含む実績値
　　2000年，10年は推計値

表５　都道府県別・家族類型別世帯数の推移［親と子供から成る世帯］（1980～2010年）

（単位：1000世帯，％）

都道府県	世帯数				増加率			
	1980年	1990年	2000年	2010年	1980↓1990	1990↓2000	2000↓2010	1990↓2010
全国	17,139	17,924	18,885	20,062	4.6	5.4	6.2	11.9
北海道	883	857	794	762	-2.9	-7.4	-4.0	-11.1
青森	195	185	178	170	-5.6	-3.5	-4.5	-7.8
岩手	161	154	161	167	-4.5	4.9	3.7	8.7
宮城	265	278	306	337	4.9	9.8	10.3	21.0
秋田	136	122	129	133	-9.8	5.7	3.0	8.9
山形	119	110	129	143	-7.4	16.7	10.7	29.1
福島	231	229	253	277	-0.6	10.4	9.4	20.7
茨城	334	378	427	484	13.2	13.1	13.1	27.9
栃木	229	247	283	324	7.8	14.4	14.8	31.3
群馬	253	269	295	322	6.6	9.4	9.3	19.6
埼玉	920	1,091	1,296	1,555	18.6	18.7	20.0	42.5
千葉	768	905	1,047	1,236	17.8	15.7	18.1	36.6
東京	1,914	1,928	1,959	1,934	0.7	1.6	-1.3	0.3
神奈川	1,214	1,369	1,564	1,795	12.8	14.2	14.7	31.0
新潟	267	259	286	309	-2.9	10.5	8.0	19.3
富山	115	116	130	144	0.8	12.4	10.8	24.5
石川	128	133	143	157	3.5	8.2	9.3	18.3
福井	84	84	95	106	-0.3	13.5	11.6	26.7
山梨	104	111	122	134	6.5	10.1	9.8	20.8
長野	246	250	273	301	1.6	9.3	10.2	20.4
岐阜	246	251	273	300	1.9	9.0	9.6	19.5
静岡	467	483	532	589	3.4	10.1	10.7	22.0
愛知	944	996	1,079	1,174	5.5	8.4	8.7	17.8
三重	214	228	246	271	6.1	8.1	10.1	19.0
滋賀	137	156	179	209	13.9	15.0	16.4	33.9
京都	370	391	392	394	5.7	0.1	0.5	0.7
大阪	1,482	1,514	1,486	1,440	2.2	-1.9	-3.1	-4.9
兵庫	809	845	864	889	4.4	2.2	2.9	5.1
奈良	175	202	218	237	15.8	7.7	8.7	17.1
和歌山	152	147	143	141	-3.2	-2.6	-1.6	-4.1
鳥取	67	64	70	75	-3.2	7.9	7.2	15.7
島根	81	77	81	84	-4.2	4.4	3.8	8.3
岡山	236	243	248	260	3.0	2.0	4.9	7.0
広島	404	415	415	428	2.6	0.2	3.1	3.3
山口	220	213	201	195	-3.4	-5.5	-2.9	-8.2
徳島	96	97	100	102	0.9	2.4	2.7	5.2
香川	127	129	131	138	1.1	2.1	5.0	7.3
愛媛	209	210	202	199	0.5	-3.7	-1.6	-5.3
高知	116	114	107	104	-1.9	-5.9	-3.7	-9.3
福岡	698	725	728	743	3.8	0.4	2.0	2.5
佐賀	101	101	106	110	-0.3	5.4	3.7	9.4
長崎	226	218	207	196	-3.5	-5.2	-5.0	-9.9
熊本	224	226	230	235	1.2	1.8	1.9	3.8
大分	157	158	154	155	0.8	-2.4	0.3	-2.1
宮崎	170	169	159	154	-0.8	-5.7	-2.8	-8.3
鹿児島	278	276	255	239	-0.6	-7.9	-6.3	-13.7
沖縄	165	200	208	214	21.1	3.8	2.9	6.7

注：1980年，90年は世帯主年齢15歳未満の世帯数を含む実績値
　　2000年，10年は推計値

表５　都道府県別・家族類型別世帯数の推移［単独世帯］（1980～2010年）

（単位：1000世帯，％）

都道府県	世帯数				増加率			
	1980年	1990年	2000年	2010年	1980↓1990	1990↓2000	2000↓2010	1990↓2010
全国	7,097	9,390	12,182	14,244	32.3	29.7	16.9	51.7
北海道	376	493	585	634	31.2	18.7	8.4	28.7
青森	68	85	111	131	24.9	30.5	18.0	54.0
岩手	65	84	110	130	29.5	30.5	18.3	54.4
宮城	115	159	209	246	38.3	31.7	17.6	54.8
秋田	44	57	82	102	28.3	43.4	24.6	78.6
山形	39	50	78	103	28.1	55.7	32.3	106.0
福島	81	106	155	197	31.9	45.4	27.2	84.9
茨城	94	141	221	295	51.2	56.5	33.3	108.7
栃木	69	105	158	205	51.2	51.2	29.5	95.7
群馬	67	107	157	202	58.3	47.6	28.2	89.2
埼玉	249	399	628	846	59.9	57.6	34.7	112.3
千葉	245	386	581	742	57.3	50.6	27.6	92.1
東京	1,411	1,687	1,749	1,676	19.6	3.7	-4.2	-0.7
神奈川	501	758	1,005	1,171	51.4	32.6	16.5	54.4
新潟	85	115	169	216	34.8	47.4	27.6	88.0
富山	33	45	72	97	37.1	61.4	34.3	116.7
石川	59	80	104	120	34.7	29.5	16.1	50.3
福井	27	40	59	77	45.0	49.1	29.5	93.0
山梨	33	50	70	89	51.8	39.9	27.1	77.9
長野	84	120	169	210	41.8	41.2	24.3	75.5
岐阜	76	100	148	195	30.3	48.4	31.6	95.3
静岡	146	214	305	387	46.0	42.8	26.8	81.0
愛知	380	505	659	784	32.8	30.6	19.1	55.5
三重	67	95	140	183	41.2	47.9	31.0	93.7
滋賀	40	58	94	130	44.8	61.8	38.2	123.7
京都	207	236	281	304	14.1	18.9	8.4	28.9
大阪	602	748	937	1,053	24.3	25.3	12.4	40.8
兵庫	285	366	508	624	28.4	38.7	22.8	70.4
奈良	44	63	104	146	41.8	64.3	40.8	131.2
和歌山	51	61	87	107	20.2	42.6	23.4	75.9
鳥取	24	31	45	57	25.0	46.6	26.1	84.9
島根	36	43	59	71	17.5	38.1	20.2	65.9
岡山	97	120	163	196	23.4	35.6	20.6	63.5
広島	175	228	291	331	30.0	27.6	13.8	45.1
山口	88	115	146	164	30.8	27.0	12.1	42.3
徳島	38	49	67	81	30.5	36.0	21.0	64.5
香川	44	60	84	102	35.4	40.9	21.7	71.5
愛媛	84	108	139	160	28.5	28.5	15.0	47.9
高知	58	69	86	94	19.9	23.6	9.6	35.6
福岡	287	394	501	570	37.1	27.3	13.7	44.7
佐賀	32	41	60	77	27.9	47.0	28.2	88.4
長崎	80	102	132	153	28.0	29.1	15.9	49.6
熊本	91	117	154	184	28.8	31.8	19.7	57.7
大分	71	88	112	127	24.0	27.0	13.7	44.4
宮崎	63	80	106	123	27.9	32.0	16.4	53.6
鹿児島	133	165	198	215	23.8	20.0	8.9	30.6
沖縄	50	70	107	140	41.0	51.9	31.0	99.0

注：1980年，90年は世帯主年齢15歳未満の世帯数を含む実績値
　　2000年，10年は推計値

表５　都道府県別・家族類型別世帯数の推移［その他の一般世帯］（1980～2010年）

（単位：1000世帯，％）

都道府県	世帯数				増加率			
	1980年	1990年	2000年	2010年	1980↓1990	1990↓2000	2000↓2010	1990↓2010
全国	7,121	7,063	6,013	4,685	-0.8	-14.9	-22.1	-33.7
北海道	260	243	185	128	-6.5	-24.0	-30.6	-47.3
青森	116	116	91	65	0.1	-21.0	-29.2	-44.1
岩手	125	125	98	70	0.0	-21.4	-29.0	-44.2
宮城	157	166	144	114	5.6	-12.9	-21.3	-31.4
秋田	123	122	96	68	-1.1	-20.8	-29.9	-44.5
山形	133	137	111	80	2.5	-18.7	-27.6	-41.2
福島	175	182	147	109	4.1	-18.9	-26.0	-40.0
茨城	194	204	181	146	5.4	-11.5	-19.1	-28.4
栃木	139	146	129	105	4.9	-11.5	-18.4	-27.8
群馬	135	135	119	96	0.5	-12.0	-19.8	-29.4
埼玉	257	282	289	272	9.9	2.4	-5.9	-3.6
千葉	249	267	259	230	7.1	-2.8	-11.2	-13.7
東京	452	413	347	263	-8.7	-15.9	-24.2	-36.3
神奈川	272	288	275	244	5.9	-4.4	-11.5	-15.5
新潟	232	234	196	146	0.6	-16.3	-25.4	-37.6
富山	111	109	92	70	-1.5	-15.3	-24.4	-35.9
石川	96	95	80	61	-1.3	-15.6	-23.8	-35.7
福井	78	78	66	51	0.9	-15.4	-23.4	-35.2
山梨	61	62	52	40	0.3	-16.1	-22.8	-35.2
長野	180	178	149	112	-0.7	-16.6	-24.5	-37.0
岐阜	157	166	145	114	5.5	-12.9	-21.4	-31.5
静岡	251	264	236	191	5.1	-10.6	-19.0	-27.6
愛知	352	368	339	284	4.4	-7.7	-16.2	-22.7
三重	134	133	112	86	-0.6	-16.0	-23.1	-35.4
滋賀	87	93	83	69	6.1	-9.9	-17.4	-25.5
京都	146	133	109	81	-9.0	-18.1	-25.4	-38.9
大阪	336	314	260	198	-6.5	-17.0	-24.1	-37.0
兵庫	278	268	224	172	-3.5	-16.4	-23.0	-35.6
奈良	81	85	75	61	4.2	-11.2	-19.2	-28.3
和歌山	76	71	55	38	-6.0	-23.4	-29.8	-46.2
鳥取	56	56	45	32	0.7	-20.5	-27.7	-42.5
島根	74	72	54	37	-2.8	-24.9	-32.3	-49.1
岡山	144	137	111	82	-5.1	-18.9	-25.8	-39.8
広島	159	151	126	96	-5.3	-16.5	-23.8	-36.4
山口	105	95	73	51	-10.1	-23.1	-30.3	-46.4
徳島	71	66	52	37	-6.5	-22.1	-29.3	-44.9
香川	79	75	61	45	-4.3	-19.4	-26.6	-40.8
愛媛	98	90	70	49	-8.1	-23.1	-30.0	-46.2
高知	52	47	35	24	-8.9	-25.5	-32.7	-49.8
福岡	250	244	205	157	-2.1	-16.3	-23.5	-35.9
佐賀	72	72	58	43	-0.3	-18.9	-26.5	-40.4
長崎	96	90	68	47	-5.7	-24.0	-30.6	-47.3
熊本	135	132	104	75	-2.0	-21.3	-28.4	-43.6
大分	89	82	63	43	-7.9	-23.8	-30.6	-47.1
宮崎	65	61	47	33	-6.4	-23.4	-30.4	-46.7
鹿児島	78	65	50	35	-16.7	-23.6	-30.6	-47.0
沖縄	54	50	46	38	-6.6	-8.5	-17.7	-24.7

注：1980年，90年は世帯主年齢15歳未満の世帯数を含む実績値
　　2000年，10年は推計値

表６　地域ブロック別・家族類型別世帯数の推移［夫婦のみの世帯］（1980～2010年）

（単位：1000世帯，％）

地　域	世　帯　数				増　加　率			
	1980年	1990年	2000年	2010年	80→90	90→00	00→10	90→10
全　国	4,465	6,294	9,065	11,190	41.0	44.0	23.4	77.8
北海道	306	422	508	538	38.1	20.3	5.9	27.5
東　北	357	504	727	913	41.2	44.2	25.6	81.1
関　東	1,267	1,872	2,958	3,874	47.8	58.0	31.0	106.9
北関東	207	309	484	655	49.4	56.7	35.2	111.9
東京圏	1,061	1,564	2,474	3,220	47.4	58.2	30.1	105.9
中　部	586	853	1,310	1,690	45.5	53.5	29.1	98.2
名古屋圏	316	466	728	942	47.4	56.1	29.5	102.1
北　陸	92	125	189	244	36.6	51.4	28.8	94.9
近　畿	763	1,063	1,531	1,851	39.4	44.0	20.9	74.1
関西圏	685	954	1,374	1,653	39.2	44.0	20.3	73.2
中　国	358	471	615	700	31.6	30.4	13.9	48.5
四　国	201	263	332	371	30.5	26.3	11.8	41.2
九　州	598	802	1,017	1,159	34.2	26.8	14.0	44.5
沖　縄	28	42	67	92	52.0	58.6	37.8	118.6

表６　地域ブロック別・家族類型別世帯数の推移［親と子供から成る世帯］（1980～2010年）

（単位：1000世帯，％）

地　域	世　帯　数				増　加　率			
	1980年	1990年	2000年	2010年	80→90	90→00	00→10	90→10
全　国	17,139	17,924	18,885	20,062	4.6	5.4	6.2	11.9
北海道	883	857	794	762	-2.9	-7.4	-4.0	-11.1
東　北	1,374	1,338	1,443	1,536	-2.6	7.8	6.5	14.8
関　東	5,737	6,299	6,993	7,784	9.8	11.0	11.3	23.6
北関東	920	1,006	1,127	1,264	9.2	12.1	12.2	25.7
東京圏	4,817	5,294	5,866	6,520	9.9	10.8	11.2	23.2
中　部	2,445	2,540	2,773	3,042	3.9	9.2	9.7	19.8
名古屋圏	1,405	1,474	1,599	1,744	4.9	8.4	9.1	18.3
北　陸	327	332	369	407	1.6	11.0	10.4	22.6
近　畿	3,125	3,256	3,282	3,309	4.2	0.8	0.8	1.6
関西圏	2,836	2,953	2,959	2,959	4.1	0.2	0.0	0.2
中　国	1,007	1,012	1,014	1,042	0.5	0.2	2.7	3.0
四　国	549	550	540	543	0.2	-1.7	0.4	-1.3
九　州	1,853	1,872	1,839	1,831	1.0	-1.8	-0.4	-2.2
沖　縄	165	200	208	214	21.1	3.8	2.9	6.7

表６　地域ブロック別・家族類型別世帯数の推移［単独世帯］（1980～2010年）

（単位：1000世帯，％）

地　域	世　帯　数				増　加　率			
	1980年	1990年	2000年	2010年	80→90	90→00	00→10	90→10
全　国	7,097	9,390	12,182	14,244	32.3	29.7	16.9	51.7
北海道	376	493	585	634	31.2	18.7	8.4	28.7
東　北	497	656	913	1,124	32.0	39.2	23.1	71.3
関　東	2,670	3,632	4,570	5,225	36.1	25.8	14.3	43.8
北関東	263	402	606	790	53.1	50.7	30.3	96.4
東京圏	2,407	3,230	3,964	4,435	34.2	22.7	11.9	37.3
中　部	873	1,197	1,655	2,053	37.0	38.4	24.0	71.6
名古屋圏	523	699	947	1,162	33.5	35.5	22.8	66.3
北　陸	119	164	235	294	37.7	42.9	25.0	78.6
近　畿	1,229	1,532	2,010	2,364	24.7	31.2	17.6	54.3
関西圏	1,138	1,413	1,829	2,127	24.1	29.4	16.3	50.5
中　国	422	537	704	819	27.3	31.2	16.3	52.6
四　国	224	287	376	437	27.9	31.2	16.4	52.7
九　州	757	987	1,262	1,449	30.4	27.9	14.8	46.9
沖　縄	50	70	107	140	41.0	51.9	31.0	99.0

表６　地域ブロック別・家族類型別世帯数の推移［その他の一般世帯］（1980～2010年）

（単位：1000世帯，％）

地　域	世　帯　数				増　加　率			
	1980年	1990年	2000年	2010年	80→90	90→00	00→10	90→10
全　国	7,121	7,063	6,013	4,685	-0.8	-14.9	-22.1	-33.7
北海道	260	243	185	128	-6.5	-24.0	-30.6	-47.3
東　北	1,061	1,080	885	651	1.8	-18.1	-26.4	-39.7
関　東	1,759	1,796	1,651	1,396	2.2	-8.1	-15.5	-22.3
北関東	529	547	480	387	3.4	-12.1	-19.5	-29.3
東京圏	1,230	1,250	1,171	1,009	1.6	-6.3	-13.8	-19.3
中　部	1,359	1,392	1,219	969	2.4	-12.4	-20.5	-30.4
名古屋圏	644	667	596	484	3.6	-10.7	-18.8	-27.5
北　陸	285	282	239	182	-0.8	-15.4	-23.9	-35.6
近　畿	1,004	963	807	620	-4.0	-16.3	-23.2	-35.7
関西圏	841	800	669	512	-4.9	-16.4	-23.4	-35.9
中　国	539	511	409	298	-5.2	-20.0	-27.1	-41.7
四　国	300	280	217	154	-6.9	-22.3	-29.3	-45.1
九　州	785	747	595	432	-4.8	-20.4	-27.3	-42.2
沖　縄	54	50	46	38	-6.6	-8.5	-17.7	-24.7

表７　地域ブロック別の一般世帯の家族類型別割合の推移（1980～2010年）

地　域	夫婦のみの世帯				親と子供から成る世帯			
	1980年	1990年	2000年	2010年	1980年	1990年	2000年	2010年
全　国	12.5	15.5	19.6	22.3	47.8	44.1	40.9	40.0
北海道	16.8	21.0	24.5	26.1	48.4	42.5	38.3	36.9
東　北	10.9	14.1	18.3	21.6	41.8	37.4	36.4	36.4
関　東	11.1	13.8	18.3	21.2	50.2	46.3	43.2	42.6
北関東	10.8	13.6	17.9	21.1	48.0	44.4	41.8	40.8
東京圏	11.1	13.8	18.4	21.2	50.6	46.7	43.5	42.9
中　部	11.1	14.3	18.8	21.8	46.5	42.5	39.9	39.2
名古屋圏	11.0	14.1	18.8	21.8	48.6	44.6	41.3	40.3
北　陸	11.1	13.8	18.4	21.6	39.8	36.7	35.7	36.1
近　畿	12.5	15.6	20.1	22.7	51.1	47.8	43.0	40.6
関西圏	12.5	15.6	20.1	22.8	51.6	48.3	43.3	40.8
中　国	15.4	18.6	22.4	24.5	43.3	40.0	37.0	36.4
四　国	15.8	19.1	22.7	24.7	43.1	39.9	36.9	36.1
九　州	15.0	18.2	21.6	23.8	46.4	42.5	39.0	37.6
沖　縄	9.4	11.6	15.7	19.1	55.7	55.2	48.6	44.2

地　域	単独世帯				その他の一般世帯			
	1980年	1990年	2000年	2010年	1980年	1990年	2000年	2010年
全　国	19.8	23.1	26.4	28.4	19.9	17.4	13.0	9.3
北海道	20.6	24.5	28.2	30.8	14.3	12.1	8.9	6.2
東　北	15.1	18.3	23.0	26.6	32.3	30.2	22.3	15.4
関　東	23.4	26.7	28.3	28.6	15.4	13.2	10.2	7.6
北関東	13.7	17.8	22.5	25.5	27.6	24.2	17.8	12.5
東京圏	25.3	28.5	29.4	29.2	12.9	11.0	8.7	6.6
中　部	16.6	20.0	23.8	26.5	25.8	23.3	17.5	12.5
名古屋圏	18.1	21.1	24.5	26.8	22.3	20.2	15.4	11.2
北　陸	14.5	18.2	22.8	26.1	34.6	31.2	23.2	16.1
近　畿	20.1	22.5	26.3	29.0	16.4	14.1	10.6	7.6
関西圏	20.7	23.1	26.8	29.3	15.3	13.1	9.8	7.1
中　国	18.1	21.2	25.7	28.6	23.2	20.2	14.9	10.4
四　国	17.6	20.8	25.6	29.1	23.6	20.3	14.8	10.2
九　州	19.0	22.4	26.8	29.7	19.7	16.9	12.6	8.9
沖　縄	16.8	19.3	24.9	28.9	18.2	13.9	10.8	7.8

表８　都道府県別・一般世帯の家族類型別割合の推移（1980～2010年）

都道府県	夫婦のみの世帯				親と子供から成る世帯			
	1980年	1990年	2000年	2010年	1980年	1990年	2000年	2010年
全国	12.5	15.5	19.6	22.3	47.8	44.1	40.9	40.0
北海道	16.8	21.0	24.5	26.1	48.4	42.5	38.3	36.9
青森	11.1	15.0	19.1	22.1	45.8	40.7	37.9	36.2
岩手	11.4	14.9	19.1	22.2	40.7	36.1	35.4	35.5
宮城	10.1	12.9	17.2	20.7	44.4	40.2	38.4	38.4
秋田	11.4	15.8	19.9	22.9	39.7	34.2	33.7	33.9
山形	10.0	12.8	17.4	21.1	36.8	32.4	33.5	34.5
福島	11.5	14.3	18.5	21.7	42.0	38.0	37.2	37.2
茨城	10.0	12.8	17.4	20.9	48.4	45.6	42.6	41.4
栃木	10.3	13.0	17.2	20.5	47.1	43.2	41.1	40.7
群馬	11.5	14.8	19.0	22.0	49.2	44.9	41.8	40.6
埼玉	9.6	12.6	17.6	20.3	58.3	53.8	48.3	46.3
千葉	10.6	13.4	18.2	21.1	54.4	50.3	45.4	44.2
東京	11.8	14.2	18.5	21.7	44.7	41.1	39.4	39.1
神奈川	11.3	14.3	18.9	21.4	54.2	48.6	44.6	44.0
新潟	10.7	13.8	18.2	21.6	40.8	36.7	36.0	36.1
富山	10.9	13.8	18.4	21.7	39.7	37.1	36.1	36.3
石川	11.6	14.2	18.7	21.9	39.9	37.0	35.6	36.2
福井	10.8	13.3	17.8	21.2	39.6	36.0	35.4	35.8
山梨	12.7	15.2	19.1	21.7	45.9	42.3	40.6	40.0
長野	13.2	16.4	20.4	22.9	41.9	38.2	36.8	37.3
岐阜	10.9	14.1	18.9	22.0	45.7	41.7	39.2	38.5
静岡	10.5	13.8	18.4	21.5	48.4	43.3	40.5	39.6
愛知	10.4	13.5	18.3	21.4	50.4	46.1	42.4	41.2
三重	13.0	16.4	20.7	23.0	44.9	41.8	39.2	38.6
滋賀	9.9	12.6	17.2	20.5	46.7	44.4	41.6	40.7
京都	12.4	14.9	19.6	22.8	44.9	43.8	40.3	39.0
大阪	12.1	15.2	19.9	22.6	53.8	49.8	44.4	41.4
兵庫	13.3	16.7	20.8	23.2	51.1	47.6	42.9	40.5
奈良	11.3	14.9	19.7	22.5	51.5	49.1	44.1	41.4
和歌山	14.8	18.8	22.6	24.4	46.5	42.8	39.0	37.2
鳥取	12.8	15.5	19.4	22.3	39.5	36.0	35.2	35.4
島根	15.5	18.3	22.2	24.5	35.7	32.9	32.4	33.0
岡山	14.6	17.7	21.8	24.0	42.2	40.0	37.1	36.7
広島	15.6	18.6	22.4	24.5	46.2	42.6	38.8	37.9
山口	16.9	21.0	24.5	26.1	44.2	39.8	36.1	35.2
徳島	14.0	17.5	21.3	23.8	40.4	37.7	35.9	35.5
香川	14.8	18.0	21.8	24.0	43.3	40.0	37.2	36.8
愛媛	16.4	20.0	23.5	25.4	44.6	41.1	37.6	36.4
高知	17.4	19.9	23.2	25.1	42.4	39.6	36.1	35.0
福岡	13.3	16.0	19.8	22.4	49.0	44.6	40.7	39.2
佐賀	12.2	14.9	18.8	21.9	43.3	40.2	38.4	37.5
長崎	14.3	18.2	21.7	23.9	48.2	43.4	39.7	37.7
熊本	14.2	17.4	21.1	23.6	42.7	39.3	37.2	36.4
大分	16.4	19.8	23.4	25.3	41.3	38.6	35.9	35.5
宮崎	16.7	20.8	24.1	26.0	47.5	43.1	38.7	36.9
鹿児島	19.2	22.9	25.2	26.3	45.9	42.1	37.9	36.0
沖縄	9.4	11.6	15.7	19.1	55.7	55.2	48.6	44.2

表８　都道府県別・一般世帯の家族類型別割合の推移（1980～2010年）（続き）

都道府県	単独世帯				その他の一般世帯			
	1980年	1990年	2000年	2010年	1980年	1990年	2000年	2010年
全　国	19.8	23.1	26.4	28.4	19.9	17.4	13.0	9.3
北海道	20.6	24.5	28.2	30.8	14.3	12.1	8.9	6.2
青　森	16.0	18.8	23.6	27.9	27.1	25.5	19.5	13.8
岩　手	16.4	19.7	24.1	27.5	31.5	29.3	21.5	14.8
宮　城	19.2	22.9	26.3	28.0	26.3	23.9	18.2	13.0
秋　田	13.0	15.9	21.3	25.9	36.0	34.1	25.1	17.2
山　形	12.0	14.6	20.2	24.8	41.2	40.2	28.9	19.5
福　島	14.7	17.6	22.7	26.4	31.8	30.1	21.6	14.6
茨　城	13.5	17.0	22.0	25.2	28.1	24.6	18.0	12.5
栃　木	14.2	18.3	23.0	25.6	28.5	25.5	18.7	13.2
群　馬	13.1	17.7	22.3	25.4	26.2	22.5	16.9	12.0
埼　玉	15.8	19.7	23.4	25.2	16.3	13.9	10.8	8.1
千　葉	17.4	21.5	25.2	26.5	17.6	14.8	11.2	8.2
東　京	33.0	35.9	35.1	33.9	10.6	8.8	7.0	5.3
神奈川	22.4	26.9	28.7	28.7	12.1	10.2	7.9	6.0
新　潟	13.0	16.3	21.3	25.2	35.5	33.2	24.6	17.0
富　山	11.2	14.3	19.9	24.4	38.2	34.9	25.6	17.6
石　川	18.5	22.3	25.8	27.8	30.0	26.5	19.9	14.1
福　井	12.9	17.0	22.0	25.8	36.6	33.6	24.7	17.1
山　梨	14.4	19.0	23.1	26.4	27.0	23.5	17.2	11.9
長　野	14.4	18.3	22.8	26.0	30.6	27.2	20.0	13.9
岐　阜	14.2	16.6	21.2	25.0	29.2	27.6	20.7	14.6
静　岡	15.2	19.2	23.2	26.0	26.0	23.7	17.9	12.8
愛　知	20.3	23.4	25.9	27.5	18.8	17.0	13.3	10.0
三　重	14.0	17.4	22.3	26.1	28.1	24.5	17.9	12.3
滋　賀	13.7	16.6	21.8	25.3	29.8	26.4	19.4	13.4
京　都	25.1	26.4	28.9	30.1	17.7	14.9	11.2	8.1
大　阪	21.9	24.6	28.0	30.3	12.2	10.3	7.8	5.7
兵　庫	18.0	20.6	25.2	28.5	17.5	15.1	11.1	7.9
奈　良	13.1	15.3	21.0	25.5	24.0	20.6	15.3	10.6
和歌山	15.5	17.7	23.6	28.3	23.2	20.7	14.8	10.1
鳥　取	14.5	17.1	22.7	26.9	33.2	31.4	22.6	15.4
島　根	16.1	18.2	23.7	28.0	32.7	30.6	21.7	14.4
岡　山	17.4	19.8	24.4	27.7	25.8	22.5	16.6	11.6
広　島	20.0	23.4	27.1	29.2	18.2	15.5	11.8	8.5
山　口	17.7	21.5	26.3	29.6	21.2	17.7	13.1	9.1
徳　島	15.8	19.1	24.1	28.1	29.8	25.7	18.6	12.7
香　川	15.0	18.6	23.8	27.3	26.9	23.4	17.2	11.9
愛　媛	18.0	21.2	25.9	29.3	21.0	17.7	12.9	8.9
高　知	21.1	24.1	28.8	31.8	19.0	16.4	11.9	8.0
福　岡	20.2	24.3	28.0	30.1	17.5	15.1	11.4	8.3
佐　賀	13.7	16.3	21.7	26.1	30.8	28.7	21.1	14.6
長　崎	17.1	20.4	25.4	29.4	20.4	17.9	13.2	9.1
熊　本	17.3	20.3	24.8	28.5	25.8	23.0	16.8	11.6
大　分	18.8	21.6	26.1	29.2	23.6	20.1	14.6	10.0
宮　崎	17.5	20.5	25.7	29.4	18.2	15.6	11.4	7.8
鹿児島	22.0	25.1	29.5	32.5	12.9	9.9	7.4	5.2
沖　縄	16.8	19.3	24.9	28.9	18.2	13.9	10.8	7.8

表９　都道府県別・高齢世帯数の推移（1980～2010年）

（単位：1000世帯，%）

都道府県	世帯数				増加率			
	1980年	1990年	2000年	2010年	1980↓1990	1990↓2000	2000↓2010	1990↓2010
全国	4,330	6,576	10,757	14,785	51.9	63.6	37.4	124.8
北海道	180	303	495	639	68.4	63.7	28.9	111.0
青森	52	80	130	161	54.0	63.7	23.4	102.0
岩手	48	76	126	156	57.6	65.7	24.1	105.7
宮城	61	103	178	239	70.6	72.6	34.2	131.6
秋田	49	77	124	144	58.5	60.7	16.4	87.1
山形	49	78	122	143	59.4	57.1	17.4	84.3
福島	68	108	178	222	58.8	65.0	24.6	105.6
茨城	76	119	205	307	55.6	72.8	49.8	158.8
栃木	60	91	150	207	52.2	65.0	37.9	127.5
群馬	72	108	173	236	48.9	60.9	36.3	119.2
埼玉	127	222	437	793	74.7	97.3	81.5	258.1
千葉	118	205	398	687	73.7	94.6	72.6	235.8
東京	449	670	1,061	1,446	49.2	58.3	36.2	115.7
神奈川	193	337	628	1,011	74.1	86.5	61.1	200.5
新潟	100	150	235	290	49.5	56.7	23.0	92.8
富山	46	68	104	134	45.8	53.5	28.8	97.8
石川	44	64	99	130	46.9	53.1	32.1	102.2
福井	36	49	78	97	36.9	57.1	24.8	96.0
山梨	36	52	80	101	47.2	52.3	26.7	92.9
長野	98	145	220	271	48.3	51.7	23.4	87.2
岐阜	71	105	176	243	48.8	67.8	37.7	131.2
静岡	112	178	307	441	59.2	73.0	43.5	148.4
愛知	183	279	497	775	52.4	77.8	56.0	177.3
三重	70	97	161	217	38.9	65.9	34.2	122.7
滋賀	39	55	95	137	41.2	74.2	44.2	151.2
京都	109	148	231	315	36.3	55.5	36.5	112.3
大阪	278	417	701	1,045	49.9	68.1	49.0	150.5
兵庫	201	297	486	671	47.2	63.7	38.1	126.0
奈良	40	63	111	169	56.4	76.2	52.5	168.7
和歌山	54	75	113	137	39.6	50.3	21.5	82.6
鳥取	27	40	60	70	46.4	50.0	17.6	76.3
島根	40	57	85	95	42.8	48.2	12.1	66.1
岡山	88	122	187	236	38.7	53.0	26.6	93.6
広島	127	184	277	360	45.4	50.6	30.0	95.8
山口	83	120	176	208	44.8	47.0	18.2	73.8
徳島	36	51	81	96	41.9	56.4	19.2	86.4
香川	48	68	102	124	41.0	51.2	21.4	83.5
愛媛	72	106	159	189	47.1	49.4	19.1	78.0
高知	46	66	96	109	45.1	45.0	13.9	65.2
福岡	184	280	437	565	51.9	56.1	29.2	101.7
佐賀	41	57	84	97	36.8	47.9	16.2	71.8
長崎	72	106	157	179	47.7	47.7	14.0	68.3
熊本	81	118	181	215	45.3	53.5	18.5	81.9
大分	55	82	124	148	49.0	51.8	18.8	80.4
宮崎	50	76	118	141	52.0	55.6	18.9	85.0
鹿児島	122	168	232	248	37.5	38.2	7.0	47.9
沖縄	40	58	102	142	45.4	75.7	38.8	143.9

注：1980年，90年は実績値
　　2000年，10年は推計値

表10　地域ブロック別・高齢世帯数の推移（1980～2010年）

（単位：1000世帯，%）

地域	世帯数				増加率			
	1980年	1990年	2000年	2010年	1980↓1990	1990↓2000	2000↓2010	1990↓2010
全国	4,330	6,576	10,757	14,785	51.9	63.6	37.4	124.8
北海道	180	303	495	639	68.4	63.7	28.9	111.0
東北	426	672	1,094	1,355	57.6	62.8	23.9	101.7
関東	1,131	1,802	3,132	4,788	59.4	73.8	52.9	165.7
北関東	244	369	607	850	51.6	64.5	40.0	130.3
東京圏	887	1,433	2,524	3,938	61.5	76.2	56.0	174.8
中部	660	986	1,642	2,307	49.4	66.5	40.5	134.1
名古屋圏	324	482	834	1,234	48.7	73.2	47.9	156.2
北陸	126	181	280	361	43.6	54.3	28.9	98.9
近畿	721	1,054	1,736	2,473	46.3	64.6	42.5	134.5
関西圏	629	925	1,528	2,199	47.1	65.2	43.9	137.8
中国	365	523	785	970	43.4	50.0	23.7	85.5
四国	202	292	437	518	44.3	50.0	18.5	77.8
九州	606	887	1,334	1,592	46.4	50.4	19.4	79.6
沖縄	40	58	102	142	45.4	75.7	38.8	143.9

図2　高齢世帯数増加率（1990～2010年）

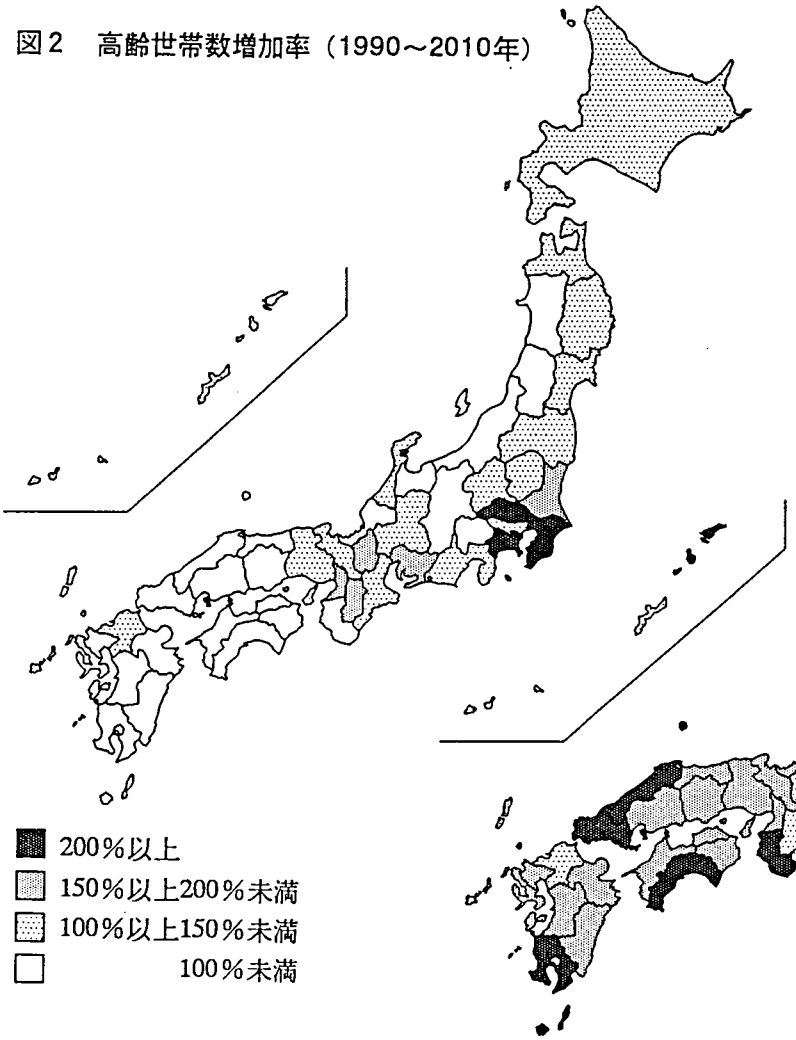


図3　都道府県別高齢世帯割合（2010年）

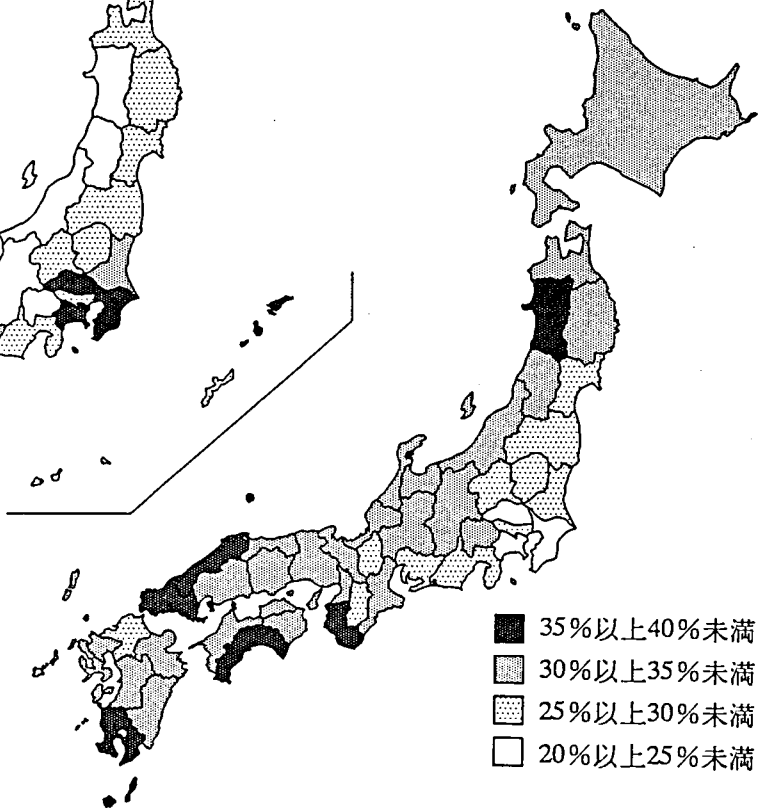


表11　都道府県別・高齢世帯割合の推移
（1980～2010年）

（単位：%）

都道府県	1980年	1990年	2000年	2010年
全　国	12.1	16.2	23.3	29.5
北海道	9.9	15.0	23.9	31.0
青　森	12.1	17.5	27.7	34.2
岩　手	12.2	17.8	27.6	33.2
宮　城	10.1	14.9	22.4	27.2
秋　田	14.2	21.6	32.3	36.7
山　形	15.0	22.8	31.7	34.7
福　島	12.4	17.9	26.2	29.9
茨　城	11.0	14.3	20.4	26.3
栃　木	12.2	15.9	21.8	25.9
群　馬	14.1	17.9	24.5	29.7
埼　玉	8.0	10.9	16.3	23.6
千　葉	8.3	11.4	17.3	24.5
東　京	10.5	14.3	21.3	29.2
神奈川	8.6	11.9	17.9	24.8
新　潟	15.3	21.3	29.6	33.8
富　山	16.0	21.7	28.8	33.8
石　川	13.7	18.0	24.5	30.1
福　井	17.0	21.2	28.9	32.6
山　梨	15.7	20.0	26.5	30.1
長　野	16.6	22.1	29.6	33.6
岐　阜	13.1	17.5	25.3	31.2
静　岡	11.6	15.9	23.4	29.7
愛　知	9.8	12.9	19.5	27.2
三　重	14.7	17.9	25.7	30.9
滋　賀	13.2	15.6	22.1	26.7
京　都	13.2	16.6	23.7	31.2
大　阪	10.1	13.7	20.9	30.1
兵　庫	12.7	16.7	24.1	30.6
奈　良	11.9	15.3	22.4	29.5
和歌山	16.4	21.8	30.6	36.1
鳥　取	16.1	22.2	30.2	33.3
島　根	17.7	24.4	34.1	37.6
岡　山	15.7	20.1	28.0	33.3
広　島	14.5	18.9	25.9	31.9
山　口	16.6	22.4	31.7	37.5
徳　島	15.2	19.9	29.0	33.3
香　川	16.4	21.1	29.0	33.1
愛　媛	15.4	20.8	29.6	34.7
高　知	16.6	22.9	32.1	36.9
福　岡	12.9	17.2	24.4	29.8
佐　賀	17.8	22.6	30.3	33.1
長　崎	15.4	21.2	30.2	34.3
熊　本	15.5	20.5	29.3	33.3
大　分	14.5	20.0	29.0	33.9
宮　崎	14.0	19.4	28.8	33.6
鹿児島	20.2	25.6	34.6	37.5
沖　縄	13.5	16.0	23.9	29.3

注：1980年，90年は実績値
　　2000年，10年は推計値

表12　地域ブロック別・高齢世帯割合の推移
（1980～2010年）

（単位：%）

地　域	1980年	1990年	2000年	2010年
全　国	12.1	16.2	23.3	29.5
北海道	9.9	15.0	23.9	31.0
東　北	13.0	18.8	27.6	32.1
関　東	9.9	13.3	19.4	26.2
北関東	12.7	16.3	22.5	27.5
東京圏	9.3	12.6	18.7	25.9
中　部	12.5	16.5	23.6	29.8
名古屋圏	11.2	14.6	21.6	28.5
北　陸	15.4	20.1	27.2	32.0
近　畿	11.8	15.5	22.8	30.4
関西圏	11.4	15.1	22.4	30.3
中　国	15.7	20.7	28.6	33.9
四　国	15.9	21.1	29.8	34.5
九　州	15.2	20.1	28.3	32.7
沖　縄	13.5	16.0	23.9	29.3

注：1980年，90年は実績値
　　2000年，10年は推計値

表13　都道府県別・家族類型別高齢世帯数の推移［夫婦のみの世帯］（1980～2010年）

（単位：1000世帯，%）

都道府県	世帯数				増加率			
	1980年	1990年	2000年	2010年	1980↓1990	1990↓2000	2000↓2010	1990↓2010
全国	1,245	2,129	3,876	5,301	71.0	82.0	36.8	148.9
北海道	74	134	222	260	81.3	65.1	17.0	93.3
青森	11	21	41	52	89.6	96.3	27.0	149.2
岩手	11	20	41	52	90.2	101.1	28.3	158.1
宮城	13	28	59	82	108.5	108.7	40.1	192.3
秋田	9	19	38	47	107.2	98.4	21.7	141.5
山形	8	16	34	45	91.5	114.2	31.5	181.7
福島	16	30	60	77	87.1	98.8	29.3	157.0
茨城	18	33	69	109	84.4	108.7	57.1	227.9
栃木	12	23	47	69	85.2	106.1	47.8	204.7
群馬	16	30	57	81	87.4	90.3	41.9	170.2
埼玉	30	64	149	278	117.4	131.8	86.8	333.0
千葉	31	65	144	251	107.7	121.6	73.8	285.2
東京	140	228	385	515	62.4	69.2	33.9	126.5
神奈川	58	119	239	376	105.7	101.4	57.4	217.1
新潟	18	34	69	93	93.8	101.8	33.8	170.1
富山	9	16	31	43	79.6	96.3	39.7	174.4
石川	10	19	34	46	81.3	79.8	35.7	144.0
福井	7	11	23	31	64.7	102.8	36.0	175.8
山梨	10	16	28	36	64.5	74.3	28.8	124.5
長野	24	42	74	94	76.7	77.2	26.9	124.8
岐阜	16	28	58	84	76.8	105.6	44.2	196.6
静岡	24	46	98	149	89.8	114.2	52.6	226.9
愛知	47	84	174	278	80.0	106.9	59.2	229.4
三重	20	32	60	80	56.3	88.9	33.9	152.9
滋賀	9	15	32	48	69.5	113.8	52.0	225.1
京都	35	51	87	117	45.4	69.7	34.3	127.9
大阪	91	145	263	380	59.7	81.6	44.6	162.5
兵庫	65	104	185	248	60.8	77.1	34.2	137.6
奈良	11	21	41	63	87.0	99.3	50.8	200.5
和歌山	17	26	42	50	52.6	64.1	18.3	94.2
鳥取	6	11	19	23	67.7	78.9	22.2	118.6
島根	12	18	30	34	52.9	68.2	11.8	88.2
岡山	27	41	70	87	52.4	69.4	24.0	110.1
広島	43	68	109	137	60.5	59.1	25.6	99.8
山口	28	44	69	78	59.1	55.8	12.7	75.5
徳島	10	16	29	34	63.7	78.0	18.8	111.5
香川	14	22	37	45	60.3	69.2	20.4	103.7
愛媛	25	40	63	71	60.7	56.4	13.0	76.8
高知	16	24	36	39	43.9	53.7	9.1	67.7
福岡	57	95	160	201	67.1	68.9	25.5	112.0
佐賀	10	15	27	32	51.1	78.1	20.7	114.9
長崎	22	36	57	63	59.7	60.0	10.5	76.8
熊本	25	39	67	77	54.9	69.8	16.2	97.3
大分	19	31	50	56	60.2	61.0	12.8	81.6
宮崎	19	31	49	55	59.4	60.3	11.5	78.7
鹿児島	44	65	92	92	48.0	41.0	0.0	41.1
沖縄	8	14	29	43	68.6	112.2	49.4	217.0

注：1980年，90年は実績値
　　2000年，10年は推計値

表13　都道府県別・家族類型別高齢世帯数の推移［親と子供から成る世帯］（1980～2010年）

（単位：1000世帯，%）

都道府県	世帯数				増加率			
	1980年	1990年	2000年	2010年	1980↓1990	1990↓2000	2000↓2010	1990↓2010
全国	798	1,156	2,130	3,205	45.0	84.2	50.5	177.2
北海道	30	46	85	124	50.8	87.2	45.2	171.8
青森	7	13	24	33	70.7	92.2	35.7	160.9
岩手	7	12	24	32	69.8	95.2	37.0	167.5
宮城	10	17	35	51	71.3	100.2	47.8	195.9
秋田	6	10	20	27	70.7	104.5	35.3	176.7
山形	6	10	20	28	73.0	100.5	36.0	172.7
福島	11	17	33	46	63.2	92.4	37.9	165.2
茨城	14	22	42	69	57.9	93.7	63.0	215.8
栃木	10	15	29	45	52.2	90.0	52.5	189.8
群馬	13	19	34	51	48.6	81.7	48.9	170.6
埼玉	29	50	108	200	73.0	113.7	86.4	298.3
千葉	25	44	93	166	76.6	111.4	79.2	278.8
東京	122	166	266	365	35.8	60.3	37.4	120.2
神奈川	50	81	156	255	61.3	93.0	63.2	215.0
新潟	13	21	41	58	66.5	91.9	39.7	168.1
富山	5	8	16	25	75.0	100.8	54.7	210.5
石川	5	7	15	24	52.9	99.9	60.9	221.7
福井	4	6	12	18	43.9	109.1	49.0	211.6
山梨	6	9	16	22	48.4	69.5	37.2	132.6
長野	13	21	38	54	60.2	79.3	40.8	152.4
岐阜	9	13	28	46	49.3	116.0	62.5	251.1
静岡	17	30	60	95	71.7	101.0	57.5	216.5
愛知	31	45	94	163	43.7	109.9	73.2	263.4
三重	10	12	26	41	28.3	109.0	57.3	228.6
滋賀	6	8	17	28	32.8	115.6	65.0	255.7
京都	22	26	45	67	20.3	73.5	48.2	157.1
大阪	65	83	150	235	28.0	81.1	56.3	183.0
兵庫	40	52	95	142	31.0	80.8	49.7	170.7
奈良	7	9	20	34	39.8	110.2	73.2	264.2
和歌山	9	11	19	26	23.5	74.2	37.8	140.0
鳥取	3	5	10	13	49.5	86.2	37.3	155.7
島根	5	7	13	17	51.1	86.3	31.6	145.2
岡山	11	15	29	43	39.0	89.4	49.9	184.0
広島	19	26	45	68	35.7	74.6	50.6	163.0
山口	13	17	29	39	34.6	70.5	36.2	132.2
徳島	5	7	13	18	42.4	92.1	37.9	164.8
香川	6	9	16	23	42.3	84.0	41.7	160.8
愛媛	11	16	27	36	43.5	69.7	35.2	129.5
高知	7	10	16	21	49.1	61.7	27.7	106.5
福岡	37	51	86	121	37.6	70.1	40.0	138.1
佐賀	6	9	15	19	40.2	73.8	29.8	125.7
長崎	13	18	29	36	36.0	61.6	23.1	99.0
熊本	13	18	32	42	36.9	77.4	32.8	135.5
大分	7	10	19	27	44.5	84.7	39.8	158.2
宮崎	8	11	20	27	32.6	77.4	33.9	137.5
鹿児島	21	25	38	45	20.3	52.6	17.7	79.6
沖縄	11	17	29	39	53.5	71.2	32.7	127.3

注：1980年，90年は実績値
　　2000年，10年は推計値

表13　都道府県別・家族類型別高齢世帯数の推移［単独世帯］（1980～2010年）

（単位：1000世帯，%）

都道府県	世帯数				増加率			
	1980年	1990年	2000年	2010年	1980↓1990	1990↓2000	2000↓2010	1990↓2010
全国	885	1,623	2,908	4,628	83.5	79.1	59.1	185.1
北海道	41	86	150	223	111.7	73.5	49.1	158.6
青森	8	17	33	51	111.7	95.2	52.7	198.0
岩手	7	15	30	48	122.4	105.8	56.8	222.8
宮城	8	18	40	68	117.4	120.0	70.5	275.2
秋田	6	13	27	42	134.2	109.4	52.8	219.9
山形	5	11	24	38	115.7	127.1	59.5	262.1
福島	11	21	43	67	99.0	104.8	55.0	217.5
茨城	11	22	47	87	93.1	114.2	82.4	290.7
栃木	9	16	34	58	87.5	108.9	70.9	256.9
群馬	11	20	40	66	90.3	96.0	66.8	226.9
埼玉	17	40	92	210	135.1	131.7	127.4	426.8
千葉	20	43	93	195	109.1	119.7	108.7	358.6
東京	100	187	312	472	87.1	66.7	51.1	151.8
神奈川	35	75	154	294	115.9	106.1	91.6	294.9
新潟	11	22	47	77	103.0	113.9	63.4	249.6
富山	5	10	22	36	97.0	107.7	68.9	250.7
石川	7	13	24	39	85.4	83.6	60.1	193.9
福井	5	9	17	27	67.2	95.3	57.3	207.2
山梨	6	11	20	30	79.1	78.8	52.0	171.7
長野	14	26	49	76	83.1	90.7	55.0	195.5
岐阜	9	18	38	67	93.3	107.7	75.8	265.1
静岡	15	31	66	120	100.8	113.8	81.5	288.2
愛知	29	59	118	221	105.7	99.3	86.7	272.2
三重	14	24	43	67	71.4	78.7	57.1	180.8
滋賀	6	11	22	39	73.3	100.0	74.9	249.8
京都	25	43	69	104	72.6	59.3	50.5	139.8
大阪	72	133	224	365	84.5	68.3	63.0	174.5
兵庫	48	86	146	226	78.1	70.7	54.4	163.6
奈良	8	15	29	52	82.0	92.0	79.8	245.3
和歌山	14	23	36	48	58.4	56.6	35.0	111.3
鳥取	5	9	16	22	75.0	76.7	40.4	148.1
島根	9	14	23	31	52.9	71.8	34.6	131.2
岡山	18	30	51	76	70.5	69.7	47.6	150.4
広島	31	51	83	120	62.8	63.2	44.7	136.2
山口	20	34	54	72	69.9	58.1	33.7	111.4
徳島	8	14	23	32	69.8	72.1	38.9	139.0
香川	10	17	28	40	67.5	68.5	41.3	138.0
愛媛	20	32	51	68	60.6	59.3	32.6	111.3
高知	15	23	34	42	57.1	49.2	23.0	83.5
福岡	42	77	130	190	82.1	68.8	46.4	147.1
佐賀	7	12	21	29	59.4	74.4	42.2	148.0
長崎	20	32	50	65	63.3	56.5	28.2	100.7
熊本	18	31	53	72	74.3	68.5	36.9	130.7
大分	14	24	39	52	73.9	61.0	33.9	115.5
宮崎	13	24	39	51	78.9	62.7	32.0	114.7
鹿児島	43	64	89	102	46.5	39.4	14.6	59.7
沖縄	12	17	31	48	42.1	85.3	53.6	184.7

注：1980年，90年は実績値
　　2000年，10年は推計値

表13　都道府県別・家族類型別高齢世帯数の推移［その他の一般世帯］（1980～2010年）

（単位：1000世帯，%）

都道府県	世帯数				増加率			
	1980年	1990年	2000年	2010年	1980↓1990	1990↓2000	2000↓2010	1990↓2010
全国	1,403	1,667	1,843	1,651	18.9	10.5	-10.4	-1.0
北海道	35	37	39	32	5.3	6.0	-17.2	-12.2
青森	25	29	32	25	15.3	9.9	-21.0	-13.2
岩手	24	29	31	24	21.3	8.0	-23.2	-17.0
宮城	29	40	45	38	38.8	13.3	-16.3	-5.1
秋田	28	35	38	29	24.6	9.2	-25.0	-18.1
山形	30	41	44	32	38.5	6.2	-25.6	-20.9
福島	31	40	42	32	28.6	6.3	-23.7	-18.9
茨城	33	41	46	42	25.8	10.6	-7.4	2.4
栃木	29	36	40	35	27.2	9.0	-12.8	-4.9
群馬	33	39	42	38	17.1	9.4	-10.3	-1.8
埼玉	51	67	88	105	31.0	31.7	18.5	56.0
千葉	41	53	68	75	28.7	27.6	10.8	41.5
東京	87	90	98	93	3.1	9.7	-5.0	4.2
神奈川	51	63	79	86	22.7	26.4	9.1	37.9
新潟	59	72	78	62	22.7	7.5	-19.9	-13.9
富山	28	34	36	30	20.7	5.6	-16.7	-12.1
石川	22	25	26	22	16.4	3.4	-15.2	-12.3
福井	20	24	26	21	17.9	8.3	-18.5	-11.7
山梨	13	16	16	13	19.3	2.1	-17.9	-16.2
長野	47	56	59	47	20.0	4.4	-18.9	-15.4
岐阜	36	45	52	46	24.8	14.2	-11.1	1.5
静岡	55	71	83	77	30.0	17.1	-7.4	8.4
愛知	76	91	110	113	18.9	20.7	2.8	24.1
三重	26	29	33	28	11.9	11.8	-13.6	-3.4
滋賀	18	21	24	23	18.4	17.1	-7.9	7.8
京都	27	27	29	26	2.9	5.6	-8.8	-3.7
大阪	50	56	64	64	11.2	13.7	0.5	14.3
兵庫	48	54	60	55	11.8	10.3	-8.6	0.8
奈良	14	18	21	20	25.2	17.4	-2.2	14.8
和歌山	14	16	16	13	14.1	1.4	-20.0	-18.9
鳥取	12	15	15	11	22.4	0.6	-25.1	-24.6
島根	15	19	18	13	26.4	-2.0	-29.8	-31.2
岡山	32	35	36	30	9.4	3.4	-16.8	-13.9
広島	34	39	40	35	15.6	2.9	-11.9	-9.3
山口	22	25	25	20	10.5	0.0	-20.7	-20.7
徳島	14	15	16	12	10.0	3.2	-25.2	-22.8
香川	18	20	20	16	11.0	2.0	-20.8	-19.3
愛媛	16	18	18	14	12.1	-1.4	-21.9	-23.0
高知	8	9	9	7	21.2	-5.0	-26.6	-30.2
福岡	48	57	61	53	18.7	5.6	-13.4	-8.5
佐賀	18	21	21	16	18.3	1.2	-23.8	-22.9
長崎	16	20	20	15	22.0	-1.3	-25.8	-26.8
熊本	25	29	30	22	18.9	1.1	-24.5	-23.7
大分	14	16	16	12	12.2	-0.7	-24.3	-24.8
宮崎	9	10	10	8	14.6	1.5	-23.7	-22.6
鹿児島	14	14	13	10	1.7	-5.7	-27.2	-31.4
沖縄	9	11	13	12	18.6	19.9	-8.5	9.7

注：1980年，90年は実績値
　　2000年，10年は推計値

表14　地域ブロック別・家族類型別高齢世帯数の推移［夫婦のみの世帯］（1980～2010年）

（単位：1000世帯，%）

地　域	世　帯　数				増　加　率			
	1980年	1990年	2000年	2010年	80→90	90→00	00→10	90→10
全　国	1,245	2,129	3,876	5,301	71.0	82.0	36.8	148.9
北海道	74	134	222	260	81.3	65.1	17.0	93.3
東　北	86	169	341	447	95.1	102.4	31.0	165.3
関　東	315	577	1,118	1,715	83.5	93.7	53.4	197.1
北関東	56	102	201	295	82.0	97.4	46.8	189.7
東京圏	259	475	917	1,420	83.8	92.9	54.9	198.7
中　部	157	278	552	805	77.0	98.8	45.9	190.0
名古屋圏	83	144	293	442	73.6	102.7	51.0	206.1
北　陸	26	46	87	120	76.3	91.2	37.2	162.3
近　畿	228	362	650	906	59.0	79.7	39.3	150.3
関西圏	202	321	577	808	59.1	79.4	40.1	151.4
中　国	116	182	297	358	57.9	62.7	20.6	96.2
四　国	65	102	165	190	56.8	61.9	14.8	86.0
九　州	197	312	502	577	58.2	61.0	15.0	85.1
沖　縄	8	14	29	43	68.6	112.2	49.4	217.0

表14　地域ブロック別・家族類型別高齢世帯数の推移［親と子供から成る世帯］（1980～2010年）

（単位：1000世帯，%）

地　域	世　帯　数				増　加　率			
	1980年	1990年	2000年	2010年	80→90	90→00	00→10	90→10
全　国	798	1,156	2,130	3,205	45.0	84.2	50.5	177.2
北海道	30	46	85	124	50.8	87.2	45.2	171.8
東　北	60	101	198	275	68.7	95.9	39.2	172.7
関　東	269	406	744	1,173	51.0	83.1	57.7	188.7
北関東	43	66	122	187	52.4	86.0	53.2	184.8
東京圏	226	341	622	986	50.7	82.5	58.6	189.4
中　部	94	143	290	466	52.2	102.9	60.5	225.7
名古屋圏	50	71	149	251	41.7	110.9	68.3	255.0
北　陸	13	21	43	67	57.9	102.7	55.3	214.7
近　畿	148	190	346	532	28.1	82.4	53.8	180.6
関西圏	133	171	310	479	28.2	81.4	54.2	179.7
中　国	51	70	126	181	38.5	78.9	44.2	157.9
四　国	29	42	72	98	44.4	74.5	35.5	136.4
九　州	106	142	240	317	34.1	68.7	32.2	123.1
沖　縄	11	17	29	39	53.5	71.2	32.7	127.3

表14　地域ブロック別・家族類型別高齢世帯数の推移［単独世帯］（1980～2010年）

（単位：1000世帯，%）

地　域	世　帯　数				増　加　率			
	1980年	1990年	2000年	2010年	80→90	90→00	00→10	90→10
全　国	885	1,623	2,908	4,628	83.5	79.1	59.1	185.1
北海道	41	86	150	223	111.7	73.5	49.1	158.6
東　北	55	117	245	391	112.3	110.2	59.3	234.7
関　東	209	414	793	1,412	98.2	91.4	78.1	241.0
北関東	37	70	141	241	88.6	102.0	70.9	245.3
東京圏	172	344	652	1,172	100.2	89.3	79.7	240.2
中　部	99	191	377	653	91.8	97.9	73.2	242.7
名古屋圏	52	101	199	355	94.3	96.0	78.3	249.4
北　陸	18	32	63	102	83.4	94.5	62.3	215.8
近　畿	175	311	527	835	78.3	69.1	58.5	168.1
関西圏	154	277	468	747	80.4	68.9	59.5	169.5
中　国	83	138	227	322	65.8	65.1	41.4	133.5
四　国	53	85	137	182	62.3	60.4	33.0	113.4
九　州	158	264	421	562	67.0	59.2	33.6	112.6
沖　縄	12	17	31	48	42.1	85.3	53.6	184.7

表14　地域ブロック別・家族類型別高齢世帯数の推移［その他の一般世帯］（1980～2010年）

（単位：1000世帯，%）

地　域	世帯数				増加率			
	1980年	1990年	2000年	2010年	80→90	90→00	00→10	90→10
全　国	1,403	1,667	1,843	1,651	18.9	10.5	-10.4	-1.0
北海道	35	37	39	32	5.3	6.0	-17.2	-12.2
東　北	225	286	310	242	26.9	8.5	-21.8	-15.2
関　東	338	405	477	488	19.6	18.0	2.1	20.5
北関東	108	132	144	128	22.7	8.8	-10.9	-3.1
東京圏	230	272	333	359	18.2	22.4	7.8	32.0
中　部	310	375	423	384	21.1	12.8	-9.2	2.4
名古屋圏	139	165	194	187	19.1	17.4	-3.6	13.1
北　陸	69	82	87	72	18.5	5.7	-16.8	-12.0
近　畿	171	192	213	200	12.2	11.3	-6.0	4.6
関西圏	139	155	173	165	11.2	11.5	-4.5	6.5
中　国	115	132	135	109	15.0	1.6	-18.8	-17.5
四　国	56	63	63	48	12.5	0.3	-23.0	-22.8
九　州	145	168	171	136	16.5	1.7	-20.8	-19.5
沖　縄	9	11	13	12	18.6	19.9	-8.5	9.7

表15　地域ブロック別の高齢世帯の家族類型別割合の推移（1980～2010年）

地　域	夫婦のみの世帯				親と子供から成る世帯			
	1980年	1990年	2000年	2010年	1980年	1990年	2000年	2010年
全　国	28.8	32.4	36.0	35.9	18.4	17.6	19.8	21.7
北海道	41.2	44.4	44.8	40.7	16.8	15.1	17.2	19.4
東　北	20.3	25.1	31.2	33.0	14.0	15.0	18.1	20.3
関　東	27.8	32.0	35.7	35.8	23.8	22.5	23.8	24.5
北関東	22.9	27.5	33.0	34.6	17.7	17.8	20.1	22.0
東京圏	29.2	33.2	36.3	36.1	25.5	23.8	24.6	25.0
中　部	23.8	28.2	33.6	34.9	14.2	14.5	17.7	20.2
名古屋圏	25.7	30.0	35.1	35.8	15.4	14.7	17.8	20.3
北　陸	20.5	25.2	31.2	33.2	10.6	11.6	15.3	18.4
近　畿	31.6	34.3	37.5	36.6	20.5	18.0	19.9	21.5
関西圏	32.1	34.8	37.7	36.7	21.2	18.5	20.3	21.8
中　国	31.7	34.9	37.8	36.9	13.9	13.4	16.0	18.7
四　国	32.2	35.0	37.7	36.6	14.2	14.2	16.6	18.9
九　州	32.5	35.2	37.6	36.3	17.5	16.0	18.0	19.9
沖　縄	20.4	23.6	28.5	30.7	27.6	29.1	28.4	27.2

地　域	単独世帯				その他の一般世帯			
	1980年	1990年	2000年	2010年	1980年	1990年	2000年	2010年
全　国	20.4	24.7	27.0	31.3	32.4	25.4	17.1	11.2
北海道	22.6	28.5	30.2	34.9	19.3	12.1	7.8	5.0
東　北	12.9	17.4	22.4	28.8	52.8	42.5	28.3	17.9
関　東	18.5	23.0	25.3	29.5	29.9	22.5	15.2	10.2
北関東	15.2	18.9	23.2	28.3	44.2	35.8	23.7	15.1
東京圏	19.4	24.0	25.8	29.8	26.0	19.0	13.2	9.1
中　部	15.1	19.3	23.0	28.3	46.9	38.0	25.7	16.6
名古屋圏	16.1	21.1	23.8	28.7	42.8	34.3	23.2	15.1
北　陸	14.0	17.8	22.5	28.3	54.9	45.4	31.1	20.1
近　畿	24.2	29.5	30.3	33.8	23.7	18.2	12.3	8.1
関西圏	24.5	30.0	30.6	34.0	22.2	16.8	11.3	7.5
中　国	22.8	26.3	29.0	33.2	31.6	25.3	17.2	11.3
四　国	26.1	29.3	31.4	35.2	27.5	21.5	14.3	9.3
九　州	26.1	29.8	31.5	35.3	23.9	19.0	12.8	8.5
沖　縄	29.8	29.1	30.7	34.0	22.2	18.1	12.4	8.2

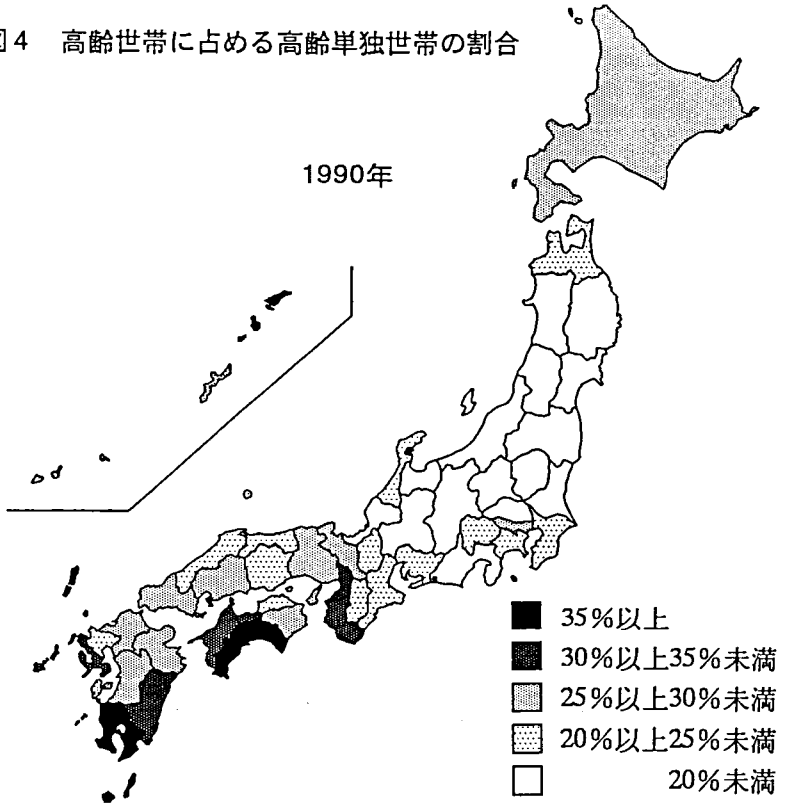
表16　都道府県別の高齢世帯の家族類型別割合の推移（1980～2010年）

都道府県	夫婦のみの世帯				親と子供から成る世帯			
	1980年	1990年	2000年	2010年	1980年	1990年	2000年	2010年
全　国	28.8	32.4	36.0	35.9	18.4	17.6	19.8	21.7
北海道	41.2	44.4	44.8	40.7	16.8	15.1	17.2	19.4
青　森	21.2	26.1	31.3	32.2	14.3	15.8	18.6	20.4
岩　手	22.1	26.7	32.4	33.5	14.8	16.0	18.8	20.8
宮　城	22.3	27.2	32.9	34.4	16.7	16.7	19.4	21.4
秋　田	19.2	25.0	30.9	32.3	11.9	12.8	16.3	18.9
山　形	17.0	20.4	27.8	31.2	12.0	13.1	16.7	19.3
福　島	23.6	27.8	33.5	34.7	15.7	16.1	18.8	20.8
茨　城	23.7	28.0	33.8	35.5	18.2	18.4	20.7	22.5
栃　木	20.6	25.1	31.3	33.6	17.0	17.0	19.6	21.7
群　馬	22.1	27.8	32.8	34.2	17.7	17.7	19.9	21.8
埼　玉	23.3	29.0	34.0	35.0	22.9	22.7	24.6	25.3
千　葉	26.6	31.8	36.2	36.5	21.1	21.4	23.3	24.2
東　京	31.2	33.9	36.3	35.7	27.2	24.7	25.0	25.2
神奈川	29.8	35.2	38.0	37.2	25.9	24.0	24.9	25.2
新　潟	17.6	22.8	29.4	32.0	12.8	14.3	17.5	19.9
富　山	18.8	23.1	29.5	32.0	9.9	11.9	15.6	18.7
石　川	23.5	29.0	34.1	35.0	11.1	11.5	15.1	18.4
福　井	19.1	23.0	29.6	32.3	10.8	11.4	15.2	18.1
山　梨	27.1	30.3	34.6	35.2	17.6	17.7	19.7	21.4
長　野	24.3	28.9	33.8	34.7	13.6	14.6	17.3	19.7
岐　阜	22.7	26.9	33.0	34.5	12.5	12.6	16.2	19.1
静　岡	21.5	25.7	31.8	33.8	15.6	16.9	19.6	21.5
愛　知	25.5	30.2	35.1	35.8	17.1	16.1	19.0	21.1
三　重	29.1	32.7	37.2	37.1	13.9	12.8	16.1	18.9
滋　賀	22.5	27.0	33.2	35.0	15.1	14.2	17.6	20.2
京　都	32.5	34.6	37.8	37.2	20.0	17.7	19.7	21.4
大　阪	32.6	34.7	37.5	36.4	23.3	19.9	21.4	22.5
兵　庫	32.2	35.2	38.1	37.0	19.8	17.6	19.5	21.1
奈　良	27.7	33.1	37.5	37.0	16.8	15.0	17.9	20.3
和歌山	31.3	34.2	37.4	36.4	16.4	14.5	16.8	19.0
鳥　取	23.5	26.9	32.1	33.4	12.7	12.9	16.1	18.8
島　根	29.1	31.2	35.4	35.3	11.5	12.2	15.3	18.0
岡　山	30.8	33.9	37.5	36.8	12.5	12.5	15.5	18.4
広　島	33.6	37.1	39.2	37.9	15.1	14.1	16.4	19.0
山　口	33.6	36.9	39.1	37.3	15.1	14.0	16.3	18.8
徳　島	27.0	31.2	35.5	35.4	13.2	13.2	16.2	18.7
香　川	28.6	32.5	36.4	36.1	13.0	13.1	16.0	18.6
愛　媛	34.7	37.9	39.7	37.7	15.3	14.9	16.9	19.2
高　知	35.9	35.6	37.7	36.2	14.8	15.2	16.9	19.0
福　岡	30.8	33.9	36.6	35.6	20.0	18.1	19.8	21.4
佐　賀	24.0	26.5	31.9	33.2	14.7	15.1	17.7	19.8
長　崎	31.2	33.7	36.6	35.4	18.6	17.1	18.7	20.2
熊　本	31.2	33.2	36.8	36.1	16.2	15.3	17.6	19.8
大　分	35.3	38.0	40.3	38.2	13.1	12.7	15.5	18.2
宮　崎	38.3	40.2	41.4	38.8	16.9	14.8	16.8	19.0
鹿児島	36.1	38.8	39.6	37.0	17.1	15.0	16.5	18.2
沖　縄	20.4	23.6	28.5	30.7	27.6	29.1	28.4	27.2

表16　都道府県別の高齢世帯の家族類型別割合の推移（1980～2010年）（続き）

都道府県	単独世帯				その他の一般世帯			
	1980年	1990年	2000年	2010年	1980年	1990年	2000年	2010年
全国	20.4	24.7	27.0	31.3	32.4	25.4	17.1	11.2
北海道	22.6	28.5	30.2	34.9	19.3	12.1	7.8	5.0
青森	15.6	21.4	25.5	31.6	48.9	36.7	24.6	15.7
岩手	13.7	19.4	24.1	30.4	49.3	37.9	24.7	15.3
宮城	13.8	17.6	22.4	28.5	47.2	38.4	25.2	15.7
秋田	11.5	16.9	22.1	29.0	57.5	45.2	30.7	19.8
山形	10.1	13.7	19.8	26.8	60.9	52.9	35.8	22.7
福島	15.5	19.5	24.2	30.1	45.2	36.7	23.6	14.5
茨城	15.1	18.7	23.2	28.2	43.1	34.8	22.3	13.8
栃木	14.5	17.8	22.6	28.0	47.9	40.1	26.5	16.7
群馬	14.7	18.8	22.9	28.0	45.6	35.8	24.4	16.0
埼玉	13.4	18.0	21.1	26.5	40.4	30.3	20.2	13.2
千葉	17.3	20.8	23.5	28.4	35.0	25.9	17.0	10.9
東京	22.3	28.0	29.4	32.7	19.3	13.4	9.3	6.5
神奈川	17.9	22.2	24.5	29.1	26.4	18.6	12.6	8.5
新潟	10.8	14.7	20.1	26.6	58.7	48.2	33.1	21.5
富山	11.3	15.3	20.7	27.1	60.0	49.7	34.2	22.1
石川	16.2	20.4	24.5	29.7	49.2	39.0	26.3	16.9
福井	14.7	17.9	22.3	28.1	55.4	47.7	32.9	21.5
山梨	17.5	21.3	25.1	30.1	37.8	30.7	20.6	13.3
長野	14.4	17.7	22.3	28.0	47.8	38.7	26.6	17.5
岐阜	13.4	17.4	21.5	27.4	51.4	43.1	29.4	18.9
静岡	13.8	17.4	21.5	27.2	49.0	40.0	27.1	17.5
愛知	15.7	21.2	23.8	28.5	41.7	32.5	22.1	14.6
三重	19.9	24.6	26.5	31.0	37.1	29.9	20.1	13.0
滋賀	16.6	20.4	23.4	28.4	45.7	38.3	25.8	16.5
京都	23.1	29.3	30.0	33.1	24.4	18.4	12.5	8.3
大阪	25.9	31.9	32.0	35.0	18.1	13.5	9.1	6.1
兵庫	23.9	28.9	30.1	33.7	24.0	18.2	12.3	8.1
奈良	20.5	23.8	26.0	30.6	35.0	28.0	18.7	12.0
和歌山	27.0	30.6	31.9	35.4	25.4	20.8	14.0	9.2
鳥取	18.9	22.6	26.6	31.8	44.9	37.5	25.2	16.1
島根	22.2	23.8	27.5	33.1	37.1	32.9	21.7	13.6
岡山	20.1	24.7	27.5	32.0	36.5	28.8	19.5	12.8
広島	24.7	27.7	30.0	33.4	26.5	21.1	14.4	9.8
山口	24.2	28.4	30.6	34.6	27.1	20.7	14.1	9.4
徳島	22.0	26.3	29.0	33.7	37.8	29.3	19.3	12.1
香川	21.0	24.9	27.8	32.3	37.4	29.5	19.9	13.0
愛媛	27.6	30.1	32.1	35.7	22.4	17.1	11.3	7.4
高知	32.3	35.0	36.0	38.9	17.0	14.2	9.3	6.0
福岡	22.9	27.5	29.7	33.7	26.3	20.5	13.9	9.3
佐賀	17.9	20.9	24.7	30.2	43.3	37.5	25.7	16.8
長崎	27.4	30.3	32.1	36.1	22.8	18.8	12.6	8.2
熊本	22.2	26.6	29.2	33.7	30.4	24.9	16.4	10.4
大分	25.3	29.6	31.4	35.3	26.2	19.7	12.9	8.2
宮崎	26.8	31.5	32.9	36.6	17.9	13.5	8.8	5.7
鹿児島	35.6	37.9	38.2	40.9	11.2	8.3	5.7	3.8
沖縄	29.8	29.1	30.7	34.0	22.2	18.1	12.4	8.2

図4　高齢世帯に占める高齢単独世帯の割合



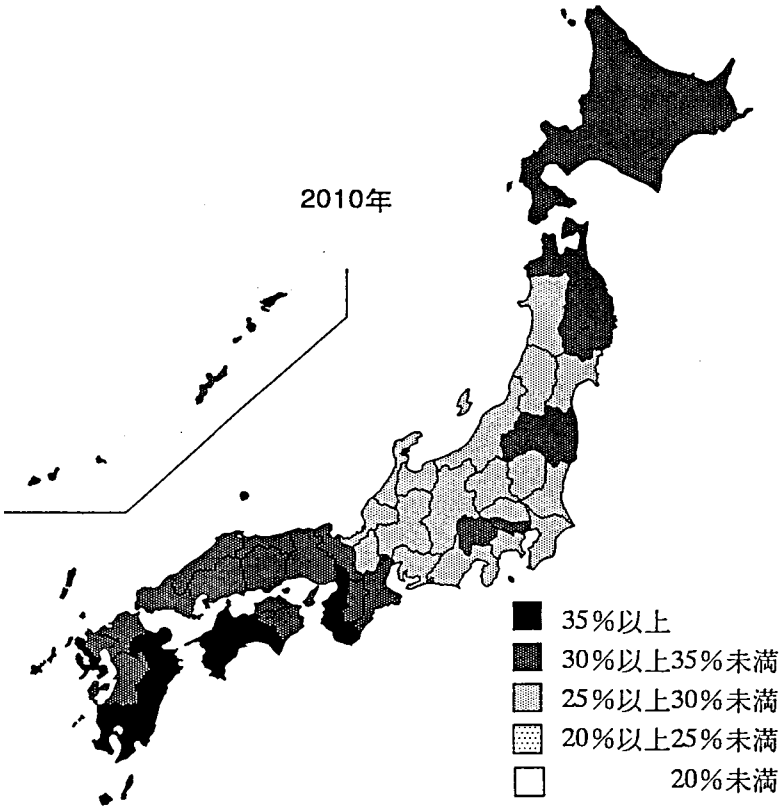


表17　世帯数変化の要因分解（一般世帯，高齢世帯）

地　域	一般世帯数増加要因(%)			高齢世帯数増加要因(%)		
	世帯主率上昇	人口増加	合計	世帯主率上昇	人口増加	合計
全　国	62.2	37.8	100.0	21.7	78.3	100.0
北海道	325.8	-225.8	100.0	24.5	75.5	100.0
東　北	107.4	-7.4	100.0	35.5	64.5	100.0
関　東	41.9	58.1	100.0	16.7	83.3	100.0
北関東	55.7	44.3	100.0	29.5	70.5	100.0
東京圏	38.9	61.1	100.0	14.2	85.8	100.0
中　部	63.8	36.2	100.0	24.7	75.3	100.0
名古屋圏	57.1	42.9	100.0	21.5	78.5	100.0
北　陸	88.8	11.2	100.0	32.1	67.9	100.0
近　畿	73.6	26.4	100.0	17.3	82.7	100.0
関西圏	75.3	24.7	100.0	16.2	83.8	100.0
中　国	110.4	-10.4	100.0	27.0	73.0	100.0
四　国	149.8	-49.8	100.0	31.3	68.7	100.0
九　州	109.2	-9.2	100.0	25.7	74.3	100.0
沖　縄	48.8	51.2	100.0	15.5	84.5	100.0

図5　高齢世帯数変化に占める世帯主率変化要因の割合